

# Retek<sup>®</sup> Data Warehouse 10.0



## オペレーションガイド



## 企業本部

Retek Inc.  
Retek on the Mall  
950 Nicollet Mall  
Minneapolis, MN 55403  
888.61.RETEK (toll free US)  
+1 612 587 5000

## 欧州本部

Retek  
110 Wigmore Street  
London  
W1U 3RW  
United Kingdom  
電話番号 (代表):  
+44 (0)20 7563 4600  
セールス窓口:  
+44 (0)20 7563 46 46  
Fax: +44 (0)20 7563 46 10

## Retek 日本オフィス

〒107-0061  
東京都港区  
北青山 3-6-7  
青山パシオタワー 11F  
+81 (0)3 5778-7620  
Fax: +81 (0)3 5778-7640

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

本マニュアルの全部または一部を、Retek Inc. (Retek on the Mall, 950 Nicollet Mall, Minneapolis, MN 55403) の書面による明示的な許諾なくして複製または配布することはできません。

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

Retek<sup>®</sup> Data Warehouse<sup>™</sup> は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

## カスタマサポート

### カスタマサポート時間帯:

中央標準時 (GMT-6) に基づく月曜日から金曜日の 8AM ~ 5PM。Retek 社の休業日 (2002 年度は 1/1、5/27、7/4、7/5、9/2、11/28、11/29、12/25) を除く。

### 緊急時カスタマサポート時間帯:

週 7 日間 (24 時間)。

### お問い合わせ方法 連絡先

電話	米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) その他の地域: +1 612-587-5000
FAX	(+1) 612-587-5100
電子メール	support@retек.com
インターネット	<a href="http://www.retek.com/support">www.retek.com/support</a> Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。
メール	Retek カスタマサポート Retek on the Mall 950 Nicollet Mall Minneapolis, MN 55403

### カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム / モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)



## 目次

<b>第 1 章 序文 .....</b>	<b>1</b>
テクニカルアーキテクチャ .....	2
RDW およびデータウェアハウスとは .....	5
補足情報 .....	6
<b>第 2 章 ディメンションデータ の概念 .....</b>	<b>7</b>
RDW のディメンション処理の概要 .....	7
処理中のアクション .....	10
キーと識別子 .....	11
RDW のディメンション処理の概要 .....	12
下位レベルディメンション用データの準備 .....	13
下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよび マイナーチェンジのキャプチャフロー .....	15
最上位レベルディメンションの処理 .....	19
データマート表 .....	21
<b>第 3 章 ファクトデータ の概念 .....</b>	<b>23</b>
ファクトの機能領域 .....	24
ファクト表のタイプ: ベースと集計 .....	25
ファクトの抽出、ロード、集計の概要 .....	25
ファクトの一般的な処理 .....	28
ファクトのロードに関する詳細な説明 .....	29
ファクト集計 .....	32
<b>第 4 章 圧縮とパーティション化 .....</b>	<b>41</b>
圧縮の概要 .....	41
パーティション化 (Oracle クライアントのみ) .....	45

<b>第 5 章</b>	<b>RDW プログラムの概要</b>	<b>55</b>
	RIB-ETL プログラム	55
	DWI Pro*C バッチプログラム	57
<b>第 6 章</b>	<b>RDW のインターフェイス</b>	<b>71</b>
	Retek Merchandising System	71
	Retek Sales Audit	74
	Retek TopPlan	74
	Retek Customer Order Management	75
	クライアント提供のデータ	75
<b>第 7 章</b>	<b>プログラムフロー図</b>	<b>77</b>
	バッチスケジュール	77
	config.env の設定値	77
	RMS、ReSA、および RDW バッチスケジュール	79
	TopPlan から RDW へのスケジューリング	79
	未定義ソースからのデータ	79
	DB2 クライアント専用の RDW バッチスケジュール	79
	プログラムフロー図	80
<b>第 8 章</b>	<b>プログラムの参照リスト</b>	<b>97</b>
	ファクトプログラム	97
	ディメンションプログラム	118
	表トリガ	133
	メンテナンスプログラム	134
	プログラムタイプおよびオペレーションタイプの説明	139
<b>第 9 章</b>	<b>アプリケーションプログラミングインターフェース (API) の フラットファイルの仕様</b>	<b>153</b>
	API フォーマット	153
	ディメンション	155
	ファクト	206

## 第 1 章 序文

Retek Data Warehouse (RDW) バージョン 10.0 は、Retek Integration Bus – Extraction, Transformation, and Load (RIB-ETL) 1.6.1 フレームワークと連携して動作します。このアーキテクチャにより、高性能データ処理ツールが最適化され、データベースのバッチ処理が並列処理の利点を最大限に発揮できるようになります。さらに、RDW は従来の Oracle だけでなく、IBM の DB2 Universal Database (UDB) および NCR の Teradata に拡張することもできます。

RDW クライアントは、RIB-ETL の実装により、次の機能の利点を得ることができます。

- データベースの独立性: RDW を各種データベースプラットフォーム上に配置できます。
- 並列コンピュータテクノロジー:
  - スタンドアロンソリューションの柔軟性を高めます。
  - データベースのバッチ処理に並列処理の利点を最大限に応用できます。
  - システムとデータベースサーバーの並列処理を利用しながらスケーラビリティを向上します (読み取り、書き込み、変換、集計)。
- アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) の応用: より手軽なカスタマイズを実現します。
- ディメンショナルトリガの排除: ソースシステムに対する負荷を軽減します。
- Extensible Markup Language (XML) スクリプト: 有効な演算子を使用することで、フレームワークがファクトデータおよびディメンションデータを効率よく処理できるようにします。
- 無駄をなくした ETL コード: コードのボリュームを減らし、複雑さを排除することにより、データの格納領域の節約、簡単な実装、メンテナンスに必要な手間の軽減を実現します。

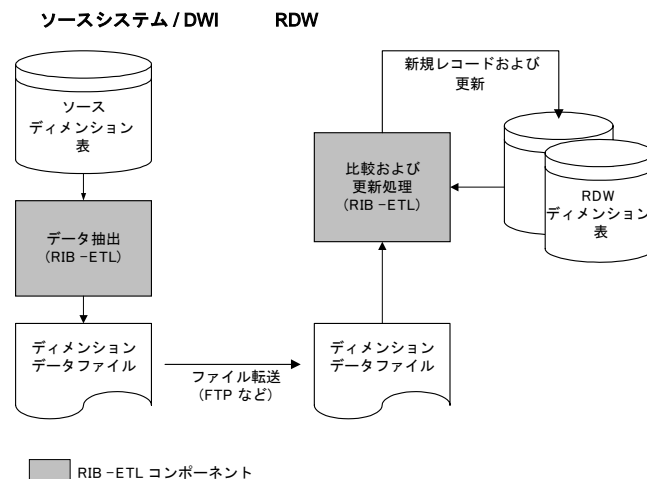
## テクニカルアーキテクチャ

ETL アーキテクチャの主な目的は、強化された並列処理を利用しながら、合理的なコードを実行する、データベースに依存しないソリューションを提供することにあります。RIB-ETL フレームワークは、XML スクリプトに記述された有効な演算子を実行、解析します。

この項では、RDW 10.0 の 4 つの機能 (ディメンション処理、ファクト処理、レコード更新処理、データモデルの一貫性) について説明します。

### ディメンション処理

次の図は、RDW 10.0 で採用された、ディメンション処理アーキテクチャを示しています。このプロセスには、現在のディメンションデータをソースシステムから抽出したり、それを RDW の履歴データと比較したりする作業が含まれます。この比較により、ディメンションの変更が日に何度も発生するようになるときに、逐一変更内容を取り込む必要がなくなります。比較作業は RIB-ETL フレームワーク上で実行され、RDW のデータマート表に直接書き戻されます。

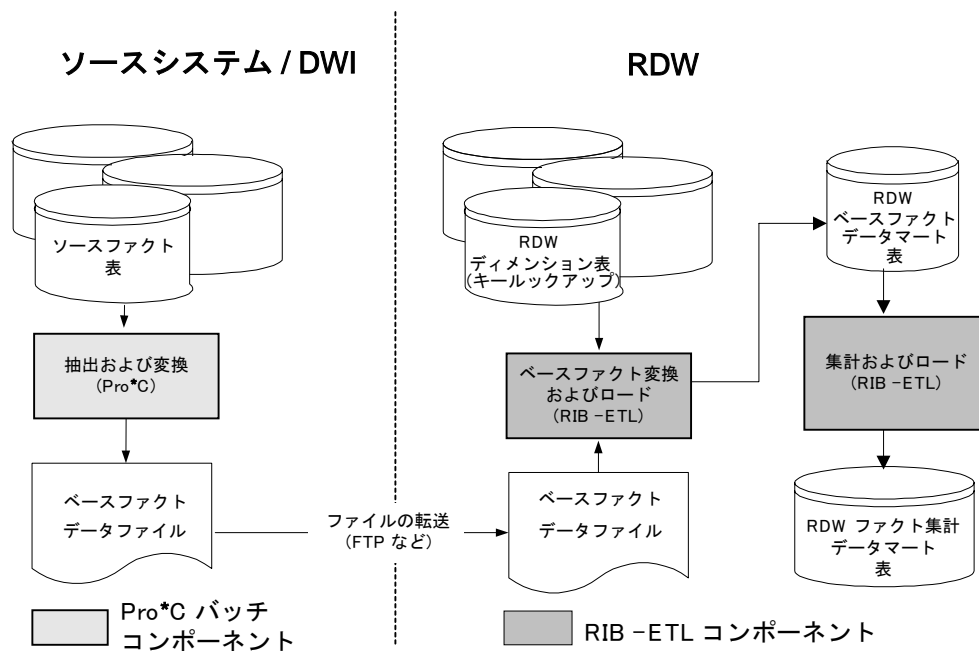


**RDW 10.0 におけるディメンション処理**



## ファクト処理

次の図は、RDW 10.0 におけるファクト処理を示しています。DWI ファクト抽出コンポーネントは、DWI Pro\*C プログラムがフラットファイルを出力するという点で、従来の RDW バージョンがそのまま維持されています。出力されたデータは、変換、集計され、ステージング表（従来は AT 表）を使用せず RDW に直接ロードされます。



RDW 10.0 におけるファクト処理

## RDW におけるレコードの更新処理

RIB-ETL は、現在、データベースの更新演算子をサポートしていないため、データベースへの実際の更新作業は、標準更新または差分更新のどちらかで実行されます。標準更新とは、新レコードを使用して、ターゲット表内の古いレコードを置き換えることをいいます。差分更新 (ファクト処理にのみ適用) とは、新レコードとターゲット表内の古いレコードとを合わせて、古いレコードを、新たに集計したレコードで置き換えることをいいます。

### 標準更新

- 1 新規レコードが格納されているデータセットを一時表に書き込みます。
- 2 この一時表を使用して、ターゲット表内の古い更新レコードから削除するレコードを決めます。
- 3 ターゲット表の古いレコードが削除されます。
- 4 ターゲット表に新しいレコードが挿入されます。

### 差分更新 (ファクト処理にのみ適用)

- 1 新規レコードが格納されているデータセットを一時表に書き込みます。
- 2 この新規レコードをターゲット表から読み込み、一時表のデータと組み合わせて、新しいデータセットを形成します。
- 3 目的のファクトフィールドを集計するため、新しいデータセットが、ターゲット表の主キーによってグループ化されます。
- 4 結果のデータセットが第 2 の一時表 (一時表 2) に書き込まれます。
- 5 一時表 2 を使用して、ターゲット表内の古い更新レコードから削除するレコードを決めます。
- 6 ターゲット表から古いレコードが削除されます。
- 7 ターゲット表に新しいレコードが挿入されます。

## RDW およびデータウェアハウスとは

データウェアハウスとは、Retek Merchandising System (RMS) などのトランザクションシステムのデータを格納、照会するための物理的な場所、つまりデータベースです。RDW を使用するには、RMS、Retek Sales Audit (ReSA)、Retek TopPlan などのソースシステムから、既存のデータを初期入力しておく必要があります。

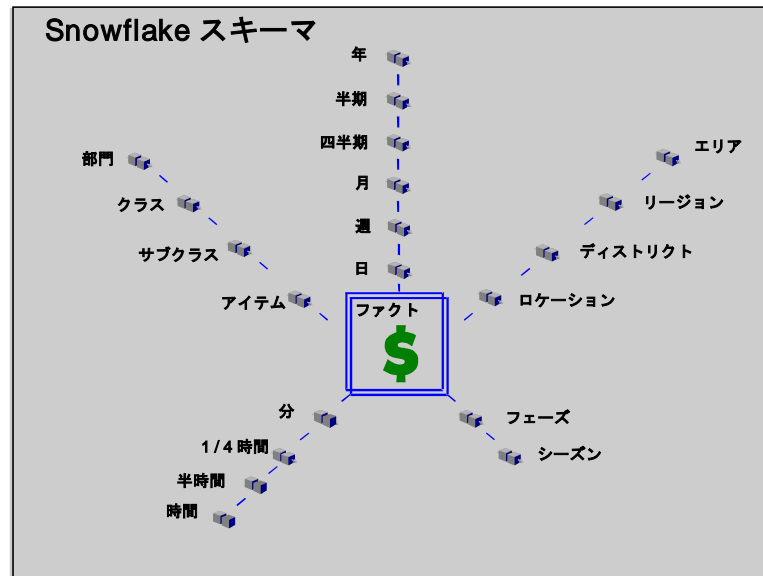
RDW では、データウェアハウスへの入力に非常に高度な技術が使用されています。当該の技術については、このガイド全般に詳述されているように、たとえば、RMS ソースシステムからデータを抽出して、それを変換し、ウェアハウスにロードするといったバッチプログラム (本ガイドでは通常 "モジュール" と呼ばれる) の使用がその例として挙げられます。データをデータウェアハウスにロードする方法は、"ファクトデータ" か "ディメンションデータ" かによって異なります。

ファクトデータとディメンションデータの違いを理解するには、まずデータウェアハウスにおけるデータの処理を理解する必要があります。RDW は、データとのインターフェイスとして機能するオンライン分析処理 (OLAP) アプリケーションを使用し、デザイン済みのカスタムクエリおよびレポートを介してデータを表現する手段を提供します。データウェアハウスは、実際には、スキーマにデータを構築することによって、これらのクエリをサポートします。

ファクトデータは、このスキーマに基づいて存在します。ファクトとは、データウェアハウスのソースシステム (RMS など) で発生する取引のことを指します。店舗または倉庫において、売上取引ファクトや在庫定期棚卸ファクトを確認したり、在庫の移動ファクトを確認することもあるでしょう。

通常、ファクトは数値であるため、それ自体に意味はありません。たとえば、ある店舗での売上数が 6、倉庫の在庫アイテムが 15 個、または 300 品目の振り替えなどの数値情報は、それだけでは役に立ちません。RDW において、ファクトデータに真の意味を与えるものは、ファクトが存在する、複数のディメンション間の論理積です。具体例を挙げると、水曜日に店舗 B での売上数が 6、先週の月曜日にシカゴの倉庫で 15 台の食器洗い機が在庫、または 2 月最後の週にセントルイスの倉庫からデンバーの倉庫に 300 着のブラウスを振り替え、となります。すなわち、データウェアハウスに存在するディメンションデータは、ファクトに対する基準データとして位置付けられます。

データウェアハウスのスキーマは、データ要素とその相互関係を表すものです。次の図では、RDW で使用されるスキーマについて説明します。



RDW 10.0 の Snowflake スキーマ

RDW のスキーマ "snowflake" では、ファクトを中心とする、放射状に伸びた線上の要素から構成されます。これらの点は、基準点として機能することにより、ファクトに意味を与えるディメンションデータです。

RDW には、ディメンションデータと比べて、大量のファクトデータが格納されています。ファクトは、ディメンションよりも数が豊富であるうえ、データベースに新しいデータが追加されるたびに、絶えず変更されます。これに対し、ディメンションデータは、めったに変更されません。データウェアハウスに新しい店舗を追加する必要性は、毎日処理しなければならない、売上取引（ファクトデータ）の追加に比べれば非常に頻度の低いものです。ファクトデータおよびディメンションデータは、その性質の違いにより、RDW によるデータのロードおよび操作に、それぞれ異なる技術が採用されています。

この章の前半では、ディメンション処理およびファクト処理の相違点について説明します。どちらも、RDW をデータウェアハウスとして正しく使用するための有用な情報が記載されています。以降 2 つの章で、ディメンション処理とファクト処理の概念について、より詳細に説明しています。

## 補足情報

RDW 10.0 に関する詳細な情報については、次のリソースを参照してください。

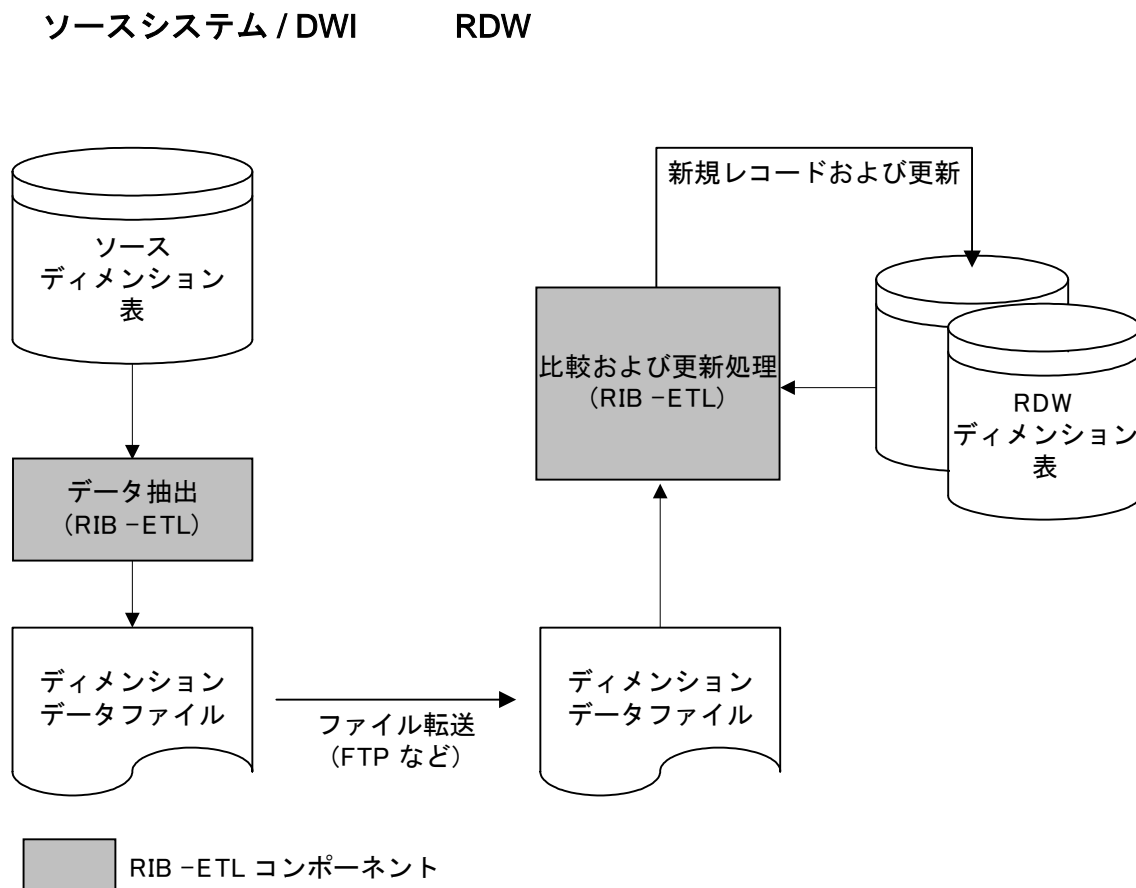
- RDW 10.0 データモデル
- RDW 10.0 インストールガイド
- RIB-ETL 1.6.1 プログラマーズガイド
- RDW の関連ドキュメント (『RDW 10.0 ユーザーガイド』など)

## 第 2 章 ディメンションデータの概念

この章では、RDW がソースシステムのディメンションデータをどのように処理するかを説明します。この章の最初の項は、ディメンションデータ処理の概要について取り上げます。第 2 項では、ディメンションの処理フローを詳細に説明します。

### RDW のディメンション処理の概要

次の図に RDW によるディメンション処理の概要を示します。このプロセスには、ソースシステムデータの抽出、データの RDW への移動、データの比較および更新処理、新規データの RDW ディメンション表への追加などが含まれます。新データはフラットファイルから処理されます。RIB-ETL が果たす役割は、データの抽出、比較処理、更新処理である点に注目してください。



RDW 10.0 におけるディメンション処理

## RDW 10.0 のディメンション

RDW は、次の表に示したディメンションから構成されています。[製品] と [組織] は、"メジャーチェンジ" (RDW の用語) の対象となる場合があるため、太字で示しています。以降、この概念について詳細に説明します。

RDW 10.0 ディメンション	
[組織] と [製品] ディメンションは再分類可 (メジャーチェンジ)	
カンパニー	競合他社
通貨コード	顧客アカウント
顧客および顧客人口統計	顧客群および製品群
顧客地域	従業員
アイテム - ロケーション特性 クロスディメンション	アイテム - 取引先 - ロケーション クロスディメンション
市場データ	<b>組織</b>
計画シーズン	<b>製品</b>
製品シーズン	特売
理由	リージョン特性
レジ	ReSA 合計タイプ
売価タイプ	サブ取引タイプ
取引先	入札タイプ
時間	伝票日付帯

## メジャーチェンジと下位レベルディメンション

メジャーチェンジは、製品または組織におけるエンティティの階層に変更が生じた場合に常に発生します。製品階層の変更には、グループ、部門、アイテムの再分類が、組織階層の変更には、エリア、リージョン、ディストリクト、ロケーションの再分類があります。このタイプの再分類は、階層におけるエンティティ間の関係を変更します。ディメンションのうちメジャーチェンジの対象にできるのは、下位レベルのディメンションとして位置づけられている [製品] および [組織] だけです。両者は、メジャーチェンジが可能な下位レベルのディメンションであるといえます。[製品] と [組織] は集計ディメンションであるため、メジャーチェンジを行うと、対応する階層内のデータ集計に変更が生じます。

メジャーチェンジの前後のエンティティについて、履歴を追跡したり比較したりすることができます。たとえば、部門とクラスの製品階層内で、あるサブクラスから別のサブクラスにアイテムを移動するとします。小売業者にとっては、このようにアイテムを移動 (再分類) する正当な理由がいろいろ考えられますが (システムの別のアイテムと関連付けてアイテムを追跡する必要性があるなど)、RDW にとっては、依然として、新しい製品階層のロケーションから、つまり変更前と変更後の両方について、そのアイテムの売り上げを追跡しなければなりません。詳細については、後述の「プッシュダウン」および「As-Was と As-Is」の項を参照してください。この章の冒頭の図「RDW 10.0 におけるディメンション処理」に "比較および更新処理" というラベルのボックスがあります。これはメジャーチェンジの処理が発生するタイミングを示しています。RDW は、再分類済みのアイテムに、(同じ例を使用するための) 新しい代理キーを割り当てることにより、メジャーチェンジの処理を実現します。代理キーとディメンション識別子を組み合わせることにより、RDW を使用して、ディメンションと任意の時点における関連取引をすべて追跡することが可能となります。

## マイナーチェンジと最上位レベルのディメンション

マイナーチェンジでは、エンティティの属性は変更されますが、階層におけるレベルは維持されます。

マイナーチェンジだけが可能なディメンションは、最上位レベルのディメンションと呼ばれ、[組織] と [製品] を除くすべてのディメンションがこれに当たります。最上位レベルのディメンションは固定的であり、レベルを再分類することはできません。[製品] や [組織] ディメンションをマイナーチェンジすることは可能ですが、マイナーチェンジでは、これらの階層を変更するには不十分です。

マイナーチェンジの一例としては、ディメンションの説明フィールドを変更する場合があります。たとえば、"ユーモラスなカード" というサブクラスの説明を "面白いカード" のように変更することができます。このタイプの変更は、サブクラスのレベルが、階層内で上下に移動するような類の変更ではありません。説明の変更を単にレコードに反映させるものであり、新しい代理キーを挿入する必要はありません。RDW のディメンション処理では、メジャーチェンジよりも、マイナーチェンジのほうが処理が複雑にならずに済みます。

## 処理中のアクション

RDW のディメンションエンティティには、実際にデータを処理するときに 4 種類のアクションが発生します。

- **挿入:** 作成されたエンティティは、システムに挿入されます。
- **メジャーチェンジ:** メジャーチェンジが発生した場合、エンティティは効率的にクローズ / 再挿入されます。これにより、変更前後の履歴を追跡したり、比較したりすることができます。詳細については、後述の「プッシュダウン」および「As-Was と As-Is」の項を参照してください。
- **マイナーチェンジ:** エンティティにマイナーチェンジが適用されると、そのエンティティの属性が変更されます。階層内でのレベルは変更されません。
- **クローズ:** アクティブではないエンティティは、クローズされたと見なされます。トランザクションシステムのエンティティをクローズすることには、システムからそのエンティティを完全に削除することも含まれますが、RDW のような分析システムでは、エンティティのレコードが保持されるため、その履歴を引き続きレポートすることが可能です。ただし、RDW のディメンションマトリックスだけは例外です。ソースシステムの 2 つの識別子 (および代理キー) 間の最新の関係だけが保持されます (たとえば、prod\_itemlst\_mtx\_dm 表上の item\_key と itemlst\_key)。



## キーと識別子

RDW の大半のディメンションは、"代理キー" または "擬似キー" などと呼ばれるキーと、"idnt" と略されることのある識別子を保持しています。RDW において "識別子" という用語は、エンティティに割り当てられる識別子を指します。識別子は、エンティティがソースシステムに作成された時点で割り当てられます。ただし、RDW の識別子は、必ずしもエンティティを一意に識別するためのものではありません。エンティティは、メジャーチェンジの影響を受ける場合があります。メジャーチェンジでは、エンティティを一度クローズしてから、再ロードすることで、階層に対する変更を記録します。こうすることで、変更前後の履歴を追跡できるようにしています。また、エンティティは、ソースシステムから削除されたり、その識別子が後で再利用されたりします。どちらの状況においても、RDW 表に、同じエンティティに対する複数のレコードが生成されてしまいます。同じエンティティの異なる状態 (または、同じ識別子の異なるエンティティ) を区別するために、RDW は、それを一意に識別する、その他の値を使用する必要があります。RDW のエンティティを識別する一意の値としては、代理キーが使用されます。データマートのディメンション表にエンティティが挿入されるたびに、新しいキーが割り当てられます。

## Next\_key\_val

データマートのディメンション表は、それぞれ MAINT\_DIM\_KEY\_DM 表上に 1 つのレコードを持ちます。このレコードには、ディメンションに対する、次に有効な代理キーが保持されます。ディメンションのロードプログラムは、実行の初期段階でこのレコードを照会し、最終段階には、次回の実行に使用するための、次に有効なキーで、レコードを更新します。

## As-Was と As-Is

RDW で行われる主な分析のタイプに、ドリルがあります。ドリルとは、レポートを特定のレベルで観察すれば、その後、同じレポートを次に低いレベルで観察できるようになり、そうしていくことで、データをより詳細なレベルで吟味することを可能にする手法をいいます。このタイプの分析では、RDW で階層をしっかりと定義することが非常に重要になります。ドリルパスが明確であり、ファクトは集計のレベルでつじつまが合っている必要があります。この要件は、エンティティのレベルに生じた変更が、なぜ "メジャー" であるのかを説明しています。

メジャーチェンジの効果の 1 つに、2 つの代理キーの存在により、エンティティのパフォーマンスを、メジャーチェンジの前後で比較できるようになることが挙げられます。また、ファクトの集計表についても、データのつじつまが合う状態に維持されます。将来のすべてのデータは、エンティティの新しいほうのキーに基づいて合計されるのに対し、すべての履歴は古いほうのキーに基づいて合計されるためです。これは、以前の階層を反映する履歴であるため **as-was レポート** と呼ばれます。これに対し、新しい階層を反映した、仮定に基づく履歴を **as-is レポート** と呼び、これを実現するには、ファクトの集計表を排除する (レポートのパフォーマンスは低くなります) か、あるいは階層の変化に合わせて再構築する必要があります。RDW は **as-was レポート** だけをサポートしています。

## プッシュダウン

パフォーマンスを最適化するために、データマートの各ディメンション表には、その階層における、各世代のキーおよび識別子が保持されます。この構造のため、上位のエンティティがメジャーチェンジの影響を受けた場合は、対応するすべての子孫（階層における下位レベル）にもメジャーチェンジが適用されなければなりません。クローズについても同じことが言えます。下位レベルのディメンションプログラムは、それぞれ、そのディメンションの直上の親表と結合して、新データの親キーを取得し、当該のディメンション表内のキーと比較することにより、メジャーチェンジが生じているかどうかを判断します。たとえば、あるグループが別のディヴィジョンに変わる場合、そのグループのキーが変更されます。部門の新データは、当該グループのディメンション表と結合して、その部門とグループの組み合わせに対応するグループキーを取得します。部門のグループキーが、部門のディメンション表のグループキーと異なる場合は、メジャーチェンジとして認識されます。下位レベルのディメンションプログラムがそれぞれ個別に実行された後で、プッシュダウンの効果が現れます。

## RDW のディメンション処理の概要

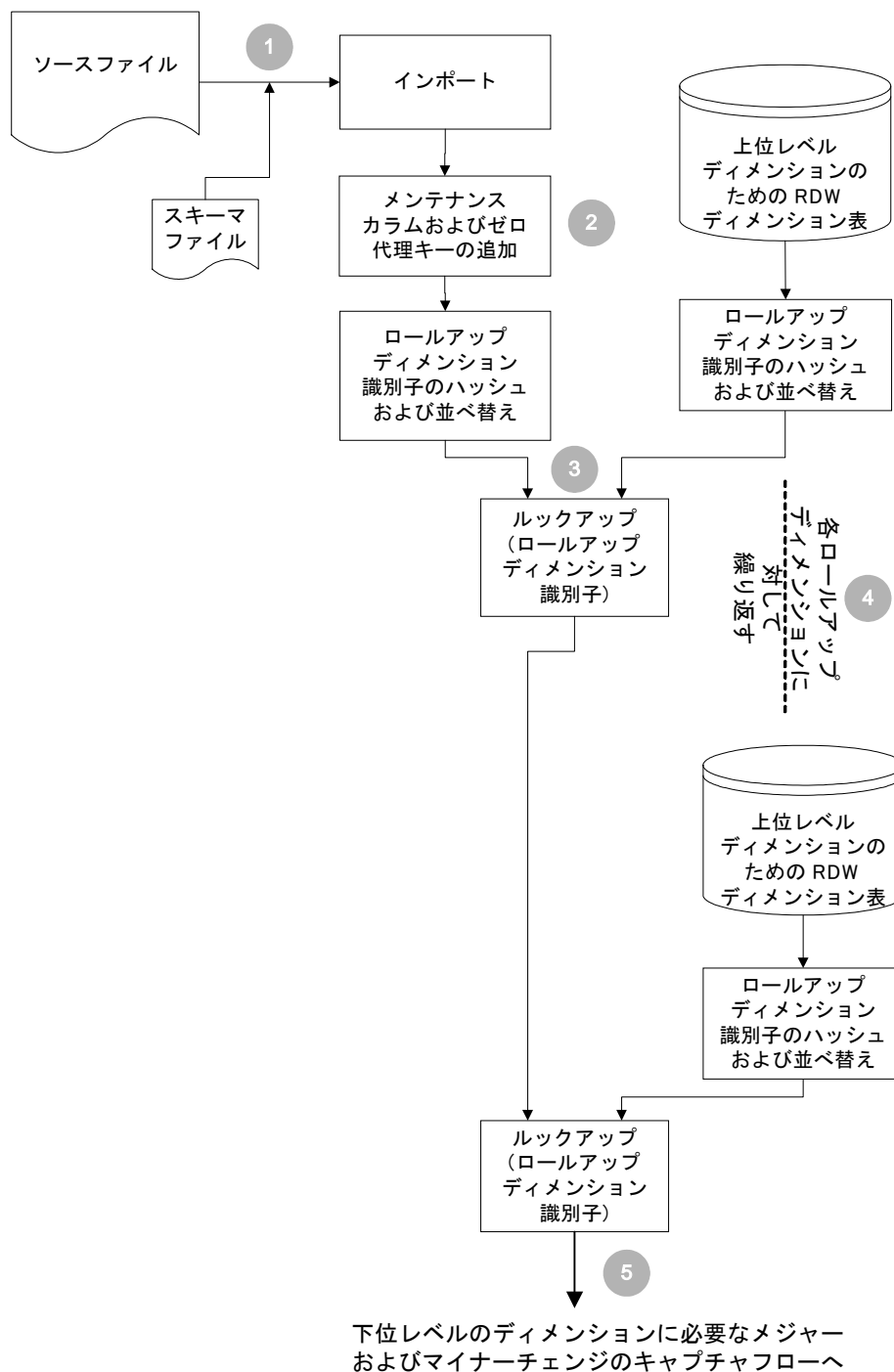
この章の残りの部分では、ソース表から RDW のデータマート表へのディメンションデータのフローを説明します。上述の処理は、ソースシステムから出力された、ディメンションのテキストファイルから始まります。このファイルは、RDW ライブラリ（ディメンションとメンテナンス）によって読み込まれ、データがデータマート表のディメンションとして処理されます。ディメンションの処理モジュールにより、メンテナンス表 `program_control_dm` 上の `operation_type` カラムおよび `program_type` カラムに値が入力されます。詳細については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

## 下位レベルディメンション用データの準備

この項のフロー図（「下位レベルディメンション用データの準備フロー」）は、「下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー」に続くフローのステップ 1 に使用するソースデータを生成するためのものです。つまり、このフローは、独立したプロセスではなく、後続のフローの前準備になります。この 2 つのフローが合わさって、下位レベルのディメンションを更新する 1 つのプロセスとして成立します。

このフローは、親ディメンション表を上位に持つディメンションにのみ適用します。つまり、最上位レベルのディメンションには適用できません。変更の比較用データセットに含まれるソースデータストリームは、RDW 表の構造と適合している必要があります。また、メジャーチェンジを検出したり、目的のフィールドへの挿入レコードを生成したりするための、上位レベルのすべてのキーが必要です。ソースシステム (RMS など) のディメンションデータは、通常、正規化されているため、直上のロールアップディメンションの `idnt` しか格納されていません（上位レベルの全ディメンションについて `idnt` が格納されているわけではない）。上位レベルの全ディメンションについて、すべての `idnt` とキーを取得 (RDW の処理用に非正規化) するために、新データは、RDW からの、直上のロールアップディメンションのすべての表と結合されます。確実に最新の情報が使用されるようにし、上位レベルのディメンションに生じたメジャーチェンジに対応するために、ディメンションの更新処理を適用する順番は、最上位レベルのディメンションから開始し、ベースレベルのディメンションが処理されるまで、階層を下がっていくようにします。すなわち、結合に使用される、上位レベルの RDW 表は、これらのディメンションの新データで、常にリフレッシュされていることになります。

下の図は、このフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



下位レベルディメンション用データの準備フロー

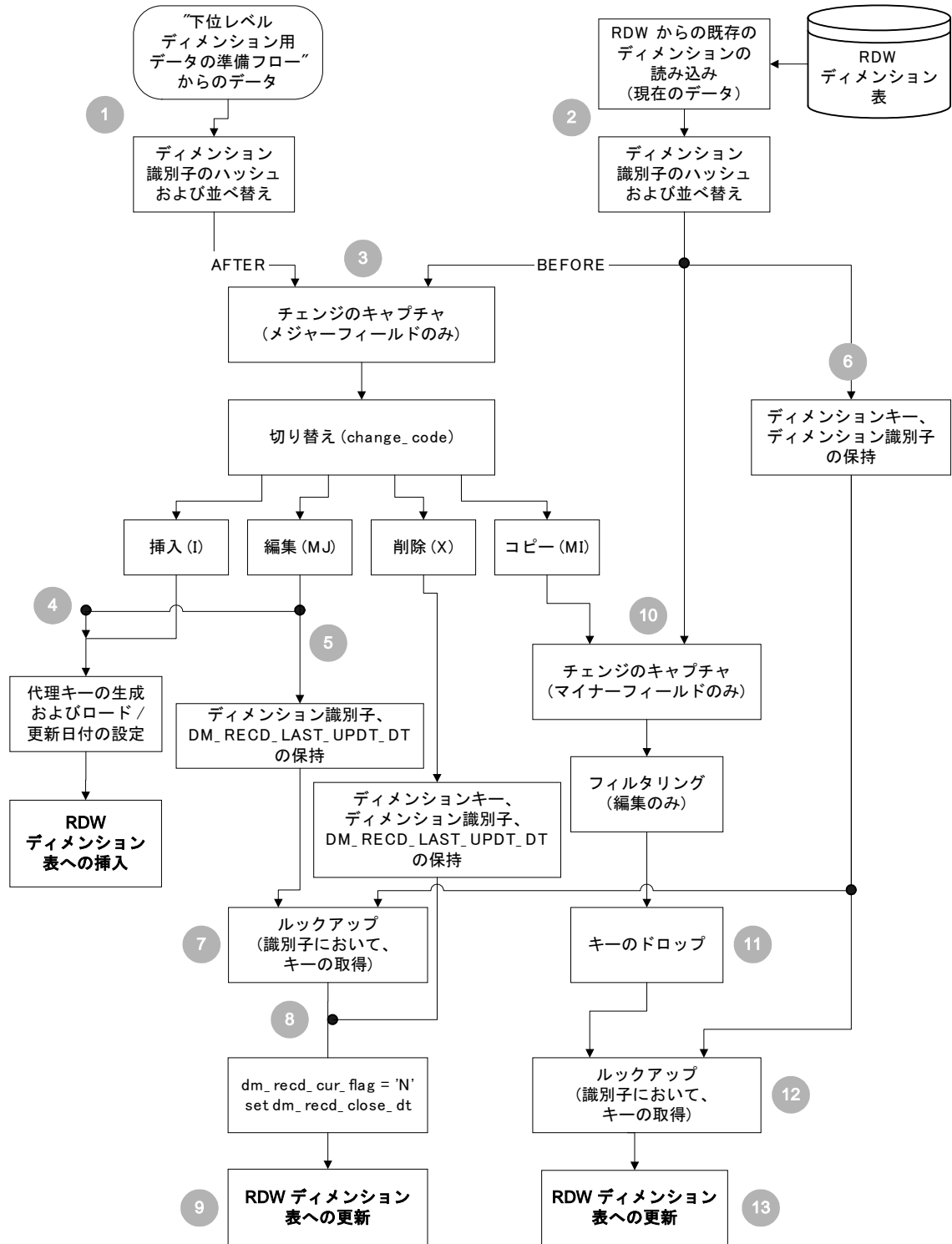
## 下位レベルディメンション用データの準備フロー

- 1 現在のディメンションのデータファイルが、RIB-ETL の演算子に基づいて、ソースシステムから抽出されます。このファイルは、IMPORT 演算子および定義済みのスキーマファイルを使用して、RDW に移され、RIB-ETL のデータセットにロードされます。
- 2 GENERATOR 演算子が、次のメンテナンスカラムをデータセットに追加します (後述の「DM 表のメンテナンスカラム」を参照)。
  - DM\_RECD\_LOAD\_DT
  - DM\_RECD\_LAST\_UPDT\_DT
  - DM\_RECD\_CLOSE\_DT
  - DM\_RECD\_CURR\_FLAG

さらに、ブランクまたは既定の代理キーが追加され、RDW のターゲット表に適合するようにスキーマが設定されます。
- 3 データセットが、RDW からの、直上のロールアップ表のいずれかと結合されます。たとえば、LOC ディメンションのデータセットは、ORG\_DISTT\_DM 表に結合され、ディストリクトおよびその上位ディメンションに対する代理キーが取得されます。これらのキーは RDW に冗長的に格納されます。
- 4 この結合は、ディメンションの直上に位置する、すべてのロールアップについて繰り返されます。上の例に示したように、リージョンは、ロケーションの直上のロールアップではなく、ディストリクトのロールアップであるため、これらの結合には使用されません。ただし、サブクラスは、アイテムの直上のロールアップであるため、新アイテムデータに結合されます。
- 5 最終的なデータが、次のデータフロー図「下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー」への入力となります。

## 下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー

この項の図は、RDW の下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー

## 下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー

次の各番号は、上のフロー図の番号に対応しています。

- 1 ここまで、ソースシステムからのデータは、RDW からの既存のディメンション表に適合するように変換されていますが、現在のディメンションの代理キーが取得されておらず (ゼロに設定されている)、`dm_recd_load_dt` をはじめとする、ディメンションのメンテナンスカラムがスキーマに設定されていません。
- 2 このデータセットは、現在のディメンションの情報を格納する RDW 表から直接読み込まれ、現在のレコード (`dm_recd_curr_flag` が Y の行) だけを格納するようにフィルタリングされます。
- 3 CHANGECAPTURE 演算子は、2 つの新データセットを比較し、次のいずれかを示す "change\_code" フィールドを出力に追加します。
  - 挿入 (レコードは BEFORE ではなく AFTER データセットに存在)
  - 削除 (レコードは AFTER ではなく BEFORE データセットに存在)
  - 編集 (レコードは両方のデータセットに存在するが、値が異なる)
  - コピー (レコードは両方のデータセットに存在し、すべてのフィールドが一致)

CHANGECAPTURE 演算子は "メジャー" チェンジが生じる可能性のあるフィールドだけを対象とし、比較にあたって、その他のフィールドは無視します。削除ストリームは BEFORE データセットからのレコードを渡すのに対し、それ以外のストリームは AFTER データセットを変更せずに渡します。

- 4 挿入および編集は、新規の代理キーを生成し、ロード日付および更新日付を現在の日付に設定し、RDW ディメンション表に挿入します。ステップ 1 からの新データセットには、RDW のディメンション表にデータを入力するのに必要な情報がすべて格納されているため、これらのレコードは、それ以上結合することなく直接挿入することが可能です。CHANGECAPTURE 演算子がメジャーチェンジを検出すると、新規 RDW レコードが生成され、古いレコードはクローズアウトされます。その意味で、編集は結果的には挿入になります。
- 5 メジャーチェンジでは、古いレコードはクローズアウトする必要があるため、編集ストリームには、古いレコードをクローズアウトするフローの一部が含まれます。レコードのクローズアウトでは、`dm_recd_curr_flag`、`dm_recd_close_dt`、`dm_recd_last_updt_dt` の各フィールドだけが変更され、その他のフィールドは変更されません。CHANGECAPTURE 演算子は、AFTER データセットからのすべてのフィールドを渡すため、`idnt` フィールドを除く、すべてのフィールドが削除されます。`idnt` フィールドは、古い代理キーを取得するために使用されます。RDW を更新するために使用される、このストリームの結果のスキーマには、更新対象のフィールドとそのキーだけが含まれます。`idnt` も存在しますが、同一であることが保証されています。比較は同じ `idnt` に対して行われるためです。

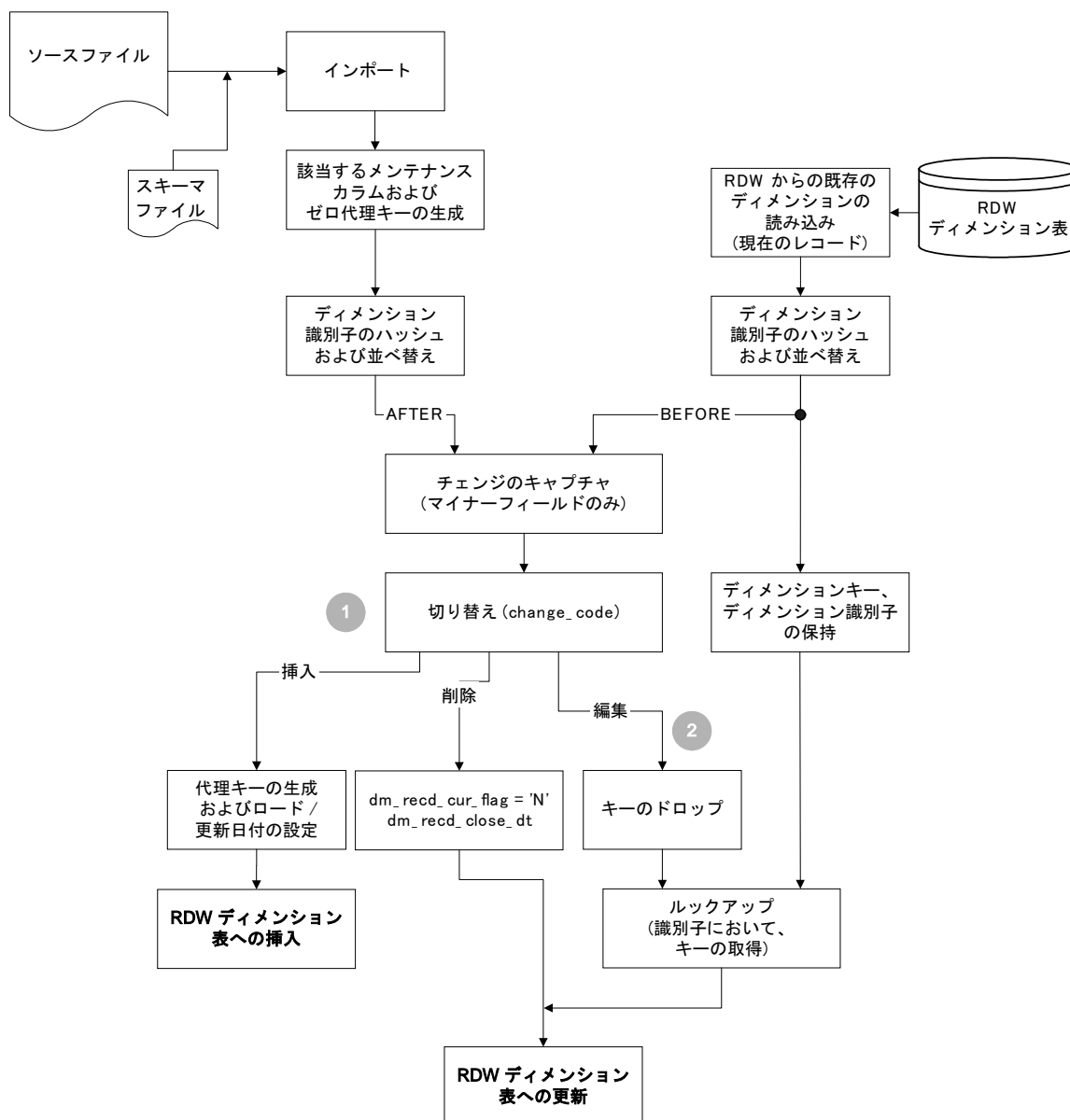
- 6 RDW のデータセットは、当該ディメンションの `idnt` とキーだけに絞られ、これが、代理キーをデータセットのダウンストリームに再接続するためのルックアップ表として使用されます。このステップの目的は、フィールド名が競合するのを防ぎ、ダウンストリームのデータセットが、不要な古い値を取得しないようにすることです。
- 7 このルックアップにより、すべての更新済み / 挿入済みレコードについて、現在のディメンションに対する古い代理キーが取得されます。
- 8 残りのステップは、`dm_recdd_curr_flag` を "N" に設定し、`dm_recdd_last_updt_dt` と `dm_recdd_close_dt` を更新するためのものであるため、この時点で、削除、挿入、更新は、いずれも同等の処理と考えることができます。フィールドの同じ組み合わせ (レコードの更新に必要なフィールドのみ) が、削除ストリーム用に保存されます。
- 9 RDW のデータが更新されます。RIB-ETL は直接更新できないため、このステップには、独立したプロセスが含まれます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。
- 10 コピーと判断されるレコードでは、メジャーチェンジが生じないものと見なされます。ただし、マイナーチェンジが生じる可能性があります。まったく変更されていないレコードを更新してしまうことを回避するため、このステップでは、これらのレコードを現在の RDW データセットと再び比較します。ただし、今回の比較はマイナーフィールドに対してのみ行われます。編集と判断されたレコード (すなわちマイナーチェンジ) だけが、以降の処理の対象となります。
- 11 次のステップで、実際の代理キーを再フェッチできるように、代理キーフィールドがドロップされます (CHANGE CAPTURE 演算子によって代理キーは失われるため)。
- 12 `idnt` フィールドに基づく結合により、オリジナルの代理キーが再フェッチされます。
- 13 このストリームのデータは、レコード更新用の標準のプロセスを使用して、RDW 表へと更新されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。マイナーチェンジの反映により、このストリームには、ステップ 9 よりも多くのフィールドが含まれる点に注目してください。このロジックは、これらのストリームを組み合わせることはできないことを暗に示しています。



## 最上位レベルディメンションの処理

この項のフロー図「最上位レベルの処理データフロー」に、各ディメンション階層の最上位レベルの処理を説明します。この項では、単独の非階層ディメンション（通貨など）および最上位レベルのディメンション階層（特売イベントなど）について取り上げます。下位レベルのディメンション処理で説明したルックアップはいっさい不要であり、このフローでは使用しません。

このプロセスのフローは非常にシンプルであり、抽出済みのファイルからデータをインポートし、それをターゲットデータと比較して、変更比較フローのうち、挿入とマイナーチェンジだけを使用します。次のページの図は、このフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



最上位レベルの処理データフロー

## 最上位レベルの処理データフロー

- 1 この事例の CHANGECAPTURE 演算子は、マイナーフィールドに対してのみ比較を行います。メジャーフィールドは存在しません。コピーは即時に破棄されます。
- 2 マイナーチェンジだけが可能であり、レコードのクローズアウトなどは不要です。古い代理キーを再接続するためのルックアップは必要ですが、これらのレコードは直接更新されます。

## データマート表

データマート (DM) 表は、ディメンションエンティティが最終的に格納される場所です。DM 表は、フロントエンドから表示することができます。この表は、ファクトのロードモジュールが、次の処理を行う場合にも使用されます。

- 識別子をキーにマッピングする。識別子は、その後、ファクトのデータマート表に挿入されます。
- 集計に必要な階層の関係を決定する。

ディメンションのクローズ済みの行 (照会が不要になったアイテムなど) をクライアントが手動でロールオフまたは削除することを望まない限り、これらの表はパージできません。Retek 社は、ディメンションデータのパージをクライアントが実行することを**推奨しません**。また、ディメンションのパージコードも提供していません。

以下のメンテナンスカラムの表および付随する説明は、変更タイプを反映するレコードが、DM 表にどのように反映されるかを示しています。

## ディメンションデータマート (DM) 表

	dm_recd_last_updt_dt	dm_recd_load_dt	dm_recd_close_dt	dm_recd_curr_flag
挿入済み	前回処理日	前回処理日	04-APR-4444	Y
マイナーチェンジ済み	前回処理日	オリジナルのロード日	04-APR-4444	Y
クローズ済み	前回処理日	オリジナルのロード日	前回処理日	N
メジャーチェンジ済み、クローズ済み	前回処理日	オリジナルのロード日	前回処理日	N
メジャーチェンジ済み、挿入済み	前回処理日	前回処理日+1	04-APR-4444	Y

## DM 表のメンテナンスカラム

- **dm\_recd\_last\_updt\_dt:** 当該レコードが最後に、挿入、更新、またはクローズされた日付。
- **dm\_recd\_load\_dt:** 当該レコードがロード / 作成された日付。
- **dm\_recd\_close\_dt:** 当該レコードが最後にアクティブであると判断された日付。クローズは、レコードがソースシステムから削除された場合、またはレコードにメジャーチェンジが適用された場合に発生します。
- **dm\_recd\_curr\_flag:** レコードがアクティブであるかどうかを示すフラグ。有効な値は "Y" (Yes) と "N" (No) です。

## 第 3 章 ファクトデータの概念

この章では、RDW 10.0 の次のファクトデータの概念について説明します。

- ファクトの機能領域
- ファクト表のタイプ
- ソースシステムからファクトデータを抽出して RDW にロードする方法
- ファクトの一般的な処理
- ファクトのロード処理の詳細
- ファクトの集計処理
- ファクトのマトリックス表処理

ソースランザクションシステムからのファクトデータの抽出、変換、ロード、集計に、RDW は次のプロセスを採用しています。

- 1 Pro\*C プログラムがデータをフラットファイルに抽出します。またはクライアントがソースフラットファイルを生成します。
- 2 RDW のベースファクト処理モジュール (RIB-ETL 演算子および RDW ライブラリの呼び出しを含む Korn シェルスクリプト) がデータを変換し、ベースファクトのデータマート表にロードします。
- 3 RDW の集計ファクトモジュールが、ベースファクトデータを上位レベルのファクト集計表に要約します。
- 4 ディメンション処理に関するモジュール固有の情報 (program\_control\_dm values、command-line parameters など) については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

## ファクトの機能領域

ファクトデータとは、Retek Merchandising System などのソースシステムから抽出される、各種取引の値のことです。次の表に RDW のファクト機能領域を示します。

RDW 10.0 ファクト機能領域	
競合他社の価格	原価
為替レート	在庫調整
在庫ポジション	入荷情報
在庫振替	ロス防止
値下げ	市場データ
総仕入れ原価および基準原価を基にした利益	バック売上
計画 (TopPlan)	価格設定
ベンダー返品	売上予測
売上生産性	売上取引数
割り当て領域	在庫元帳
店舗の輸送	有効取引先
取引先遵守度	取引先契約
取引先インボイス原価	取引入札
利用不可の在庫	伝票

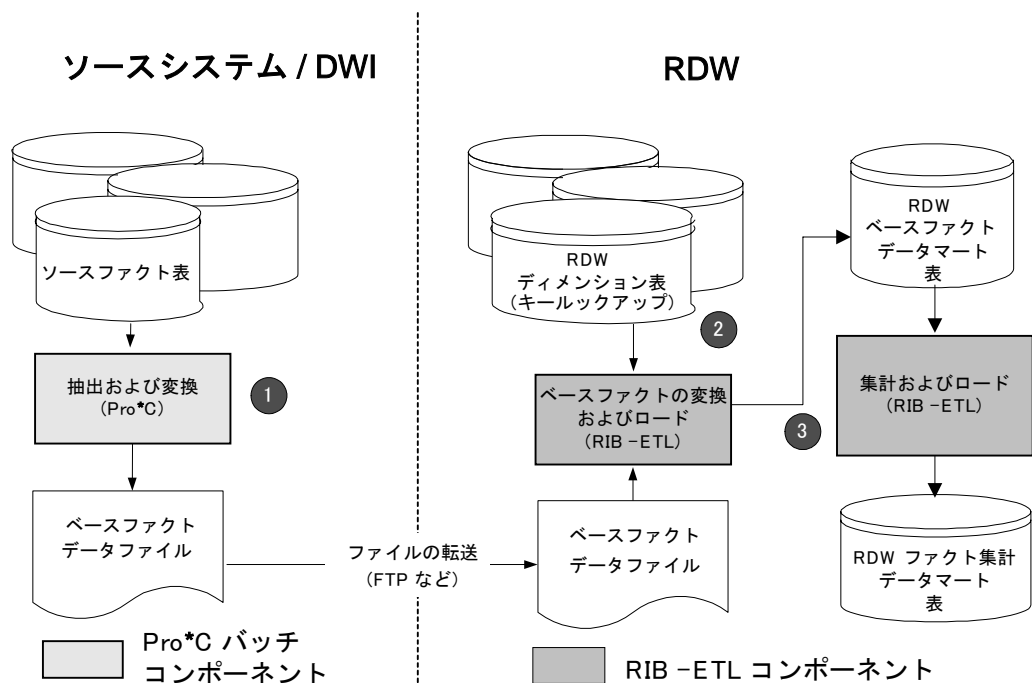
## ファクト表のタイプ: ベースと集計

RDW には、ベースと集計という 2 種類の表が含まれます。

- "ベース" ファクト表には、機能領域ごとのファクトデータが最も細かいレベルの粒度で格納されています。ベースファクト表に初期データ入力するプロセスは、Pro\*C プログラムによる、ソースシステムからのデータ抽出から始まります。Pro\*C プログラムは、RDW に送出するためのテキストファイルを出力します。RDW では、RIB-ETL の変換とロードのプロセスによって、ファクトデータファイルを受け取り、ベース表を更新します。RIB-ETL を使用してデータファイルをロードするにあたり、RDW のファクト API は、スキーマファイルを定義して、ターゲット表のカラムのほか、各ベースファクトのデータマート表に対するデータ型を記述します。RIB-ETL は、このスキーマを参照して、ソースデータファイルをロードします。その後、ベースファクト表上のデータが集計されます。
- ファクト "集計" 表には、ベース表から、より上位のディメンション階層にロールアップされたファクトデータが格納されます。RDW は、Korn シェルスクリプトおよび RIB-ETL 演算子を使用して、データを集計します。
- 未圧縮のファクトデータは、今後クライアントが照会する予定がなければ、自由にパージしたり、ロールオフしたりできます。パージはクライアント固有のビジネス要件に従って決定されるため、Retek 社では、パージルーチンを提供していません。圧縮ファクト表の詳細については、第 4 章を参照してください。

## ファクトの抽出、ロード、集計の概要

次の図は、ファクトデータの一般的な抽出、ロード、集計の各プロセスを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



ファクトの抽出、ロード、集計の概要



## ファクトの抽出、ロード、集計のフロー

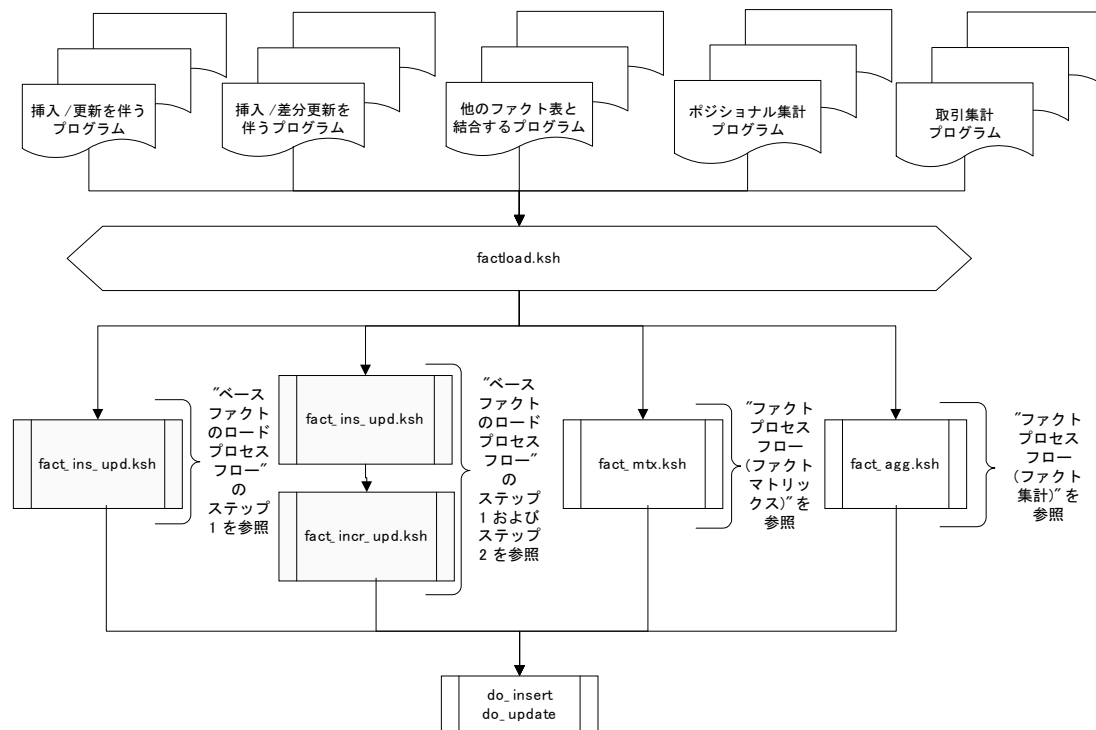
- 1 ファクトデータは、RDW データウェアハウスインターフェイス (DWI) を使用して、ソースシステムから抽出されます。DWI は、データを抽出して、テキストファイルに書き出す、一連の Oracle Pro\*C プログラムから構成されます。このデータファイルは、FTP などの一般的なデータ転送プロセスを使用して、RDW サーバーに転送されます。
- 2 RDW では、データがデータファイルから抽出され、識別子が適切な代理キーにマッピングされます。このデータは、ベースファクトデータマート表に書き込まれます。
- 3 さらに、データは、単一のプロセスで、1 つのベースファクトデータマート表から読み込まれ、その後、1 つのファクト集計データマート表にロードされます。

代理キーの詳細については、第 2 章「ディメンションデータ概念」を参照してください。

## ファクトの一般的な処理

次の図は、RDW 10.0 におけるファクト処理を示しています。このフローは、ファクトプログラム (サブライブラリを使用するもの) から `factload.ksh` に処理が引き継がれる様子を示しています。このライブラリは、プログラムが何を必要としているかを解釈して、適切なサブライブラリを呼び出します。複数のライブラリが呼び出されることもあります。このようなライブラリの "交通整理" は、`Factload.ksh` によって行われます。それぞれのファクトプログラムは、サブライブラリを正しいプログラムに導くために、`factload.ksh` を呼び出さなくてはならない点に注意してください。適切なサブライブラリによってプログラムの処理が行われると、システム側が、RDW のファクト表に変更を加えることができます。

この章で後述するフロー図は、該当する Korn シェルのサブライブラリ内で、コンテキストデータがどこでどのように処理されるかを具体的に示しています。下の図の各サブライブラリからの引き出し線は、この章の後半で説明する、具体的なプロセスフロー図の参照先および該当するステップを示しています。



ファクトプロセスフロー (一般)

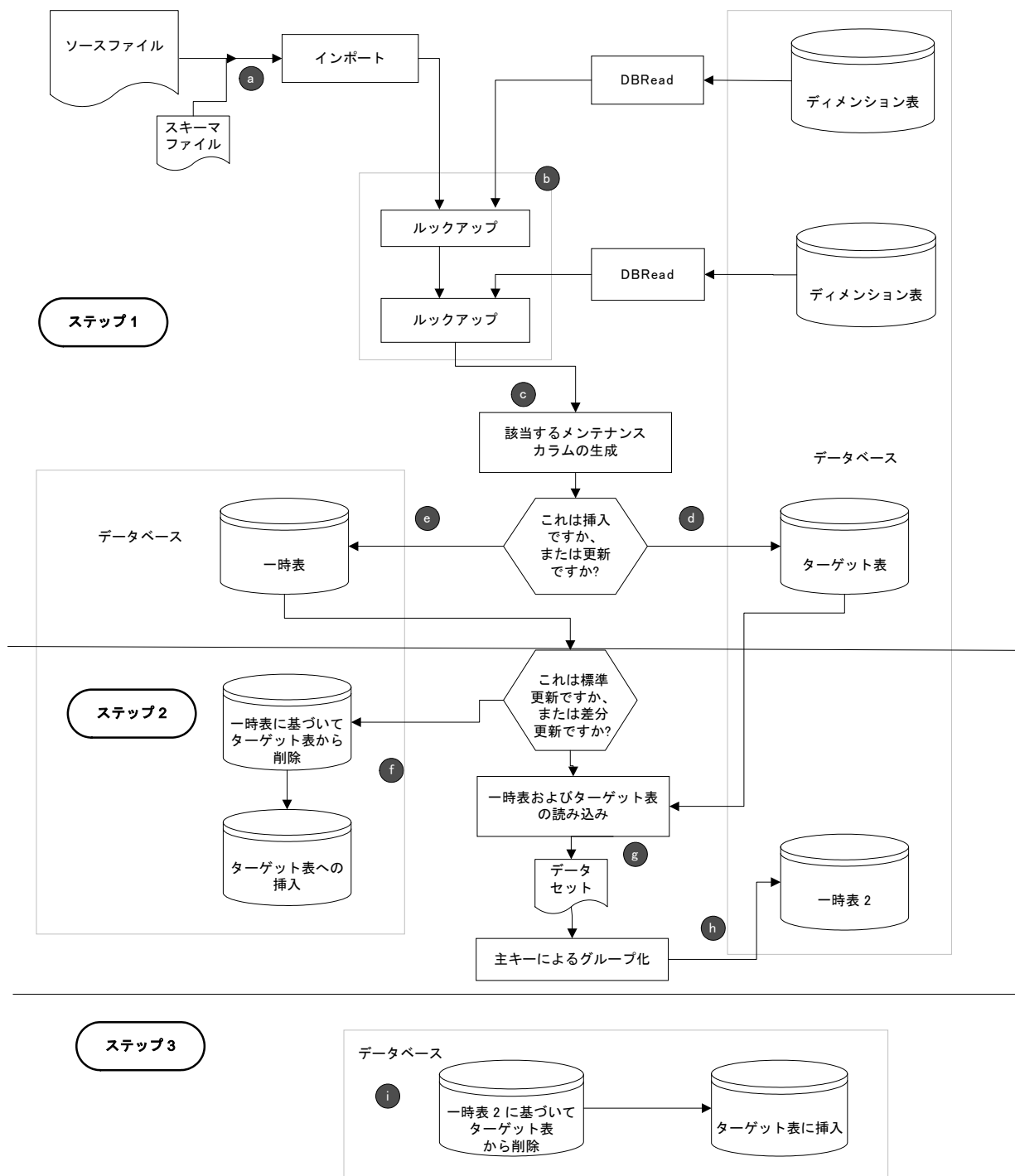
## ファクトのロードに関する詳細な説明

この項では、ファクトデータの変換とロードの各プロセスについて説明します。  
RIB-ETL を使用してデータファイルをロードするにあたり、RDW は、スキーマファイルを使用して、ソースファイルのフィールドのほか、各ベースファクトのデータマート表に対するデータ型を記述します。

次の図は、一般的な RIB-ETL ファクトプロセスを示し、ファクトのロードプロセスを詳細に表しています。ただし、次の各問題は、プログラムごとに扱いが異なる点に注意してください。

- 一部のベースファクトは、異なるディメンション表を使用してルックアップを実行します。
- 一部のベースファクトのロードは、UPDATE を伴わない INSERT だけが可能です (圧縮データマートなど)。
- 一部のベースファクト (商品の売上など) では、新旧の値の総和が新しい値となる差分更新が行われます。

番号が振られた各ステップおよびアルファベットで示された各アイテムに対応する説明が図に続けて記されています



ベースファクトのロードプロセスフロー

## ベースファクトのロードプロセスフロー

### ステップ 1

- a ソースシステムから抽出したファクトデータファイルは、スキーマファイルに基づき、IMPORT 演算子によって RIB-ETL データセットにロードされます。このスキーマファイルは、ターゲット表に準拠する、データファイルのすべてのデータフィールドおよびデータ型を定義しています。
- b 新データのルックアップ表として、結合するすべてのディメンション表を RIB-ETL データセットに読み込み、その識別子に基づいてキーを取得します。読み込みには、DBREAD 演算子が使用されます。ディメンション表の数は、ファクトプログラムごとに異なります。ディメンション表からデータを選択し、それを新データと結合させる RDW コード (DBREAD 演算子を含む) が Dimlkup.ksh によって生成されます。クライアントは、このプロセスをカスタマイズする必要性が生じた場合、dimlkup.ksh に使用されている変数を変更することもできます。
- c 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンスカラムが生成されます。このメンテナンスカラムには、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- d 挿入のみのファクトプログラム (為替レート、原価など) の場合は、結果のデータセットを、ターゲット表に直接追加することができます。これらのプログラムのプロセスは、このステップで完了になります。
- e 更新レコードを持つファクトプログラム (割り当て領域、総仕入れ原価など) の場合は、新規レコードが格納されているデータセットが一時表 (ベース一時表) に書き出されます。

### ステップ 2

- f 標準更新を伴う、すべてのベースファクトプログラムは、この一時表を使用して、ターゲット表から削除する古い更新レコードを判別します。ターゲット表の古いレコードが削除されます。ターゲット表に新しいレコードが挿入されます。これらのプログラムのプロセスは、このステップで完了になります。
- g 差分更新を伴う、すべてのベースファクトプログラムは、この新規レコードをターゲット表から読み込み、一時表のデータと組み合わせて、新しいデータセットを形成します。
- h 目的のファクトフィールドを集計するため、新しいデータセットが、ターゲット表の主キーによってグループ化されます。結果のデータセットが第 2 の一時表 (一時表 2) に書き込まれます。

### ステップ 3

- i このステップは、差分更新にのみ適用します。一時表 2 を使用して、ターゲット表内の古い更新レコードから削除するレコードを決めます。ターゲット表の古いレコードが削除されます。ターゲット表に新しいレコードが挿入されます。差分更新を伴うベースファクトプログラムのプロセスは、このステップで完了です。

## ファクト集計

集計プロセスは、ファクトがベースデータマート表にロードされた後で開始されます。集計とはデータを特定のレベルの粒度に加工するプロセスを指します。たとえば、アイテム (アイテムレベル) にしたり、それをより高いレベルである、サブクラスなどにまとめることによって、照会パフォーマンスを向上させます。フロントエンドがレベル間のドリル分析を正確に行えるように、ファクトカラムは、ベースレベルとすべての集計レベルとの間で同じ名前になるように保たれている必要があります。

RDW には、ポジショナルファクト集計および標準ファクト集計という 2 種類の集計があります。ポジショナル集計では、1 つの値が、現在の時刻における最新の値に更新されます。標準集計では、現在の時刻までのすべての値が合計されます。一部の複合メトリックをサポートする "導出データマート" と呼ばれる第 3 の集計タイプもあります。

## ポジショナルファクト集計

RDW の一部のファクト表は、特定の時点における、エンティティのポジション (状態) に関する情報を保持します。このようなデータは、取引データと同じ方法では集計できません。後述の「標準ファクト集計」を参照してください。たとえば、価格に関するデータマートに、特定のロケーションにおける、特定のアイテムの売単価の値が格納されているとします。新規レコードは価格変更が生じた場合にのみ表に書き込まれますが、ユーザーがどの日付のデータを照会しても、システムが正しい値を返すように設定する必要があります。しかし、すべてのロケーションの、すべてのアイテムのポジションを毎日格納していくことは、データの格納領域とロードパフォーマンスの観点から、すぐに行き詰ることは明らかです。RDW は、格納領域とパフォーマンスのトレードオフを考慮し、圧縮技術を利用することで、ポジショナルファクトの格納とレポートを実現しています。RDW による圧縮がいつどのように行われるかについては、第 4 章「圧縮とパーティション化」を参照してください。

RDW 10.0 には、4 つのポジショナルファクト集計モジュールが含まれています。これらを次の表に示します。

ポジショナルファクト集計モジュール	
Invlwdm	圧縮ソースおよびターゲット表
Invblddm	非圧縮ソース (CUR 表) およびターゲット表
Invblwdm	非圧縮ソースおよびターゲット表
Sfcbldm	非圧縮ソースおよびターゲット表

### 時間の経過によるポジショナルファクト集計

ポジショナルファクト表のデータは、エンティティの総合的なアクティビティを表すのではなく、時間の一点におけるエンティティの状態を表します。そのため、これらのファクトは、時間の経過に従って単に集計することはできません。たとえば、"今週の売単価合計は ?" という質問には意味がありません。そのため、時間軸によるポジショナルファクトの集計は、"今週末の売単価は ?" という問いに対する答えが成立するような、期間の終わりを基準にします。

時間軸による集計では、集計プログラムは毎日実行されます。ある期間のポジショナルファクトの集計結果は、期間の終わりではなく、現在までの期間というポジションになります。その期間が終了すると、当該期間の最後の実行により、期間の終わりのポジションが得られます。

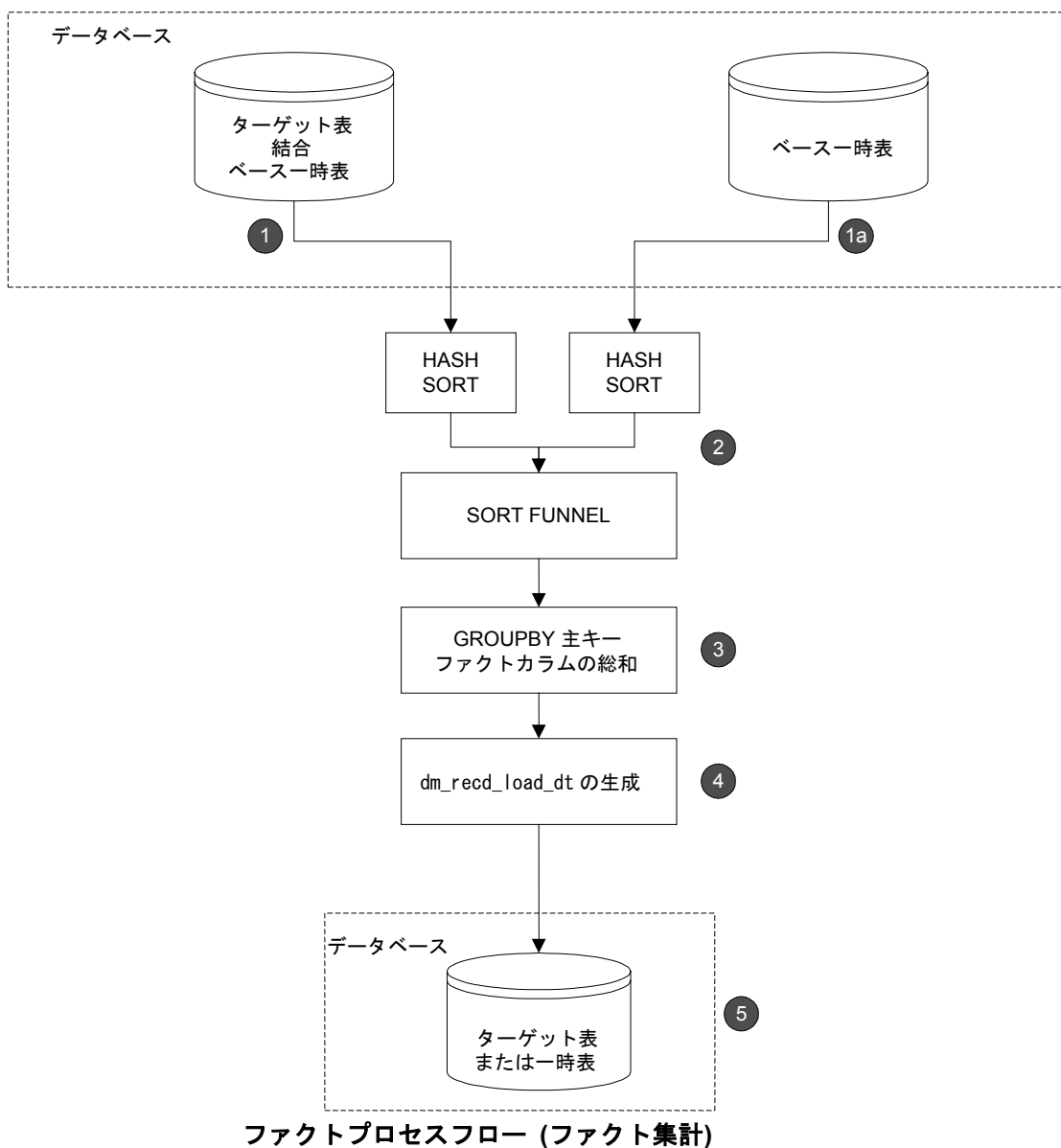
### 非圧縮集計

ポジショナルファクトの集計は複雑です。簡単なメンテナンスと最大のパフォーマンスを両立するためには、ベースレベルのファクトは (未処理のままの) 圧縮された状態に維持し、粒度の粗い上位レベルの集計は非圧縮状態 (すべてのエンティティのポジションが毎日書き込まれる) で格納すると効果的な場合があります。非圧縮集計を構築することは、それ自体が大規模なタスクになる場合があります。ある時点における低レベルの最新のポジションを毎日取得することが含まれるからです。ほんの少し前に記録されたエンティティが対象になることすらあります。幸いこのタスクはカレントポジション表 (INV\_IL\_CUR\_DM など) を使用することによって簡単に行うことができます。また、ロードに一時表を利用することによって、データの一括処理が効率化されています。

## 標準ファクト集計

RDW のファクト表の多くには、発生したアクティビティ、つまり取引についての情報が含まれます。たとえば、商品売上表には、特定の日付における、特定のロケーションの、特定のアイテムに対する売り上げの合計が格納されます。これは、RDW で最もシンプルなタイプのファクトデータといえます。格納されたすべてのデータは、レポート用途などで、あらゆるディメンションの軸に沿って集計することができます。

次の図は、標準的なファクト集計プロセスを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。





## ファクトプロセスフロー (ファクト集計)

- 1 ベース一時表には、その日に行われた変更や挿入が反映されているため、ターゲット表をベース一時表と結合し、再集計を要するターゲット集計表の行を選択できるようにします。

例:

ターゲット集計表			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20
A	C	1	30

上の表は、次の表と結合されます。

ベース一時表 (今日)				
日付	ロケーション	アイテム	週	数量
4	A	B	1	5
4	A	D	1	70
4	A	F	1	30

以上の 2 つの表の結合により、次の結果が生成されます。

再集計の必要な行			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20

- 1a ベース一時表は、変更されたデータと新規データの集まりであり、再集計が必要です。

例:

ベース一時表			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	5
A	D	1	70
A	F	1	30

- 2 RIB-ETL の各データセットは、HASH 演算子および SORT 演算子により、ハッシュされ、主キーの順番に並べ替えられます。それぞれの主キーに基づいて、SORT 演算子および FUNNEL 演算子がこれらのデータセットを 1 つの表に結合します。

例:

SORT および FUNNEL 後の RIB-ETL データセット			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20
A	B	1	5
A	D	1	70
A	F	1	30

- 3 GROUPBY 演算子により、集計は、主キーごとに行われます。これにより、ファクトカラムの総和を効率よく求めることができます。

例:

集計後の RIB-ETL のデータセット			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	25
A	D	1	70
A	F	1	30

- 4 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンスカラムが生成されます。このメンテナンスカラムには、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- 5 データが次のいずれかに書き込まれます。
- ターゲット表。該当するプログラムに挿入だけが含まれる場合。
  - 一時表。該当するプログラムに更新が含まれる場合。その後、ターゲット表は標準更新プロセスによって処理されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。

## 導出データマート

一部の複合メトリックをサポートするには、粒度の粗い単純な合計に基づくファクトを格納するための集計表を構築することが必要な場合があります。これは、ファクトデータマート表間でデータが移動するという点で、標準集計に似ています。しかし、2 つのレベルで、ファクトカラムの名前が異なるため、直線的なドリルパスが存在しません。すなわち、上位レベルの DM 表は、厳密には集計されるわけではありません。両者は下位レベルから導出された、異なるデータマートということになります。次にその例を挙げます。

**Sales (売上)** データマートに、アイテムの加重平均原価を使用して計算された利益が格納されているとします。**Net Cost (総仕入れ原価)** データマートには、より詳細な利益分析に使用される、特定の取引先からの、アイテムの各種原価が保持されています。この 2 つの機能領域からのデータを組み合わせることにより、**Net Profit (純利益)** データマートが構築されます。データマートを導出することにより、複雑なメトリックを使用しなくても、ユーザーは、フロントエンドで利益分析レポートを表示させることができます。データマートを導出する別の利点として、データベースのパフォーマンスが向上するという点が挙げられます。

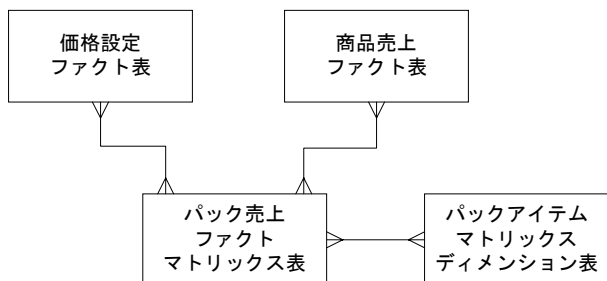
RDW 10.0 の導出データマートには、次の項目が含まれます。

- 売上取引サマリ
- 入札取引サマリ
- ロス防止取引サマリ
- 取引先遵守度サマリ
- 純利益
- パック売上

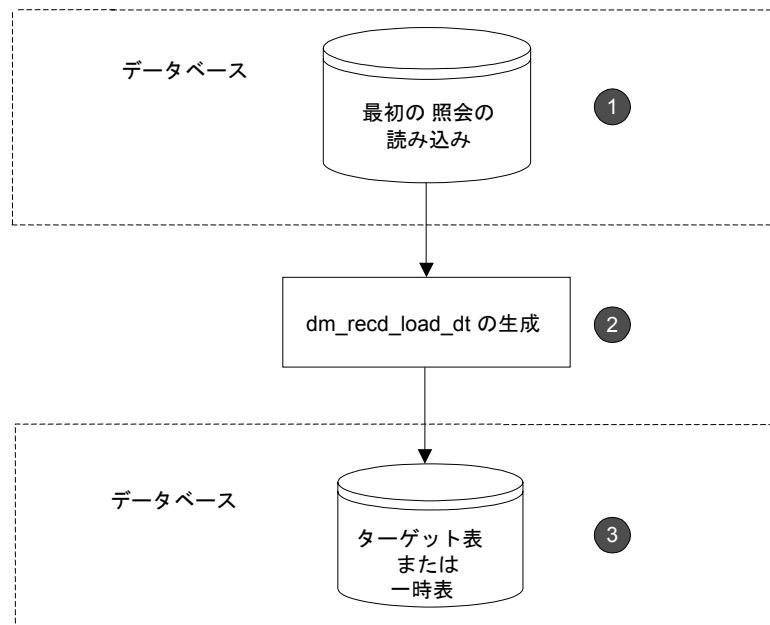
## ファクトマトリックス処理

導出データマートは、"ファクトマトリックス" と考えることができます。下の図と表が示すように、マトリックス表は、共通のディメンションキーを使用することにより、カーディナリティにおいて多対多の関係を持つ、ファクト表とディメンション表間の関係を解決します。

例:



ファクトマトリックス表の例				
アイテム	ロケーション	日付	原価	売上額
1	1	2	5	10
1	2	1	10	20
2	1	1	5	10



### ファクトプロセスフロー (ファクトマトリックス)

- 1 プログラムがライブラリ (fact\_mtx.ksh) を呼び出すとき、RIB-ETL データベースの読み込み演算子 (ORAREAD など) を照会に使用してデータを取得します。照会では、必要に応じて集計が実行されます。
- 2 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンスカラムが生成されます。このメンテナンスカラムには、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- 3 データが次のいずれかに書き込まれます。
  - ターゲットファクトマトリックス表。該当するプログラムに挿入だけが含まれる場合。
  - 一時表。該当するプログラムに更新が含まれる場合。その後、ターゲットファクトマトリックス表は標準更新プロセスによって処理されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。



## 第 4 章 圧縮とパーティション化

この章では、RDW 10.0 で圧縮がどのように実装されるかを説明し、Oracle のパーティション化について説明します。

### 圧縮の概要

データウェアハウスのサイズは、しばしば非常に大きくなりますが、一部の RDW 表で生成される情報の量は、標準的な用途であっても、巨大なサイズになることがあります。たとえば、500,000 のアイテムと 500 のロケーションを有する小売業者の場合は、毎日 250,000,000 の行が新たに生成されることになります。このように大量の非圧縮データを格納していくのは、ディスクの格納領域の観点から現実的ではありません。行を格納するためのコストもさることながら、バックアップなどのデータベースメンテナンス操作にかかるコストも膨大になります。

RDW におけるデータ量軽減のための 1 つのアプローチが圧縮です。この章では、次の内容について説明します。

- 圧縮とは何か
- 圧縮の対象となる表について
- 圧縮のメカニズム
- 圧縮に関する Oracle の機能
- Oracle クライアント用圧縮表の実装方法

### 圧縮とは何か

圧縮とは、基礎データソースへの変更のみを反映する物理データを保管することを指し、実際のデータレコードとのギャップは、データベースビューを使用して補われます。この方法は、主として、在庫などの永続的なサブジェクト領域に使用されます。たとえば、売上データの照会では、有効な売上レコードは、存在する (売上が発生した) か、存在しない (売上は発生していない) かのいずれかになります。これに対し、手持在庫の照会では、要求された日に在庫に対する変更が生じていなくても、有効な値は必要です。この問題を解決する 1 つ手段として、前述のように、アイテムとロケーションのすべての有効な組み合わせレコードを、毎日格納する方法があります。もう 1 つの方法が圧縮です。この方法を使用すると、在庫ポジションに対する変更だけを格納することができます。照会は、実際のレコード変更が見つかるまで、目的の日付より前に遡ることによって解決されます (当日にレコード変更が存在しない場合)。この方法は、データの処理と格納の要件を最小にしながら、最新のデータを正しく返すことができます。

## 圧縮のメカニズム

展開ビューの目的は、あらゆる組み合わせ (アイテム-ロケーション-日付レコードなど) に対して、レコードが存在するかのようにアプリケーション側に見せることです。このため、表のデータを照会するアプリケーションに対して、表が圧縮されているかどうかを通知する必要はありません。

圧縮された表は、2 つの異なる要素で構成されます。1 つは、ある時点 (通常は、表またはパーティションの最初の日または週) における既存のすべての組み合わせから成る "シード" であり、もう 1 つはそれ以降に変更されたデータです。

特定のレコードに対して照会を行う場合、展開ビューは、要求されたアイテムおよびロケーションの (要求日と同じかそれ以前で要求日に最も近い日付を持つ) 最新のレコードを提供します。展開ビューには、シードおよびそのシード以降に変更されたすべてのデータが網羅されていなければなりません。

展開ビューの実際の動作を理解するために、次の状況を想定してみましょう。アイテム 10、ロケーション 10、2002 年 1 月 23 日の在庫ポジションを知りたいとします。シードの日付は 2002 年 1 月 1 日とします。変更がポストされた日付は、2002 年 1 月 4 日と 2002 年 1 月 15 日です。この場合、展開ビューがアプリケーションに提示する行は、要求日と同じかそれ以前で要求日に最も近い日付という条件に基づいて、2002 年 1 月 15 日となります。第 2 の例として、アイテム 10、ロケーション 10、2002 年 1 月 3 日の在庫ポジションが必要な場合を想定してみましょう。目的の日付以前にはレコード変更は行われていないため、アプリケーションには、2002 年 1 月 1 日のシードレコードが提示されます。

この例のように、単一の日付を照会する場合は、圧縮のパフォーマンスには問題はありません。しかし、特定のロケーションにおける特定の日付のすべての在庫ポジションなど、日付のグループを照会する場合は、許容範囲を下回るほどパフォーマンスが低下する場合があります。ユーザーが情報をグループで返すように要求した場合、データベースは各情報グループを効率的に処理しますが、展開ビューでは各行を個別に評価する必要があるため、グループでは処理されません。要約操作におけるパフォーマンスの低下に対処するために、Oracle クライアントは、圧縮表のパーティションシーディングを利用することができます。詳細については、この章に後述の「パーティション化 (Oracle クライアントのみ)」を参照してください。

パーティションシーディングには、CUR 表 ("カレント" 表) が使用されます。たとえば、INV\_IL\_CUR\_DM には、INV\_ITEM\_LD\_DM 表上のすべてのアイテムとロケーションごとに、展開された最新のポジションが保持されます。このポジションは、パーティションシードとして使用することができます (Oracle クライアントのみ)。また、このポジションは、メジャーチェンジのファクトシードとして、ベース RDW コードによっても使用されます。詳細については、この章に後述の「factopendm.ksh」を参照してください。



## 圧縮表と CUR 表

下の表は、RDW 10.0 における圧縮表、および対応する CUR 表を示しています。

圧縮表	CUR 表
CMPTR_PRICING_ITEM_LD_DM	CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM
COST_ITEM_SUPP_LD_DM	COST_ISL_CUR_DM
EXCHNG_RATE_CRNCY_DAY_DM	
INV_ITEM_LD_DM	INV_IL_CUR_DM
INV_ITEM_LW_DM	
INV_UNAVL_ITEM_LD_DM	INV_UNAVL_IL_CUR_DM
NET_COST_SUPP_ITEM_LD_DM	NET_COST_SIL_CUR_DM
PRICING_ITEM_LD_DM	PRICING_IL_CUR_DM
SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM	SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM
SPACE_ALLOC_ITEM_LD_DM	SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM
SUPP_AVAIL_ITEM_DAY_DM	SUPP_AVAIL_ITEM_CUR_DM
SUPP_CNTRCT_ITEM_DAY_DM	SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM

## メジャーチェンジへの対応

### Factclosedm.ksh

圧縮ファクト表では、ファクト属性のいずれかに変更が生じた場合にのみ、レコードが表にポストされます。何のアクティビティもなかった場合、レコードはポストされません。その後、物理的にポストされたレコード間のギャップが展開ビューによって補完され、フロントエンドでは、アイテム-ロケーション-日付の各組み合わせに対応するファクトレコードを参照できるようになります。ただし、アイテム、ロケーション、部門のいずれかがクローズまたはメジャーチェンジされた場合、これらのディメンションのファクトレコードはすべて無効になります。レコードが最後にポストされた後のギャップを補完しないように、展開ビューに指示する必要があります。この指示を実行するために、factclosedm は、最初に PROD\_ITEM\_RECLASS\_DM、ORG\_LOC\_RECLASS\_DM、PROD\_DEPT\_RECLASS\_DM の各表を照会して（この章に後述の「factopendm.ksh」を参照）、その日にクローズしなければならない、圧縮されたアイテム-ロケーションのファクトを決定します。次に Factclosedm は DM\_RECDD\_STATUS\_CDE = 'X' という "ストップレコード" を挿入します。展開ビューは、ステータスコード 'X' がポストされた日付までのレコードを補完します。新たに (factopendm.ksh から) 追加されたシードレコードがアクティブになった場合は、その翌日の DAY\_IDNT に対応するクローズレコードが挿入されます。これにより、翌日以降のファクトレコードは無効になることが示されます。圧縮された週表 (INV\_ITEM\_LW\_DM) の場合は、factclosedm が翌週の WK\_IDNT に対するクローズレコードを挿入します。

### Factopendm.ksh

製品または組織ディメンションへのメジャーチェンジにより、アイテムまたはロケーションの新しい代理キーが作成された場合、RDW Data Compression 表のシーディングが必要になります。圧縮表のシーディングが必要になるのは、新しい階層の関係が、新しいキーによって表現されるためです。圧縮表に対して新しいキーが指定されていないと、圧縮ビューは、古いディメンションがクローズされた日から、圧縮ファクト表に新しいディメンションのレコードがポストされる日まで、データをいっさいピックアップしません。このデータの欠落によって、照会の結果に不整合が生じ、データの集計を正しく行うことができなくなります。

このシーディングのプロセスは、2 つのステップから成ります。最初に、prditmdm.ksh、prddepdm.ksh、orglocdm.ksh の各モジュールがディメンションのロードプロセスの一部として実行され、一時表 PROD\_ITEM\_RECLASS\_DM、PROD\_DEPT\_RECLASS\_DM、ORG\_LOC\_RECLASS\_DM に初期データが入力されます。次に、factopendm.ksh モジュールは、この表の、再分類されたアイテム、部門、ロケーションを調べます。ITEM\_KEY、DEPT\_KEY、LOC\_KEYS に再分類が生じたレコードを保持する、すべての圧縮表がシーディングされます。

## パーティション化 (Oracle クライアントのみ)

### パーティション化計画の概要

現在 RDW 10.0 のベースコードは、表がパーティション化されずに出荷されます。RDW 10.0 は、特定のデータベースに依存しませんが、パーティション化は Oracle クライアントにのみ適用できます。そのため、この項では、Oracle を使用するクライアントがオプションとして実行する可能性のある、圧縮データマート用のパーティション化計画について説明します。

前述のとおり "展開ビュー" は、基礎となる表に実際にはまばらにしかデータが入力されていないなくても、すべてのデータが存在するかのように見せる、仮想的なビューを提供します。大きな圧縮表 (特に INV など) の場合、表のパーティション化には、次のような利点があります。

- 各パーティションはサイズが小さいため、管理が容易である。
- 複数のパーティションに対する管理操作を並列的に実行できる。
- パーティションメンテナンス操作 (索引の再構築など) が完全な表に対する操作と比べて高速である。
- パーティションのほうが表よりも可用性が高い。たとえば、特定のパーティションを復旧しているときに、別のユーザーが、当該の表の別のパーティションに同時にアクセスできます。
- 最適化プログラムにより、表全体ではなく、対象のパーティションにだけ存在するデータにアクセスするよう照会の絞り込みが可能である。たとえば、2 月のデータだけを対象とする場合、その表の、2 月のパーティション以外に存在するデータは無視できます。
- パーティションは独立したデータベースオブジェクトであり、個別に管理することが可能である。たとえば、年間を通して 12 月分の売上データに対するアクセス頻度が他の月と比べて高い場合は、12 月の売上パーティションだけを、より速くアクセスするための特別な表領域に格納できます。
- Oracle は、状況によっては、パーティションに対し、表では不可能な並列操作を作成することができます。たとえば、2 つの異なる表が同じキーに基づいてパーティション化されている場合、それらを結合できます。この機能は、"並列パーティション性結合" と呼ばれます。

一般的なガイドランとしては、表のパーティションは、非常に大きな表に対して使用することをお勧めします。20 GB を超える表などは、パーティション化に適しているといえます。在庫表のパフォーマンスを最適化する場合などにパーティション化が大変有効です。

索引は、表と同様に、パーティション化することができます。"索引パーティション" は、グローバル (表がパーティション化されているかどうかにかかわらず、表に対し 1 つの索引が存在) またはローカル (表パーティション 1 つに対し、索引パーティション 1 つ) にすることができます。表がパーティション化されている場合は、一般に、次のような理由により、グローバル索引よりローカル索引が適しています。

- 索引全体ではなく、1 つの索引パーティションだけをメンテナンス操作の対象にできる。たとえば、最も古い表パーティションが使用されなくなった場合、ローカル索引パーティションは、対応する表パーティションと一緒にドロップできます。これに対し、グローバル索引は、表パーティションがドロップされて使用不能になった場合、全体を再構築する必要があります。
- 最適化プログラムにより、個別のパーティションのみを使用する照会アクセスプランが生成される。
- 複数の索引パーティションにアクセスするとき、最適化プログラムによって、複数の並列プロセスが自動的に使用される。

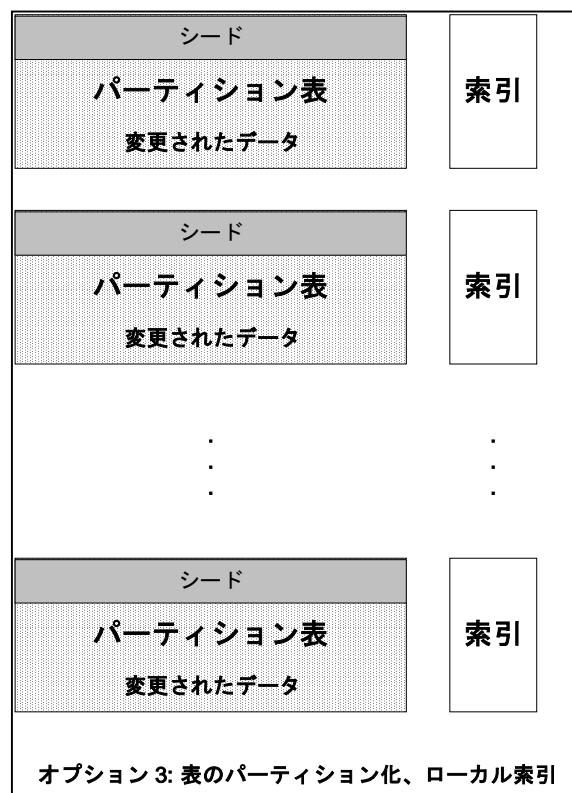
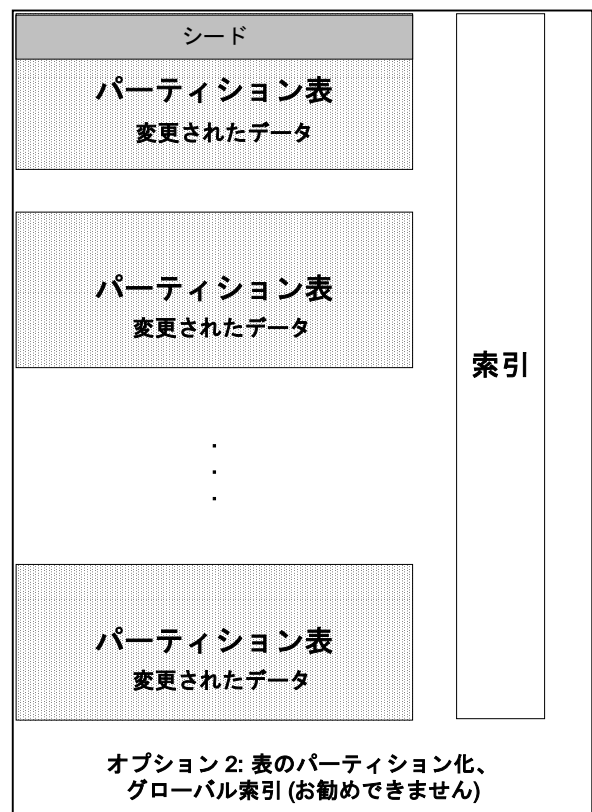
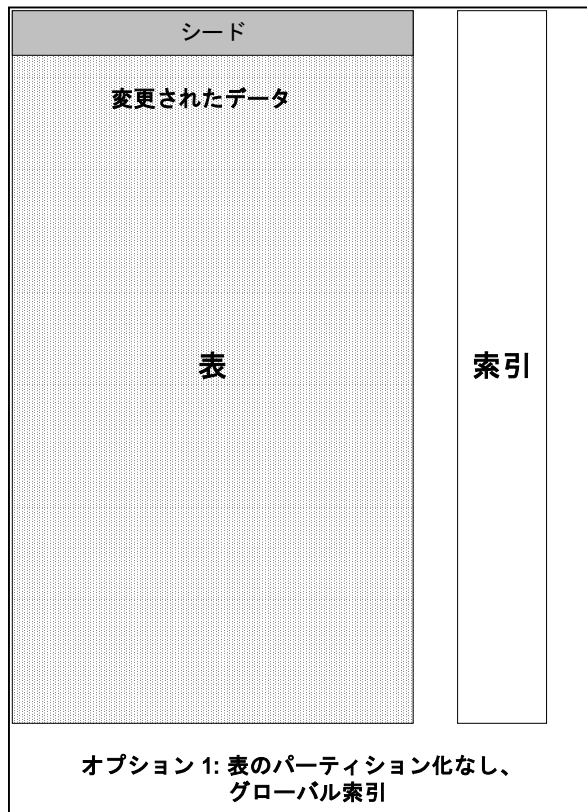
## RDW パーティション化の実装

次のページの図は、圧縮表をパーティション化するクライアント向けに、表と索引のレイアウト例をいくつか示しています。

一般に、大きな圧縮表 (特に INV\_ITEM\_LD\_DM および INV\_ITEM\_LW\_DM 表) に対してはオプション 3 が適しています。オプション 3 では、表パーティションとローカル索引を使用することにより、索引のメンテナンスおよび古い表パーティションの削除による影響を最小限にしています。

オプション 1 は、小規模の圧縮表に適しています。一般に、INV 以外のすべての圧縮表に適しています。この方法の欠点は、履歴データを削除する方法がない (すなわち、表が肥大化しつづける) という点です。

オプション 2 は、お勧めできません。パーティション化された 1 表に対してグローバル索引を使用することの不都合に加え、履歴データをパージできないという欠点があります。



## MicroStrategy 7 のパーティション化計画および要件

パーティション化では、大きなファクト表を複数のより小さな表に分割できます。適切なパーティション化計画は、照会の応答時間を向上させ、表のロードに必要な時間を大幅に短縮します。これらは、パーティション化された環境に求められるデータベースメンテナンスの手間を考えると検討する価値があります。

パーティション化は、時間ディメンションに沿って分割することが可能な、大規模な表に対して効果を発揮します。たとえば、売上ファクト表は、大半の照会が現在の年のデータ取得を目的としたものであるような環境においては、年単位でパーティション化できます。このような場合には、照会の大部分が、より小さい表に対して実行されることになるため、パフォーマンスは向上します。表のパーティション化には、しばしば時間が使用されますが、MicroStrategy 7 では、任意のディメンションに基づいたパーティション化が可能です。

MicroStrategy 7 環境のパーティション化のために利用可能な 2 つの方法を次に示します。

- ウェアハウスパーティションマッピングでは、マッピング表を使用してパーティション化を管理します。マッピング表は、DBA が作成、管理する必要があります。
- メタデータパーティションマッピングでは、MicroStrategy 7 のメタデータからパーティション化を管理します。この方法は、データベースレベルのメンテナンスを大幅に軽減します。

**注:** 圧縮表 (INV\_ITEM\_LD\_DM など) のパーティション化を実装する Oracle クライアントの場合、MicroStrategy 7 では、ウェアハウスパーティション化 (PMT 表) の使用は必須です。

### ウェアハウスパーティション化

ウェアハウスパーティション化には、パーティションのマッピング表およびパーティションのベース表が必要です。これらの表を MicroStrategy プロジェクトに追加する必要があります。

### パーティションマッピング表 (PMT)

DBA は、新しい表を、パーティション作成用の属性に従ってマッピングする表を作成する必要があります。PMT 表の構造は次のようになります。

ATTRIBUTE_ID	PBTNAME

ATTRIBUTE\_ID カラムには、表をパーティション化するときの属性値が格納されます。PBTNAME (Partition Base Table Name) カラムには、パーティションの名前が格納されます。

年単位のパーティションに対する PMT 表は、次のようになります。

YR_ID	PBTNAME
1997	Y1997_Sales
1998	Y1998_Sales
1999	Y1999_Sales
2000	Y2000_Sales
2001	Y2001_Sales

パーティションの作成には、複数の属性が使用される場合があります。たとえば、年およびリージョンに基づくパーティションを作成するケースもあります。この場合、PMT には、年とリージョンの識別子のほか、対応する PBT の名前が格納されます。

### メタデータパーティション化

この方法では、パーティションがプロジェクトのメタデータ内でマッピングされるため、PMT は不要になります。これらのオブジェクトは、"データスライス" と呼ばれ、パーティションベース表の内容を定義するフィルタです。これらのオブジェクトは、Metadata Partition Mapping Editor を使用して作成されます。

## パーティション化の設定とメンテナンスおよび圧縮在庫表のウェアハウス パーティションマッピングの例

- 1 最初に次の事項を決めておきます。
  - 使用するパーティション化計画
  - パーティションに使用される期間
  - 該当するカレンダーに基づく境界値 ("～未満の値" など)
  - 使用するパーティション数
  - パーティションの命名規則
- 2 MicroStrategy 7 によるウェアハウスパーティション化を実装するため、パーティション化された表とパーティションマッピング表を作成します。
- 3 時間暦ディメンションにデータが入力されていることを確認します。詳細については、『RDW 10.0 インストールガイド』を参照してください。
- 4 在庫ポジション表 (INV\_ITEM\_LD\_DM および INV\_ITEM\_LW\_DM)、およびパーティション化を予定している、その他の圧縮表について、パーティション化された圧縮ビューを作成します。
- 5 標準の権限付与スクリプトおよびシノニムスクリプトを再実行します。詳細については、『RDW 10.0 インストールガイド』を参照してください。
- 6 作成済みの圧縮 PMT 表のほか、パーティションマッピング表 (PMT\_INV\_ITEM\_LD\_DM および PMT\_INV\_ITEM\_LW\_DM) にもデータを入力します。

次のいずれかのイベントが発生した場合は、常にステップ 4、5、6 を実行します。

- 時間暦表 (TIME\_DAY\_DM または TIME\_WK\_DM) に対し、レコードの追加または削除が行われた。
- 在庫ポジション表 (INV\_ITEM\_LD\_DM または INV\_ITEM\_LW\_DM) にパーティションが追加された。
- 在庫ポジション表 (INV\_ITEM\_LD\_DM または INV\_ITEM\_LW\_DM) からパーティションが削除された。

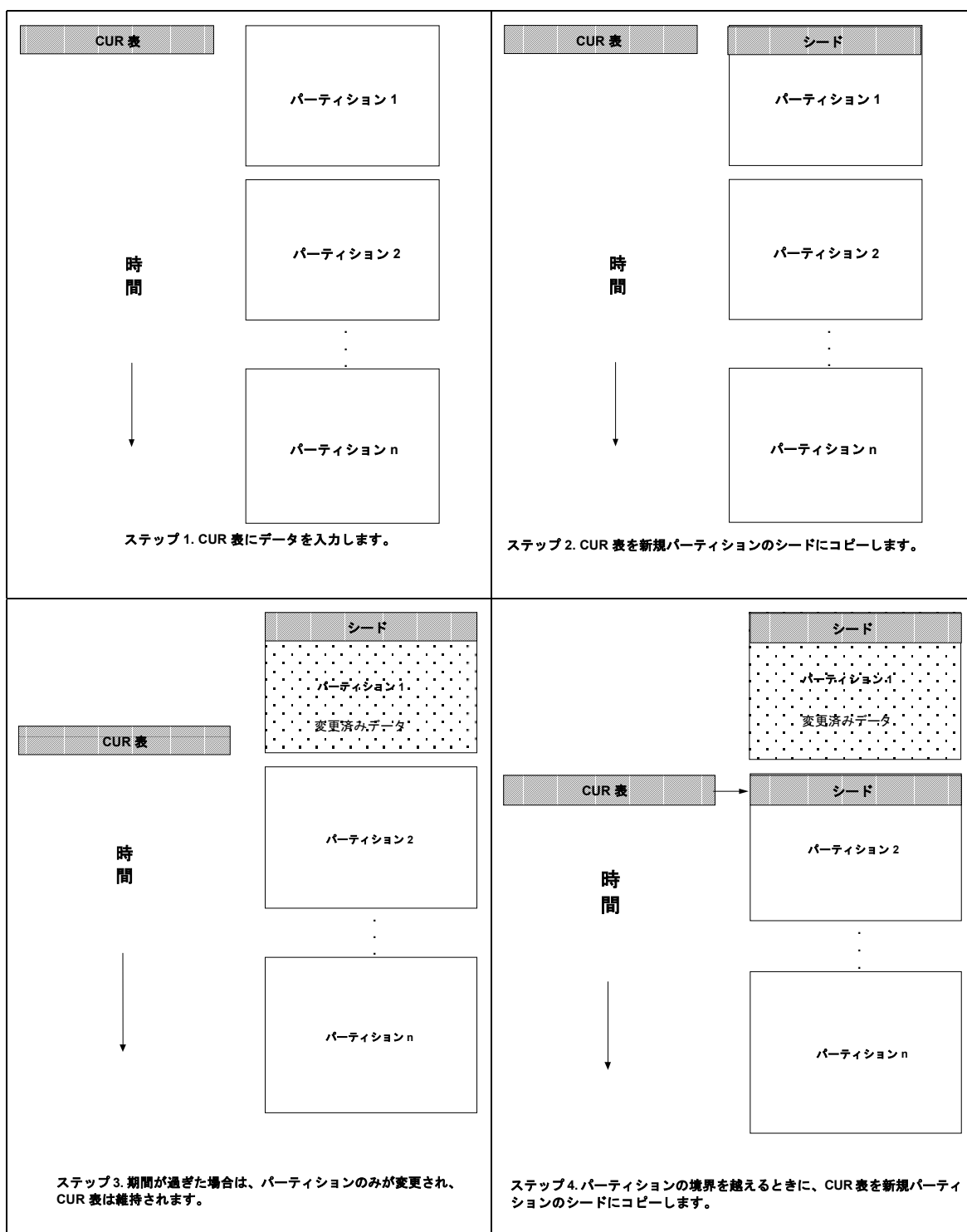


### 圧縮在庫表のパーティション化の実装

表 (パーティションも含む) と索引を作成したら、データをロードする必要があります。INV\_ITEM\_LD\_DM および INV\_IL\_CUR\_DM などの、対応する CUR 表を持つ表の場合に推奨するステップを後続の説明と図に示します。

- 1 INV\_IL\_CUR\_DM 表にデータを入力します。このデータ入力、invilddm.ksh の初回実行時に、在庫ポジションレコードが処理されたときに行われます。
- 2 先頭のパーティションに INV\_IL\_CUR\_DM 表をシードとしてコピーします。このステップは orapartseed.ksh プログラムによって自動的に実行されます。シーディングの詳細については、「圧縮とパーティション化」を参照してください。
- 3 INV\_IL\_CUR\_DM が、(1 つ前の期間における) 最新の在庫ポジションを保持する、完全な非圧縮表であるのに対し、INV\_ITEM\_LD\_DM 表には、この時点で変更済みのレコードだけが追加されます。
- 4 パーティションの境界を越えるときに、orapartseed.ksh プログラムを介して、INV\_IL\_CUR\_DM 表が、新しいパーティションにシードとして追加されます。

圧縮を伴うパーティション化の実装方法や、パーティション化の実装に関する質問は、Retek カスタマサポートまたは Retek サービスまでお問い合わせください。



圧縮在庫表のパーティション化の実装

## Oracle によるパーティションの実装

Oracle 8.0 には、レンジパーティションが採用されています。このパーティションは、パーティションキーに基づく値の範囲によって分割されます。たとえば、月単位、部門番号単位、アイテムレンジ単位のパーティションなどがあります。

Oracle 8.1 のパーティション化オプションには、ハッシュパーティション（パーティションキーにハッシュ関数を適用することにより、一定数のパーティションに行を振り分ける）のほか、複合パーティション化（レンジパーティション化とハッシュパーティション化を組み合わせたもの）が追加されています。Retek では、レンジパーティション化を使用して表をパーティション化することを推奨します。また、不要になったパーティションをエージングできるように、パーティションキーは、主キーの日付フィールドにしてください。

一般的なガイドラインとしては、20 GB かそれ以上の表に対してパーティション化を行うとよいでしょう。管理しなければならないパーティション数と、パーティション化によって得られる利益との間には、管理上のトレードオフが存在するため、20 GB 未満の表に対してパーティション化を行うのは、特殊な状況を除いてはお勧めしません。また、個々のパーティションは 10 GB 以下に維持してください。

パーティションの物理レイアウトは、サイトごとに異なります。一般的なアプローチとしては、各パーティションは、別々の表領域に配置します。これには次の利点があります。

- 表領域の復旧などのメンテナンス操作を別のパーティションに影響を与えることなく実行できる。
- データファイルのパフォーマンス調整を手動で行う場合、表領域と、そこに含まれるファイルを自由に移動して、最適なパフォーマンスを得ることができる。
- 以後パーティションを更新しない場合、表領域を READ ONLY に変更することで、バックアップの要件を大幅に低減できる。

Oracle パーティションは、下限値から上限値の順に並んでいます。パーティションキー値の上限には、そのパーティションの上限境界値は含まれません。たとえば、SLS\_ITEM\_LD\_DM 表を 2000 年 1 月を最大値とする月単位でパーティション化する場合、パーティションキーは 2000 年 2 月 1 日（01-Feb-2000）となります。下限値は、最下位のパーティションに挿入することが常に可能です。ただし、上限値は、最上位のパーティションの上限値によっては、挿入できない場合があります。たとえば、最上位のパーティションの上限値が 01-Feb-2000 であり、01-Feb-2000 の日付でレコードを挿入しようとした場合、行を表に挿入できない場合があります（上限の境界値 01-Feb-2000 は含まれない点に注意してください）。以上の理由により、Oracle では、パーティションの特別な上限値として MAXVALUE というキーを使用できます。Retek では、パーティション化されたすべての表に、MAXVALUE を上限値とするダミーパーティションを含めることを推奨します。

RDW の圧縮表をパーティション化するときには、特別な考慮事項があります。各種パーティションのメンテナンスコマンドの簡単な説明を次に示します。詳細については、Oracle の最新のマニュアルを参照してください。

- **ADD PARTITION:** パーティション化された表の上限に新しいパーティションを追加します。Retek は、MAXVALUE パーティションを使用することを推奨しており、このパーティションが最上位のパーティションになります。そのため、ADD PARTITION と同等の機能は、MAXVALUE パーティションの SPLIT で実現できます。
- **DROP PARTITION:** パーティションをドロップします。データが増えるにつれ古くなっていくパーティションのうち、最古のパーティション (つまり最小値が割り当てられたパーティション) を削除するときに使用する一般的な方法です。
- **EXCHANGE PARTITION:** 非パーティション化表をパーティション化された表に変換します。または、逆に、パーティション化された表を非パーティション化表に変換します。
- **MERGE PARTITION:** 隣接する 2 つのパーティションを 1 つにマージします。
- **MOVE PARTITION:** パーティションを別のセグメントに移動します。これは、パーティションをデフラグしたり、格納領域の特性を変更したりするときに使用します。
- **SPLIT PARTITION:** パーティションの下限部分に新しいパーティションを追加することにより、既存のパーティションを分割します。
- **TRUNCATE PARTITION:** パーティションからすべての行を削除します。

Oracle では、ローカル索引パーティションと、基礎となる表パーティションとを、自動的に、1 対 1 に対応づけて維持します。また、任意の表パーティション操作 (ADD PARTITION など) が、対応する索引パーティションに影響を与える場合があります。

## 概要

パーティションは、大きな表を、管理しやすいより小さな単位に分割する場合に有用です。パーティションに関する Retek の推奨事項を次に示します。

- パーティション化は、表サイズが 20 GB を超える場合、またはパーティション化により実益を得ることのできる特殊な事情がある場合に検討すること。
- 個々のパーティションサイズは 10 GB 未満に維持すること。
- レンジパーティション化には、日付を主キーとして使用すること。
- 表をパーティション化する場合は、ローカル索引にすること。
- 各パーティションは別々の表領域に配置すること。
- パーティションの更新終了後は、表領域を READ ONLY に変更して、バックアップの要件を低減すること。

圧縮表をパーティション化する場合は、特別な要件を考慮すること。

## 第 5 章 RDW プログラムの概要

この章では、RDW の 2 タイプのプログラム RIB-ETL および Pro\*C について概要を説明します。Pro\*C プログラムは、RMS 10.0 などのソースランザクションデータベースからファクトを抽出する目的で、従来よりデータウェアハウスインターフェイス (DWI) で使用されています。RIB-ETL プログラムの詳細については、『RIB-ETL 1.6.1 プログラマーズガイド』を参照してください。

### RIB-ETL プログラム

RIB-ETL プログラムには次の特徴があります。

- プログラムリターンコード
- 再起動 / 復旧が不要
- パーティション化
- メッセージログ機能
- プログラムエラーファイル
- スキーマファイル

### プログラムリターンコード

RDW の RIB-ETL プログラムは、リターンコードを使用して、正常終了を通知します。プログラムが正常に実行された場合は ゼロ (0) が返されます。プログラムでエラーが発生した場合には、ゼロ以外が返されます。

### 再起動 / 復旧が不要

RIB-ETL では、再起動 / 復旧は必要ありません。RIB-ETL は、ロード中の表をロックします。ロードプロセスに、なんらかの理由によりエラーが発生した場合、プロセス全体が開始位置にロールバックされ、処理が完了するまで実行されます。

### パーティション化

RIB-ETL は、Pro\*C プログラムによるマルチスレッドの使用と似た方法でパーティション化を使用します。パーティション化では、利用可能な CPU ノードの数、またはシステム内で定義済みの論理パーティションの数などに基づいて、データが複数のセグメント (パーティション) に分割されます。各プロセッサは、データセット全体ではなく、データセットの一部だけを担当します。このパーティションロード方法により、データセット全体の処理が、単一プロセッサ環境と比較して格段に高速化されます。パーティション化の操作は、並列操作に近い動作をします。したがって、アプリケーションのユーザーは、パーティション化および並列化されていることをいっさい意識する必要はありません。

## メッセージログ機能

メッセージログは、この項に示したフォーマットで毎日出力されます。

### デイリーログファイル

すべての RIB-ETL プログラムは、起動時と終了時に、デイリーログファイルにメッセージを出力します。デイリーログファイルは、Retek のバッチホームディレクトリのサブディレクトリ (\$MMHOME/log) に格納されます。ログファイルの名前は、プログラムが実行された日付を基に決められます。日付が 1 月 5 日の場合は、ログファイルの名前と場所は次のようになります。

```
$MMHOME/log/Jan_05.log
```

### フォーマット

ログファイルに出力されたメッセージにはすべて、日付スタンプとプログラム名のほか、プログラムの開始と終了を示すメッセージが、正常に実行されたかどうかにかかわらず記録されます。

```
cusdemogdm 13:20:01: Program Starting...
cusdemogdm 13:20:05: Build update and insert data.
cusdemogdm 13:20:13: Analyze table rdw10Xdev.cust_demog_dm_upd
cusdemogdm 13:20:14: Insert/Update target table.
cusdemogdm 13:20:23: Analyze table rdw10Xdm.cust_demog_dm
cusdemogdm 13:20:27: Program Completed...
```

プログラムが異常終了した場合は、プロセス内の問題発生場所を示すエラーログが出力されます。

### プログラムエラーファイル

デイリーログファイルに加えて、各プログラムが独自のエラーメッセージと詳細情報を出力します。これらのメッセージは、デイリーログファイルに混在するのではなく、個々のプログラムによって、独立したデイリーファイルにエラーとして出力されます。

プログラムエラーファイルは、プロジェクトのバッチホームディレクトリのサブディレクトリ (\$MMHOME/error/) に格納されます。すべてのエラーおよびすべてのルーチン処理メッセージは、指定された日に、単一のファイルに移動されます。プログラムエラーファイルの名前には、該当するプログラム名と、作成された日付が使用されます。2001 年 1 月 5 日における、slsilddm プログラムのすべてのエラーおよび詳細ログ情報は、次のファイルに格納されます。

```
$MMHOME/error/slsilddm.010501
```

## スキーマファイル

RIB-ETL は、スキーマファイルを使用して、データセットを定義します。スキーマファイルには、各カラムのデータ構造が定義されます。RIB-ETL は、このファイルに基づいて、データのフォーマットと取り扱い方法を決めます。スキーマファイルの詳細については、『RIB-ETL 1.6.1 プログラマーズガイド』を参照してください。

## DWI Pro\*C バッチプログラム

RDW 10.0 は、Pro\*C バッチプログラムのデータウェアハウスインターフェイス (DWI) を使用して、ソースシステムからファクトデータを抽出します。この項では、DWI プログラムの次の特徴について説明します。

- プログラムリターンコード
- 配列処理
- 再起動 / 復旧
- マルチスレッド
- 表とスレッドメンテナンスの再起動 / 復旧
- メッセージログ機能

## プログラムリターンコード

RDW Pro\*C のバッチプログラムは、ゼロ (成功)、-1 (失敗)、1 (処理対象のスレッドが存在しない) のいずれかのリターンコードだけを返します。すべてのプログラムは、処理対象のスレッドが存在しない場合、1 を返します。リターンコードが -1 の場合は、常にエラーファイルが生成されます。バッチプログラムのエラーファイルの詳細については、この章に後述の「メッセージログおよびエラーファイル」を参照してください。

## 配列処理

Retek のバッチアーキテクチャには、Pro\*C の配列処理が使用され、いたるところでパフォーマンスの改善が施されています。スカラデータを使用して SQL 文を処理するのではなく、データは配列としてグループ化され、SQL 文の中でバインド変数として使用されます。これにより、サーバー / クライアント間のトラフィックやネットワークトラフィックが軽減し、パフォーマンスが向上します。

Pro\*C バッチプログラムでは、静的な配列サイズを定義しているわけではなく、再起動最大コミット変数をサイズ設定の基準値として使用します。この変数は restart\_control 表の commit\_max\_ctr カラムであり、バッチプログラムをチューニングするための手段として (num\_threads カラムと組み合わせて) 使用できます。commit\_max\_ctr は、次のコミット点に到達する前に処理される、データの "セクション" サイズを定義する場合にも使用されます。

## 再起動 / 復旧

再起動 / 復旧プロセスは、データベース関連の障害時にできるだけ堅牢である必要があります。再起動 / 復旧表を個別のデータベースに配置するのは、コストが掛かる割には利益の少ない方法です。しかし、これらの表を、個別のロールバックセグメントを持つ、ミラー化された表領域に設定することは重要です。

RDW は、Pro\*C の大半のバッチアーキテクチャに、再起動 / 復旧のプロセスを実装しています。再起動 / 復旧の一般的な目的は以下のとおりです。

- 中断したプロセスを障害発生時点から復旧する。
- 大量のトランザクションによるシステムの中断で、バッファ領域とアンドウセグメントがオーバーフローするのを防ぐ。

また、RDW の再起動 / 復旧では、バッチ実行の統計情報が追跡されます。実行にあたって DBA の権限は不要です。

### 作業とコミットの論理単位

再起動の機能は、プログラムの論理作業単位 (LUW) に基づいて実現されます。トランザクションはバッチプログラムによって処理され、LUW 単位でデータがコミットされます。LUW は比較的重複することの少ないトランザクションキー (アイテム / ロケーションなど) と最大コミットカウンタから構成されます。データベースのコミットイベントは、処理済みの LUW 数が最大コミットカウンタに達するか超えた場合 (アイテム / ロケーションの組み合わせが 10,000 を超えるたび、など) に発生します。コミット時に、再起動に必要なキーデータ情報が、再起動表に格納されます。処理済み例外または未処理例外が発生すると、トランザクションは、最後にコミットされた位置までロールバックされ、再起動時に、その表からキー情報を取得することで、最終コミット位置からの処理を続行することが可能になります。

### 再起動 / 復旧 (表ベースとファイルベース)

RDW は、再起動に対応するため、プログラムの最大コミットカウンタに基づいてデータのセクションを定義します。セクションは、"最大コミットカウンタ" の行数 (ファイルレコード数) が読み込まれた時点で、システムによって定義されます。その後、コミットイベントが発生します。

プログラムのプロセスが照会ベースである場合、つまりプログラムのメインデータソースがデータベースの表である場合、再起動 / 復旧のプロセスは、最初に処理対象のデータを要求し、その後、セクション内でそのデータを処理します。このプログラムは、各データセクションの処理を終えると、`restart_bookmark` 表にブックマークを書き込みます。ブックマークには、そのプログラムによって処理された、最終データセクションの終端位置を正確に識別するために必要な、キーカラムの情報が格納されます。ブックマークが書き込まれた後、プログラムによって、処理済みのデータがデータベースにコミットされます。次のデータセクションを処理しているときにプログラムでエラーが発生した場合、ブックマークにより、前回コミットが発生したセクションの終端位置が判別され、そこからプログラムを再起動することが可能になります。



ファイルベースの処理は、同じ再起動 / 復旧プロセスで発生し、プログラムはセクション単位でデータを処理します。バッチプログラムは、処理済みのセクションのデータをコミットするときに、必ずファイルのバイト位置を `restart_bookmark` 表に格納します。一連のカラムキーが要求した表データのブックマークとして機能するのと同様に、フラットファイルでは、このファイルのバイト位置が "ブックマーク" として機能します。通常、プログラムは、フラットファイルから読み取り、データベース表に書き込みます。そのため、データベースのコミットも、データセクションの最後に行う必要があります。表ベースの処理と同様、プログラムは、後続セクションの処理に失敗した場合、前回のセクションのブックマークを調べることで、処理の再開位置を取得します。

## マルチスレッド

Unix における意味とは対照的に、RDW における "マルチスレッド" は、独立したまとまりのデータに対して同時に、Pro\*C バッチプログラムを複数回実行することを意味します。マルチスレッドは、その実装方法によっては、トータルな処理時間を短縮できる場合があります。スレッドプロセスの設計により、エンドユーザーは、分割したプログラムに必要なプロセス数 (スレッド数) を柔軟に定義できます。

## コマンドラインパラメータの使用

RDW 10.0 の各 Pro\*C バッチモジュールを実行するには、モジュール固有の各種パラメータを Unix コマンドラインから指定する必要があります。

すべてのモジュールには、第 1 パラメータとして、ログインパスワードが必要です。それ以外のパラメータは、モジュールごとに異なります。ほとんどの (すべてではない) モジュールは、`output_file_path` と `output_file_name` を指定する必要があります (下の例 1 を参照)。一部のモジュールでは `input_file_path` と `input_file_name` などにも必要になります (下の例 2 を参照)。

例 1 および例 2 を次に示します。

```

1 ncstuildat userid/password
  output_file_path/output_file_name

2 slsildmat userid/password
  input_file_path/input_file_name
  sls_output_file_path/sls_output_file_name
  loss_prev_output_file_path/loss_prev_output_file_name
  reject_file_path/reject_file_name
```

すべてのプログラムおよび対応するコマンドラインパラメータの詳細な一覧については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

## テキストファイルの連結による単一出力ファイルの生成

ファクト抽出 Pro\*C モジュールを実行した後、スレッドごとに 1 つのフラットファイルを生成し、ファイル名に、現在のスレッド番号を表す番号拡張子を付加します。たとえば、プログラム `savidat` は、最初のスレッドの後には `savidat.1` を、2 番目のスレッドの後には `savidat.2` を生成し、プログラムのすべてのスレッドの実行が完了するまで順にファイルを生成していきます。生成されたすべてのテキストファイルは、Unix の `cat` コマンドを使用して 1 つのファイルに統合できます。これを毎日のバッチ操作に追加する作業は、クライアントが行います。次にその例を示します。

```
cat savidat.1 savidat.2 > saviddm.txt
```

この例では、テキストファイルが連結されて `saviddm.txt` になります。このテキストファイルは、次に `RDW RIB-ETL` のバッチプログラムによってロードされます。今日の有効取引先データマートのすべてのファクトが 1 つのテキストファイルに含まれている必要があります。詳細については、第 8 章の図で、コマンドラインパラメータのカラムを参照してください。

## マルチスレッドプログラムの実装

RDW プログラムの個々のスレッドが、Pro\*C バッチプログラムによる 1 回の実行の対象になります。たとえば、プログラム `ncstuildat.pc` を 4 つのスレッドで実行する場合は、コマンドラインに次のように指定します。

```
ncstuildat $MMUSER/$PASSWORD OUT_FILE_PATH/OUT_FILE_NAME
ncstuildat $MMUSER/$PASSWORD OUT_FILE_PATH/OUT_FILE_NAME
ncstuildat $MMUSER/$PASSWORD OUT_FILE_PATH/OUT_FILE_NAME
ncstuildat $MMUSER/$PASSWORD OUT_FILE_PATH/OUT_FILE_NAME
```

## ファイルベースの処理におけるデータのマルチスレッド

Pro\*C プログラムは、表ベースのマルチスレッドの場合、表から読み取り、フラットファイルに書き込みます。各スレッドは、個別のフラットファイルを出力します。フラットファイルを読み込むプログラム自体は、“マルチスレッド化”されません。単一のデータファイルが、複数のプロセスによって処理されることはありません。それぞれのフラットファイルには、データファイルを読み込むための独立したプロセスが与えられますが、各プロセスは、プログラムの個別のスレッドとして見なされます。スレッド化が正しく機能するためには、各スレッドに 1 つのファイルが存在し、各ファイル名の最後が “-thread” (thread は `restart_program_status` で設定されたスレッド番号) で終わっている必要があります。詳細については、この章に後述の「表の説明と定義」を参照してください。

## 表ベースの処理におけるデータのマルチスレッド化

表からの読み取りを行う、Pro\*C プログラムの各スレッドは、処理対象のデータセグメントを判別する必要があります。このプロセスは、スレッド化関数と呼ばれる、ストアド関数によって実現されます。駆動クエリにスレッド化関数を直接使用すると、プログラムの速度が著しく低下することがわかっています。新しい設計では、関数呼び出しを駆動クエリで直接使用する代わりに、駆動クエリの表を、関数を含むビュー (`threading_store_v` など) に結合することで実現しています。

## スレッドドライバ定義

スレッドドライバとは、プログラムがマルチスレッド化されているカラムのことです。たとえば、アイテム-ロケーションのファクトを使用する場合は、`loc_idnt` でスレッド化します。4 つのスレッドを使用する場合は、再起動ビューによって、利用可能なすべてのロケーションが 4 つに分割されます。それぞれのスレッドは、そのスレッドのロケーションに関連付けられた各アイテムを読み込みます。

## クエリベースのスレッド化関数

ストアドスレッド化関数 `restart_thread_return()` (データプロシージャ `rstthret.pls`) は、ドライバ値 (数値) から生成されたスレッド値 (`dept_idnt` など) と、特定のプロセスに含まれる合計スレッド数を返します。クライアントが、各自の設計に最適なアルゴリズムを選択できなければなりません。データのセグメント化に、他の手段が必要な場合は、`restart_thread_return` 関数を変更するか、目的の関数が格納された任意のビューで別の関数を使用することが可能です。

現時点では、PL/SQL 関数 `restart_thread_return` は、非常にシンプルな剰余ルーチンで構成されています。

```
CREATE OR REPLACE FUNCTION
RESTART_THREAD_RETURN(in_unit_value NUMBER,
in_total_threads NUMBER) RETURN NUMBER IS
    ret_val NUMBER;
BEGIN
    ret_val := MOD(ABS(in_unit_value),in_total_threads) + 1;
    RETURN ret_val;
END;
```

## クエリベースの再起動ビュー

個々の再起動ビューには、4 つのカラムがあります。

- 1 `driver_name`: スレッドドライバの名前
- 2 `num_threads`: スレッドグループに含まれる合計スレッド数
- 3 `driver_value`: スレッドドライバの値
- 4 `thread_val`: `driver_name`、`num_threads`、ドライバ値の特定の組み合わせに対するスレッド値

### ビューの構文

次の構文は、マルチスレッド結合に必要なビューを作成する例です。関数 `restart_thread_return` の詳細については、スレッド化の説明を参照してください。

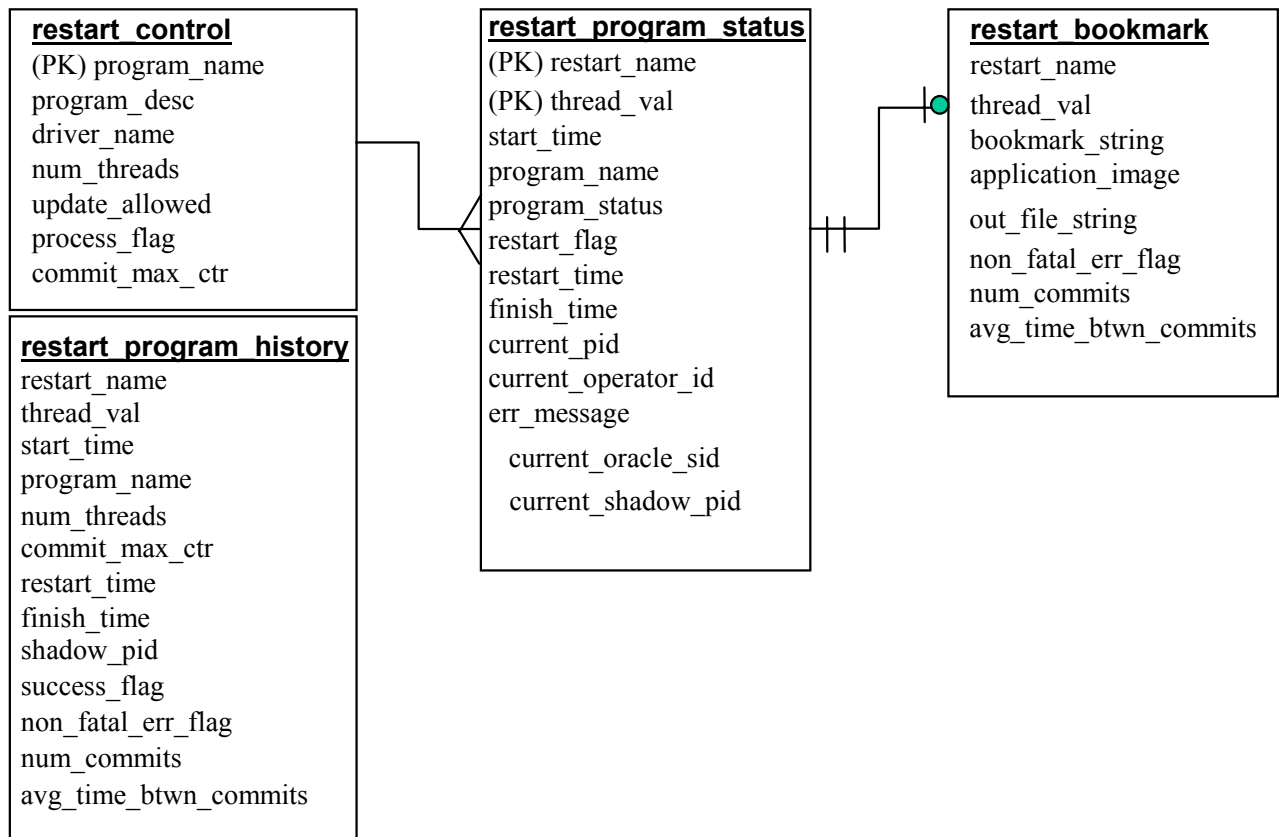
```
SELECT distinct rc.driver_name driver_name,
               rc.num_threads num_threads,
               s.supplier driver_value,
               restart_thread_return(s.supplier,rc.num_threads)
               thread_val
from restart_control rc,
     sups s
where rc.driver_name = 'SUPPLIER'
```

## 表とスレッドメンテナンスの再起動 / 復旧

この項の表は、再起動 / 復旧および RDW のマルチスレッドスキーマに使用します。

### 表の説明と定義

RDW の再起動 / 復旧プロセスは、4 つの表によって駆動されます。E-R 図については、「再起動 / 復旧における表の関係」と、後に続く表の説明を参照してください。



再起動 / 復旧における表の関係

**restart\_control**

restart\_control 表は、再起動 / 復旧表セットのマスター表です。この表には、再起動 / 復旧ロジックと組み合わせて実行される各バッチプログラムごとに、1 つのレコードが存在しています。再起動 / 復旧プロセスは、この表を使用して、次のことを決定します。

- 再起動 / 復旧を表ベースにするかファイルベースにするか
- 各バッチプログラムに使用されるスレッドの合計数
- コミットイベント発生前に処理される最大レコード数
- スレッド化 (マルチプロセス化) ロジック用ドライバ

**restart\_control**

カラム	データ型	長さ	説明
(PK) program_name	varchar2	25	バッチプログラム名 (他の表の restart_name など) です。
program_desc	varchar2	50	プログラムの機能の簡単な説明です。
driver_name	varchar2	25	部門などのクエリドライバ (更新不可) です。
num_threads	number	10	現在のプロセスに使用されるスレッド数です。
update_allowed	varchar2	2	使用されていません。
process_flag	varchar2	1	プロセスを表ベース (T) とするかファイルベース (F) とするかを指定します。
commit_max_ctr	number	6	コミット発生前のカウンタの最大値です。

**restart\_program\_status**

restart\_program\_status は、現在のプログラムプロセスについてのレコード管理情報を保持する表です。この表には、restart\_control にリストされた各プログラムのスレッドごとに 1 つの行が必要です。ステータス表は、再起動 / 復旧の初期化ロジックおよび終了ロジックにおいて変更されます。表ベースの処理では、再起動 / 復旧の初期化ロジックが、プログラムのステータスと再起動フラグに基づいて、次に利用可能なスレッドをプログラムに割り当てます。プログラムにスレッドが割り当てられると、program\_status が更新されて、そのスレッドは、別のプログラムに割り当てることができないようになります。オペレータおよびプロセスのタイミング情報などのレコード管理情報のほか、特定のスレッドの最新のステータスについての情報が記録されます。

ファイルベースの処理では、スレッド値が、restart\_program\_status 表から取得されるのではなく、入力ファイル名から渡されます。ただし、各スレッドは、表ベースの処理と同様、ステータス表に 1 つの行を所有しているため、ステータス情報については、同じように、この行に書き込まれます。

**設定上の注意:** 行レベルのロックと "ダーティリード" (行のロック解除を待たずに表を読むこと) を許可してください。

restart\_program\_status

カラム	データ型	長さ	説明
(PK) restart_name	varchar2	50	プログラム名と同じです。
(PK) thread_val	number	10	スレッドカウンタです。
start_time	date		dd-mon-yy hh:mi:ss の形式で指定します。
program_name	varchar2	25	プログラム名です。
program_status	varchar2	25	Started、aborted、completed、ready for start のいずれかです。
restart_flag	varchar2	1	プログラムを再起動するには、手動で "Y" にする必要があります。
restart_time	date		dd-mon-yy hh:mi:ss の形式で指定します。
finish_time	date		dd-mon-yy hh:mi:ss の形式で指定します。
current_pid	number	15	起動中のプログラム ID です。
current_operator_id	varchar2	20	プログラムを起動したオペレータです。
err_message	varchar2	255	プログラムを中止させたレコードおよび関連するエラーメッセージです。
current_oracle_sid	number	15	現在のプロセスに関連付けられた Oracle SID です。
current_shadow_pid	number	15	現在のプロセスに関連付けられたシャドウプロセスに対する O/S のプロセス ID です。プロセスが正常に終了しなかった場合にセッションのトレースファイルを特定するのに使用します。

**restart\_program\_history**

restart\_program\_history 表には、再起動 / 復旧ロジックを使用して正常終了したプログラムスレッドごとに 1 つのレコードが保持されます。プログラムスレッドが正常終了すると、restart\_program\_status 表上の対応するレコードが、この履歴表に挿入されます。表のページは、ユーザーが判断します。

カラム	データ型	長さ	説明
(PK) restart_name	varchar2	50	プログラム名と同じですが、実行中のスレッドに関する追加情報が含まれる場合があります。
(PK) thread_val	number	10	スレッド番号です。
(PK) start_time	date		プログラムが前回起動された日時が格納されます。
program_name	varchar2	25	restart_name と同じです。
num_threads	number	10	特定のバッチサイクル時に、特定のバッチプログラムに対して起動されたスレッド数の合計 (処理済みのバッチプログラム) です。クライアントのデータに対し、スレッド数の合計と最大論理作業単位との理想的な組み合わせを決定する場合に使用します。
commit_max_ctr	number	6	コミットが発生するまでの、カウンタの最大値を格納します。
restart_time	date		プログラムが再起動された日時を格納します。
finish_time	date		プログラムが完了した日時を格納します。
shadow_pid	number	15	プロセスに関連付けられたシャドウプロセスに対する O/S のプロセス ID です。セッションのトレースファイルを特定するときに使用します。
success_flag	varchar2	1	プロセスが正常終了したかどうかを示します (将来のリリースで使用予定)。
non_fatal_err_flag	varchar2	1	プロセスに非致命的エラーが発生したかどうかを示します。
num_commits	number	12	プロセスのコミット合計数です。再起動 / 復旧の終了時の最後のコミットはカウントされません。
avg_time_btwn_commits	number	12	プロセスのコミット間の累積平均時間です。再起動 / 復旧の終了時の最後のコミットはカウントされません。



**restart\_bookmark**

再起動 / 復旧のプログラムスレッドが現在アクティブである場合も、既に中止されている場合も、対応するレコードは **restart\_bookmark** 表に置かれます。再起動 / 復旧の初期化ロジックでは、このレコードをプログラムスレッドの表に挿入します。再起動 / 復旧のコミットプロセスにより、このレコードが、次の再起動情報で更新されます。

- 再起動ブックマーク。これは、キー値の連結文字列 (表ベースの処理の場合) またはファイルのバイトオフセット (ファイルベースの処理の場合) から構成されます。
- アプリケーションのコンテキスト情報 (カウンタやアキュムレータなど)。
- プログラムの実行時情報。

再起動 / 復旧のクローズプロセスでは、プログラムが正常に終了すると、プログラムスレッドレコードを削除します。プロセスは、再起動時に、この表上のプログラムスレッド情報を使用することで、最終コミット位置から処理を再開できるようになります。

カラム	データ型	長さ	説明
restart_name	varchar2	50	実行された再起動プログラムを識別する名前を格納します。
thread_val	number	10	スレッド番号です。
bookmark_string	varchar2	255	最終コミットレコードのキー文字列またはファイルバイトオフセットです。
application_image	varchar2	1000	最後に保存した時点のアプリケーションパラメータです。
out_file_string	varchar2	255	すべての出力ファイルの連結ファイルポインタ (UNIX ではしばしばストリームポジション)。現在のプロセスの最終コミット位置から取得されます。再起動プロセス時に、すべての出力ファイルの正しい再開位置を取得するために使用します。
non_fatal_err_flag	varchar2	1	現在のプロセスに非致命的エラーが発生したかどうかを示します。
num_commits	number	12	現在のプロセスのコミット数です。再起動 / 復旧の終了時の最後のコミットはカウントされません。
avg_time_btwn_commits	number	12	現在のプロセスにおける、コミット間の平均時間です。再起動 / 復旧の終了時の最後のコミットはカウントされません。

### restart\_program\_status と restart\_bookmark が別々の表である理由

初期化プロセスでは、restart\_name に関連付けられたすべての行をフェッチする必要がありますが、更新される行は 1 つだけです。コミットプロセスでは、特定の restart\_name と thread\_val の行が絶え間なくロックされます。この 2 つのプロセスに関係するデータは、行のロックにより発生するハングの回数を減らすため、2 つの表に分割されます。ロックされた行をプロセスが更新しようとした場合、ロックされた行のダーティリードを許可したとしてもプロセスはハングします。コミットプロセスは、1 行だけを対象とするため、コミットプロセスデータを、(ページレベルではなく) 行レベルのロックを使用して個別の表に移動すれば、コミット時の競合上の問題は発生しません。初期化プロセスでは、個別の表を使用することで、競合上の問題を減らしています。プロセスの開始時と終了時の 2 回、行をロックするだけで済むからです。

## メッセージログおよびエラーファイル

### デイリーログファイル

すべてのバッチプログラムは、起動時と終了時に、デイリーログファイルにメッセージを出力します。デイリーログファイルは、Retek のバッチホームディレクトリのサブディレクトリ (\$MMHOME/log) に格納されます。ログファイルの名前は、プログラムが実行された日付を基に決められます。日付が 1 月 5 日の場合は、ログファイルの名前と場所は次のようになります。

```
$MMHOME/log/Jan_05.log
```

### フォーマット

ログファイルに出力されるメッセージには最低限、次の情報が含まれます。

- 日付スタンプ
- プログラムの名前
- プログラムが既に起動されていること、または終了していること (正常終了または異常終了) を示すメッセージ

2 つの例を次に示します。

```
Mon Jan 25 18:17:26 Program: lptotldat : Started by dwidev80user
```

```
Mon Jan 25 18:17:47 Program: lptotldat : Thread [1] - Terminated  
OK.
```

プログラムが異常終了した場合は、問題の性質を特定するためのエラーファイルが生成されます。RIB-ETL とは異なり、DWI Pro\*C では、エラーファイルは実際にエラーが発生した場合にのみ生成されます。

## プログラムエラーファイル

各プログラムは、開始と終了のメッセージを書き込むためのデイリーログファイルに加えて、自分自身のエラーメッセージを出力します。これらのメッセージは、デイリーログファイルに混在するのではなく、個々のプログラムによって、独立したデイリーファイルにエラーとして出力されます。DWI Pro\*C では、エラーファイルは実際にエラーが発生した場合にのみ生成されます。

プログラムエラーファイルは、プロジェクトのバッチホームディレクトリのサブディレクトリ (\$MMHOME/error/) に格納されます。特定の日付の特定のプログラムに関するすべてのエラーは、1 つのファイルにまとめられます。プログラムエラーファイルの名前には、該当するプログラム名、スレッド番号、作成日が使用されます。たとえば、1 月 5 日の、slsilddm というプログラムの 2 番目のスレッドのすべてのエラーは、次のファイルに格納されます。

```
$MMHOME/error/err.lptotldat _2.Jan_05
```

### フォーマット

プログラムのエラーファイルに書き込まれるメッセージには、次の情報が含まれます。

- プログラム名とスレッド番号
- タイムスタンプ
- エラーが発生した関数
- 関連付けられたすべてのデータベース表
- エラーコード (通常 Oracle サーバーのエラー番号)
- Oracle のエラーメッセージ
- プログラムのエラーメッセージ

次にその例を示します。

```
lptotldat_1~20010424104321~retek_get_record~~104~RET-0104:
generic file handling error~Record #0000000002: File layout error,
expected newline after reading record
```



## 第 6 章 RDW のインターフェイス

この章では、RDW とのデータインターフェイスについて、次に示す機能ごとに概要を説明します。

- Retek Merchandising System (RMS)
  - ディメンションデータ
  - ファクトデータ
  - トリガ
- Retek Sales Audit (ReSA)
- Retek TopPlan
- Retek Customer Order Management (RCOM)
- クライアント提供のデータ:
  - 顧客アカウントディメンション
  - 顧客地域ディメンション
  - 顧客群および製品群ディメンション
  - 計画シーズンディメンション
  - 市場データファクトおよびディメンション
  - 割り当て領域ファクト
  - 店舗の輸送ファクト
  - インストールでロードされたデータ: 伝票日付ディメンションおよび類似変換用の類似時間

すべてのデータは、フラットファイルとして RDW に取り込まれます。RDW API の仕様およびビジネス上の要件の詳細については、第 9 章「アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のフラットファイルの仕様」を参照してください。

### Retek Merchandising System

Retek Merchandising System (RMS) は、RDW のディメンションデータおよびファクトデータの主要なソースとなるものです。RMS は、小売業者が所有する代表的な取引処理システムです。RMS から RDW へのデータのエクスポートは、ディメンション、ファクト、ファクトトリガに分類されます。この項には、それぞれの一般的な概要が含まれています。

## ディメンションデータ

RMS は、組織および製品のディメンションデータに対する単独のソースとして使用できるほか、その他、大多数のディメンションデータを供給します。クライアントが RMS を使用しない場合、ディメンションデータは、別のソースから直接ロードされます。

RDW のディメンションデータプロセスでは、データウェアハウスインターフェイス (DWI) の一部として RIB-ETL スクリプトを使用し、RMS から現在のディメンションデータを抽出します。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。これらのテキストファイルが RDW サーバーに移動された後、RIB-ETL は、このテキストファイルのデータと、RDW 内の履歴ディメンションデータとを比較し、その後、ディメンションの変更内容を RDW に挿入 / 更新します。この比較により、ディメンションの変更が日に何度も発生するようになるときに、逐一変更内容を取り込む必要がなくなります。

RMS から抽出されるディメンションには、[カンパニー]、[競合他社]、[通貨コード]、[従業員]、[アイテム-ロケーション特性クロス]、[アイテム-取引先-ロケーションクロス]、[組織]、[製品]、[製品シーズン]、[特売]、[理由]、[リージョン特性]、[サブ取引タイプ]、[取引先]、[入札タイプ]、[合計タイプ] などがあります。

ソースとしての RMS は、RDW がサポートする 2 種類の期間のうち、会計 454 暦をサポートします。クライアントは、RDW が別にサポートする 13 暦を供給することもできます。期間がどのように RDW にロードされるかの詳細については、『RDW 10.0 インストールガイド』を参照してください。

## ファクトデータ

クライアントが RMS を使用しない場合、データは、別のソースから直接ロードされます。

RDW のファクトデータプロセスでは、DWI の一部として RMS のバッチ処理スケジュール内で実行される、Oracle Pro\*C プログラムを使用して、RMS からファクトデータを抽出します。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。RIB-ETL は、これらのテキストファイルが RDW サーバーに移された後、テキストファイルのデータを取り出し、ファクトデータマート表に対して、変換、挿入、更新の各操作を適宜実行します。

RMS から抽出されるファクトには、[競合他社の価格]、[原価]、[為替レート]、[在庫調整]、[在庫ポジション]、[入荷情報]、[在庫振替]、[値下げ]、[総仕入れ原価]、[価格設定]、[基準原価を基にした利益]、[ベンダー返品]、[売上予測]、[在庫元帳]、[有効取引先]、[取引先遵守度]、[取引先契約]、[取引先インボイス原価]、[利用不可の在庫] などがあります。

## 現地通貨とファクトに関する注意事項

RDW クライアントは、大半が、多通貨環境下で業務を行っています。たとえば、クライアントは、売上ファクトを照会するときに、1 つの国における店舗グループ共通の現地通貨で値を表示したい場合もあれば、複数の国からの全売上を集計して値を表示したい場合もあります。クライアントが通貨値を正確かつ柔軟に格納できるようにするため、ほとんどの RDW 10.0 のファクト表には、現地通貨と最優先通貨の両方の値が格納されます。多通貨を使用するクライアントは、loc\_key に基づいて日々保管されるファクトについて、ロケーションの現地通貨とは別のカラムに、それを最優先通貨に変換したファクトを保持します。単一の通貨だけを使用するクライアントの場合は、現地通貨のカラムは NULL にしたまま、最優先通貨カラムにだけ値が入力されます。この通貨保管計画は、Pro\*C のファクト抽出コードまたは従来のファクトインターフェイスによって実現され、これにより、現地通貨と最優先通貨の両方を含むテキストファイルが生成され、データマート表にロードされます。

## ファクトトリガ

ほとんどの DWI Pro\*C ファクト抽出プログラムは、今日発生したすべてのファクトを単に収集します。しかし、一部のファクトでは、その日に変更が加えられているかどうかを特定できない場合があります。これらのファクトでは、Pro\*C プログラムが RMS のソースファクト表からデータを抽出できるように、トリガ-変更表のメカニズムが利用されます。この表は、データの抽出にトリガ-変更表を採用する、ファクトの機能領域を示しています。

ファクトトリガ			
機能領域	トリガ (MD (mod) 表 への値入力)	トリガ名	関連付けられた パッチプログラム
競合他社の価格	cmpprchist.trg	RDW_CMPTR_PRICE_HIST_TRIGGER	cmptprcildat.pc
取引先インボイス原価	invc_detail.trg	RDW_INVC_DETAIL_TRIGGER	sincildat.pc
取引先遵守度 (タイムリー性)	shipsku.trg	RDW_SHIPSKU_TRIGGER	scrtlldat.pc
取引先遵守度 (数量)	shipsku.trg	RDW_SHIPSKU_TRIGGER	scrqtlldat.pc
伝票の移動	vchr.trg	RDW_VCHR_TRIGGER	vchrmoveldat.pc
復帰伝票	vchr.trg	RDW_VCHR_TRIGGER	vchreschdat.pc

先述のすべての表 (SUPP\_INVC\_COST\_ITEM\_LD\_MD を除く) は、データの処理が済んだ後で削除 / パージされます。これらの表をパージするためのコードを Retek は提供していませんが、クライアントは、バックアップおよび再起動/復旧用に、数日分の MD 表データを保持することがあります。SUPP\_INVC\_COST\_ITEM\_LD\_MD は、クライアントが invc\_extracted\_flag = 'Y' に設定した場合にのみパージされます。

## Retek Sales Audit

Retek Sales Audit (ReSA) は、売上情報の "未処理" 位置を受け取って、"クリーン" なデータを RDW などのダウンストリームのアプリケーションに提供するための仲介アプリケーションです。クライアントが ReSA を使用しない場合、データは、別のソースから直接ロードされます。

Retek Sales Audit は、RDW に対して 4 つのフラットファイル (テキストファイル) を書き出します。具体的には、取引アイテムデータ (ファイルタイプ: RDWT)、取引入札データ (RDWF)、店舗合計データ (RDWS)、キャッシャまたはレジの超過 / 不足データ (RDWC) が出力されます。これらのファイルは、引き続き、RDW のバッチ Pro\*C モジュールによるデータ抽出処理に利用されます。これらの Pro\*C プログラムは、ファクト処理の一環として、RMS のバッチ処理スケジュールで実行されます。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。RIB-ETL は、RDW サーバー上で、テキストファイルを受け取り、ファクトのデータマート表に対して、適宜、挿入および更新を実行します。

ReSA から抽出されるファクトには、[売上取引] と [返品取引] ([パック売上] を含む) のほか、[売上生産性]、[ロス防止取引の数]、[合計ロス防止] ([入札取引]、[キャッシャの金額超過 / 不足]、[ユーザー定義の合計]) などが含まれます。

レジのディメンションデータは、ファクト DM スクリプト (ttldmdm.ksh) によって、ReSA RDWF (入札取引) ファイルから生成されます。

先述の 4 つのフラットファイルに加え、ReSA は、RDW 用の伝票ファクトデータのソースとして機能します。ファクトデータは、伝票の移動、復帰伝票、未処理伝票用に、3 つの DWI プログラムによって抽出されます。これらのプログラムの詳細については、第 8 章を参照してください。

## Retek TopPlan

Retek TopPlan は、小売業者に対し、計画売上などの計画データを提供します。クライアントが Retek TopPlan を使用しない場合、計画データは、別のソースから RDW に直接ロードされます。

TopPlan は、計画ファクトデータのソースとして位置付けられます。TopPlan は、RDW に対し、ploblwdm.txt (オリジナルの計画用) と plcblwdm.txt (現行の計画用) という、2 つのテキストファイルを出力します。RIB-ETL は、これらのテキストファイルが RDW サーバーに移された後、テキストファイルのデータを取り出し、計画ファクトデータマート表に対して、挿入および更新の操作を適宜実行します。TopPlan からのデータは、定期的にロードされるため、毎日ロードする必要はありません。



## Retek Customer Order Management

Retek Customer Order Management (RCOM) は、顧客のインタラクション、購入、Web 上の履歴、コールセンター / カタログ、キオスク、店舗など、すべてのチャネルに共通の、在庫に対する単一のビューを備えた主要なソリューションです。クライアントが Retek Customer Order Management (RCOM) を使用しない場合、データは、別のソースから直接ロードされます。

RCOM は、顧客および顧客の人口統計上のディメンションデータのソースとして位置付けられます。RCOM は、RDW 向けに 1 つのテキストファイル (custdm.txt) を出力します。このテキストファイルが RDW サーバーに移動された後、RIB-ETL は、テキストファイルのデータと、RDW 内の履歴データとを比較し、その後、ディメンションデータマート表全体を RDW に挿入します。

## クライアント提供のデータ

RDW には、この項で取り上げる機能領域を対象としたプログラムと表が用意されています。ただし、これらの機能領域向けのデータを提供する Retek ソースシステムは、現在利用できません。クライアントが、テキストファイルでデータを供給する必要があります。このテキストファイルを入力ファイルとして、データを処理し、RDW のデータマート表にロードすることができます。次の機能領域の詳細については、第 9 章を参照してください。

- 顧客アカウントディメンション
- 顧客地域ディメンション
- 顧客群および製品群ディメンション
- 計画シーズンディメンション
- 市場データファクトおよびディメンション
- 割り当て領域ファクト
- 店舗の輸送ファクト

伝票日付ディメンションおよび類似変換用の類似時間の機能領域を表す表は、インストール時に一度だけロードされます。詳細については、『RDW 10.0 インストールガイド』を参照してください。



## 第 7 章 プログラムフロー図

この章は、ソースシステムから抽出されるディメンションデータおよびファクトデータについて、RDW 10.0 の全処理を示すフロー図を提供します。ここには、ソースとのインターフェイスとして機能する RDW プログラムまたは RDW プロセスに加えて、状況に応じて必要になるソースシステムのプログラムまたは出力ファイルの説明が盛り込まれています。この図は、ソースに対する最初のインターフェイス処理が終わった後、データが個々のデータマートに取り込まれるフローを示しています。

RDW プログラムのスケジュールを設定するにあたっては、各プログラムに関する機能上および技術上の制約について習熟してください。詳細については、『RDW 10.0 インストールガイド』および本オペレーションガイドの第 8 章「プログラムの参照リスト」をお読みください。

### バッチスケジュール

次に、RDW のバッチスケジュールの順序に関する制約について説明します。この項には次の内容が含まれています。

- 全体的なバッチスケジュール。スケジュールのタイミングのほか、プログラムをいつ実行するかについての情報（毎日、毎週、適宜など）が含まれます。
- 機能の相互依存性。ファクトモジュールはディメンションモジュールの後に実行しなければならない、といった機能上の制約が含まれます。

RDW の Pro\*C マルチスレッド機能のため、バッチスケジュールの設定が若干複雑になりました。1 つのモジュールが終了するまでは、別のモジュールを開始できない、という順序に関する制約は、現在のモジュールのスレッドがすべて正常に終了しなければ、後続のモジュールのいかなるスレッドも実行できないことを意味します。スクリプトまたはスケジューラは、特定のモジュールのすべてのスレッドを処理できるだけの十分なセッションを実行できなければなりません。また、複数のプロセススレッドがすべて正常に終了したことによって、モジュールが正常終了したことを判断できるような堅牢性も備えている必要があります。

ほとんどの RDW コードは、並列実行できるように設計されています。2 つのモジュール間に相互依存性が見られない場合、これらは、並列実行が可能であると見なされます（後述の「DB2 クライアント専用の RDW バッチスケジュール」を参照）。たとえば、RMS からディメンションを抽出するすべてのモジュールは並列実行することができます。特に最初に実行しなければならない抽出モジュールはありません。これに対し、Pro\*C プログラムのなかには、一部の RMS モジュールに依存しているものもあります。

### config.env の設定値

『RDW 10.0 インストールガイド』では、クライアントが config.env ファイルで設定する必要のある 2 つの重要な RIB-ETL 環境変数（LOAD\_TYPE および SCHEDULE\_TYPE）について取り上げています。

## LOAD\_TYPE

LOAD\_TYPE は、RIB-ETL がデータをデータベースにロードするときに使用するロードメソッドを指し、Oracle または DB2 DBMS でのみ使用します。

- **LOAD\_TYPE=conventional:** 従来の SQL-Loader メソッド (Oracle) または DB2LOADER ユーティリティ (DB2) を使用して、データをロードします。
- **LOAD\_TYPE=direct:** ダイレクト SQL Loader メソッド (Oracle) または Autoloader ユーティリティ (DB2) を使用して、データをロードします。この規則には、1 つだけ例外があります。DB2 クライアントの場合、ディメンションモジュールだけ (ディメンションマトリックスモジュールを除く) は、LOAD\_TYPE が direct に設定されていても、Autoloader ではなく、DB2LOADER ユーティリティを使用します。

クライアントは、バッチスケジュールを実行する前に、これらの設定値に対するパフォーマンス上の利点をよく検討する必要があります。

## SCHEDULE\_TYPE

SCHEDULE\_TYPE は、DB2 クライアントに使用し、LOAD\_TYPE=direct に設定された DBMS のロードにのみ影響します。LOAD\_TYPE=conventional の場合、SCHEDULE\_TYPE は無視されます。SCHEDULE\_TYPE の有効な値は、sequential または parallel です。

- SCHEDULE\_TYPE が sequential に設定されている場合は、次の状況が想定されます。
  - すべてのディメンション表に対して 1 つの表領域が存在する。
  - すべてのディメンションマトリックス表に対して 1 つの表領域が存在する。
  - 各ファクト表に対して 1 つの表領域が存在する。
  - 一時表に対して 3 つのユーザーデータ表領域が存在する。

RDW 10.0 ベースのインストールでは、このように、DB2 表領域が設定されます。ディメンションマトリックスを除くすべてのディメンションモジュールは、並列実行としてスケジューリングできます。ただし、ディメンションマトリックスモジュールとファクトモジュールは、一度に 1 つのモジュールしか実行できません。

- SCHEDULE\_TYPE が parallel に設定されている場合、ディメンションマトリックスモジュールおよびファクトモジュールは並列実行できます。ただし、ディメンションマトリックス表およびファクト一時表ごとに 1 つの表領域を作成する必要があります。このステップでは、RDW 10.0 のインストールスクリプト (プロシージャ) を少しカスタマイズする必要があります。さらに、RDW 10.0 RIB-ETL コードにも一部カスタマイズが必要になる場合もあります。カスタマイズ作業については、Retek Customer Care にお問い合わせください。

## RMS、ReSA、および RDW バッチスケジュール

RDW のデータウェアハウスインターフェイス (DWI) の抽出モジュールは、RMS のバッチサイクルで実行されます。また、処理対象のデータを扱うときに、一部の RMS および ReSA モジュールに依存します。詳細については、個々のモジュールの説明を参照してください。RMS モジュールの一部は、DWI モジュールに依存しています。ほとんどの DWI 抽出プログラムは、RMS バッチサイクルのフェーズ 2 が完了した後で実行されます。すべての DWI Pro\*C バッチモジュールは、RMS vdate がインクリメントされて翌日になる前に実行されなければなりません。そうしないと、本日分のファクトは RMS から抽出されません。

RDW では、プログラムは、RMS のようなフェーズベースではなく、依存関係に基づいてスケジューリングされます。この依存関係については、「プログラムフロー図」に記載されています。

## TopPlan から RDW へのスケジューリング

Retek TopPlan からの計画データ (オリジナルおよび現行) は、定期的に RDW にロードされます。TopPlan から RDW へのデータフローの詳細については、第 6 章「RDW のインターフェイス」を参照してください。

## 未定義ソースからのデータ

顧客地域ディメンション、割り当て領域、店舗の輸送のファクトデータなど、一部の機能領域には、あらかじめ定義されたソースは存在しません。これらの機能領域については、それぞれのロードプログラムを実行する前に、ユーザー定義のプロセスによってテキストファイルにデータを入力する必要があります。

## DB2 クライアント専用の RDW バッチスケジュール

DB2 にはデータのロードに関して固有の要件が存在するため、RDW は db2write および autoload の両方のユーティリティを使用します。小規模のデータを書き込む場合は、db2write ユーティリティが使用されます。大規模なデータについては、高速なロードパフォーマンスを実現するために、autoload ユーティリティが使用されます。

オートローダの使用は、クライアントによる読み取り / 書き込みの並列処理に重要な影響を与えることに注意してください。オートローダを使用した場合、表領域全体がユーティリティによってロックされます。ロックされた表領域に常駐するすべての表はアクセス不能になるため、順次的な処理が強制されます。

RDW 10.0 の基本設定では、各モジュールが次の方法で実行されるように設定、スケジューリングされています。

- ディメンションモジュールでは db2write ユーティリティを使用します。並列実行が可能です。
- ディメンションマトリックスモジュールでは autoload ユーティリティを使用します。このモジュールは順次的に実行されます。

- ベース表への取り込み時に、すべてのファクトモジュールは、`autoload` ユーティリティを使用し、順次的に実行されます。前述の「`config.env` の設定値」を参照してください。一部のモジュールは、ファクトモジュールが順次的に実行されていても、読み取り / 書き込みに、複数の一時表を使用します。これらの一時表は、個別の表領域に配置されている必要があります。

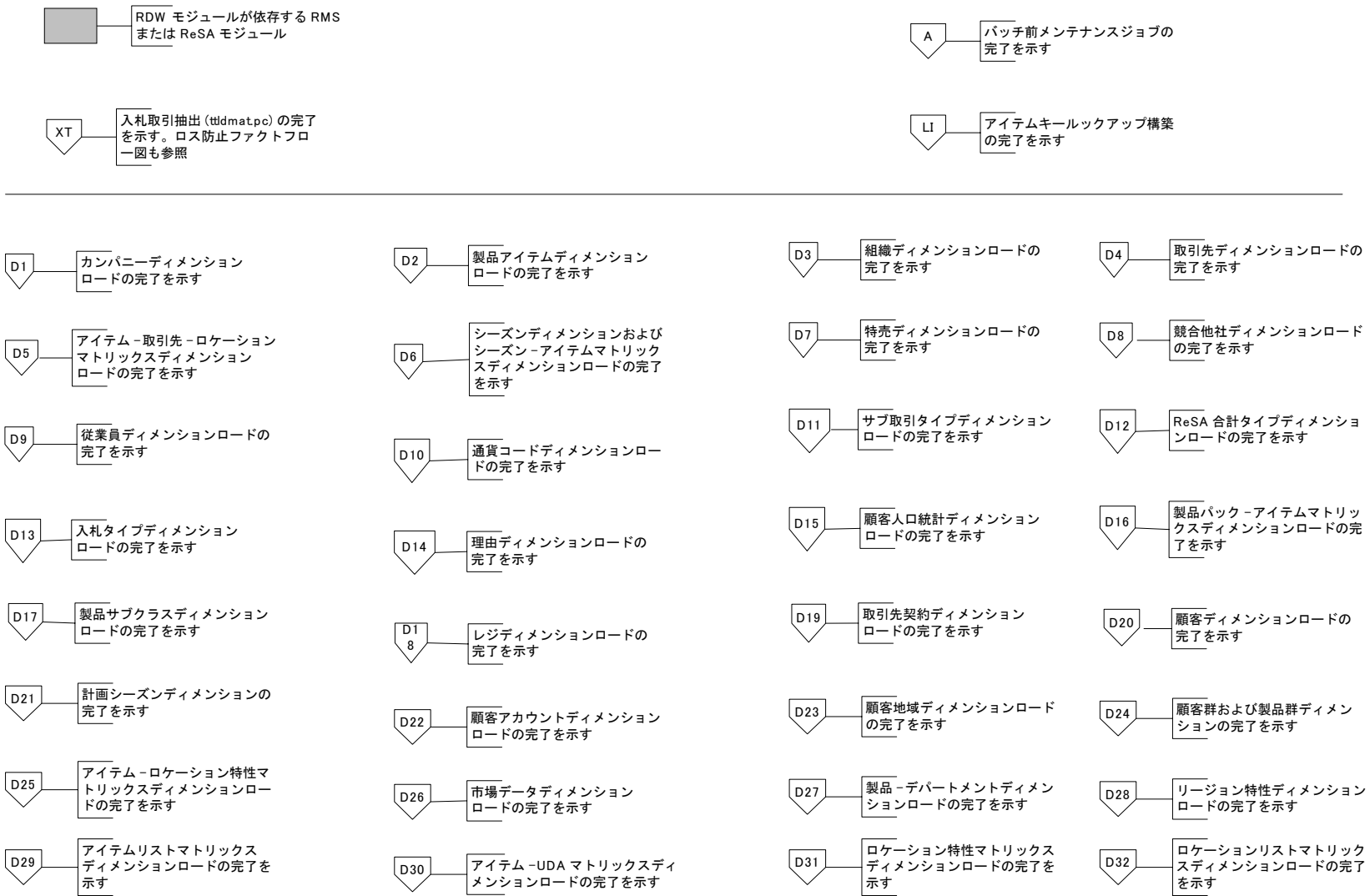
**注:** クライアントは、複数の異なるファクトデータマートを並列実行したい場合、該当するユーザー表領域に書き込みを行うようにベースコードを修正することに加え、固有の処理ニーズに従ってユーザー表領域を設定する必要があります。

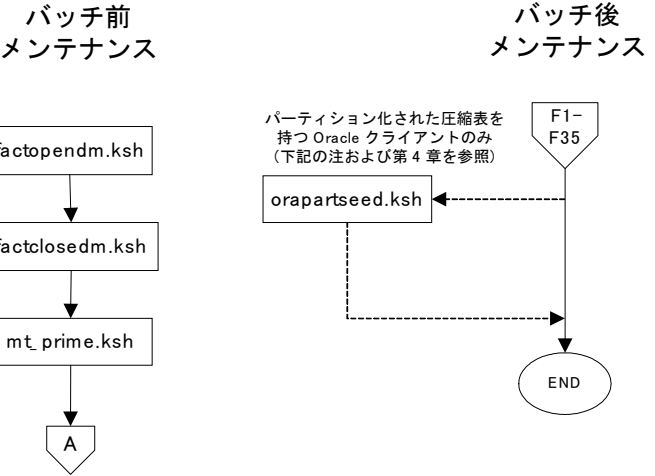
`db2write` ユーティリティおよび `autoload` ユーティリティの詳細については、DB2 のマニュアルを参照してください。

## プログラムフロー図

次ページ以降に RDW 10.0 のプログラムフロー図が記載されています。

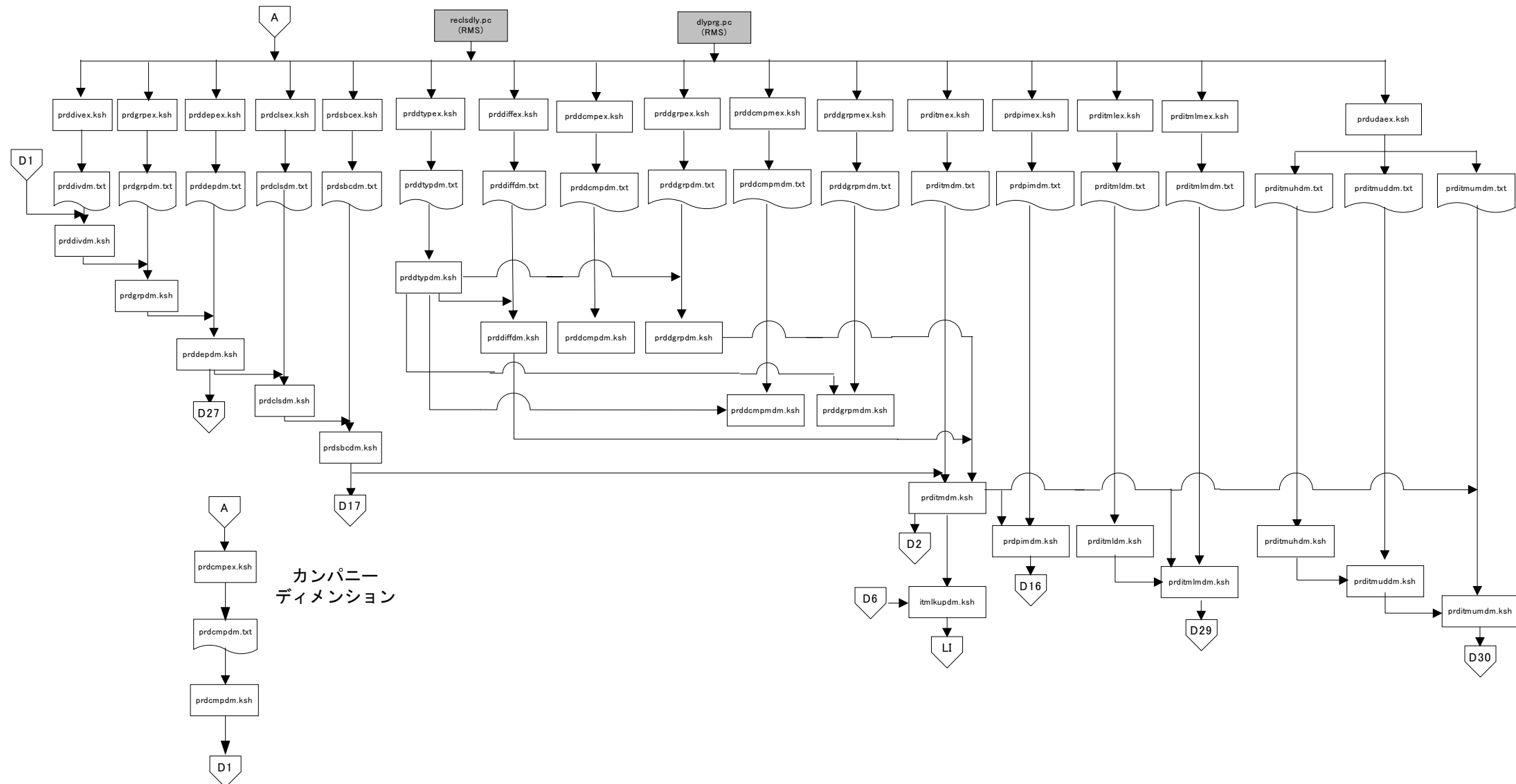
凡例: RDW 10.0 ディメンションプログラム

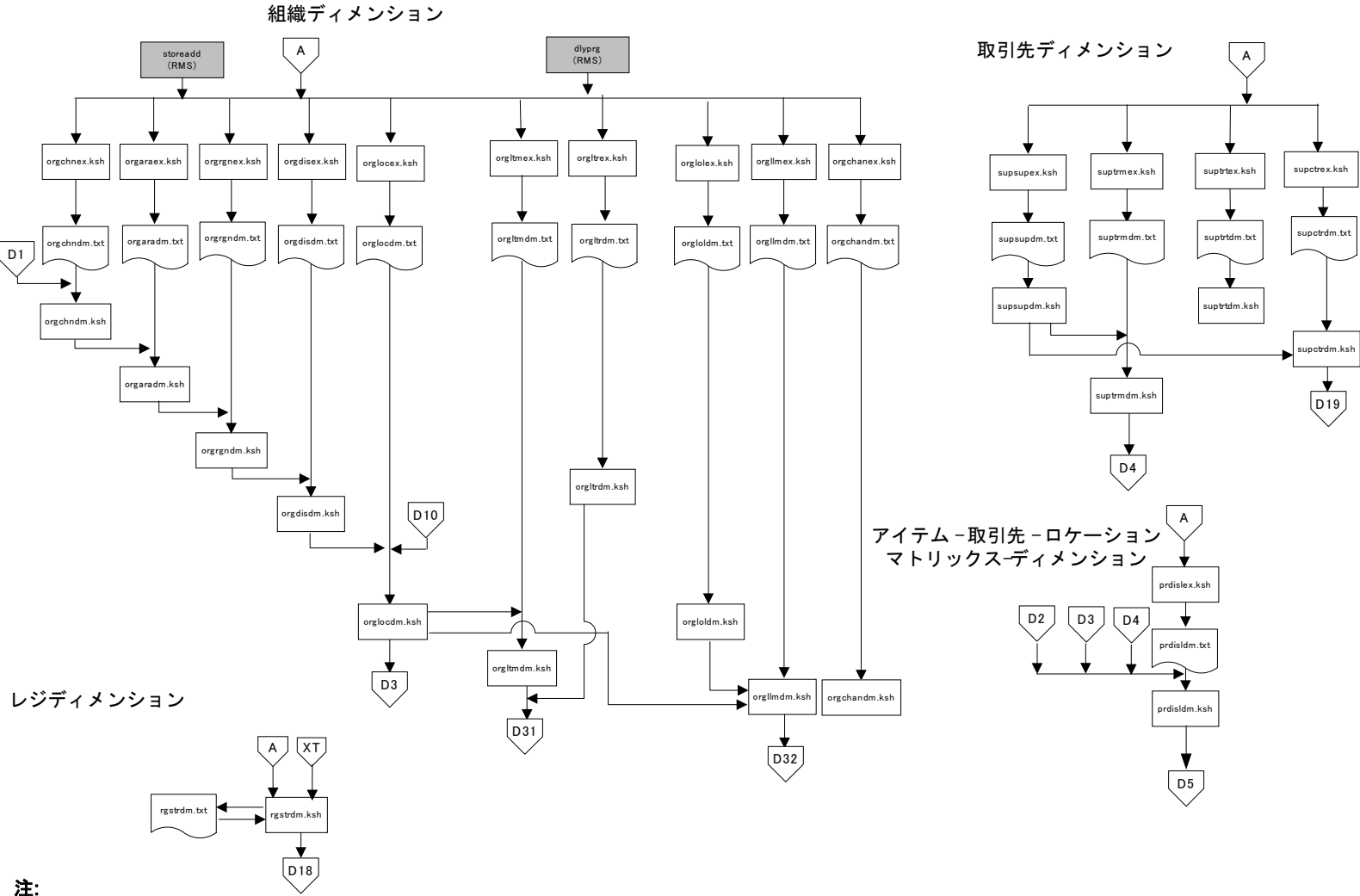


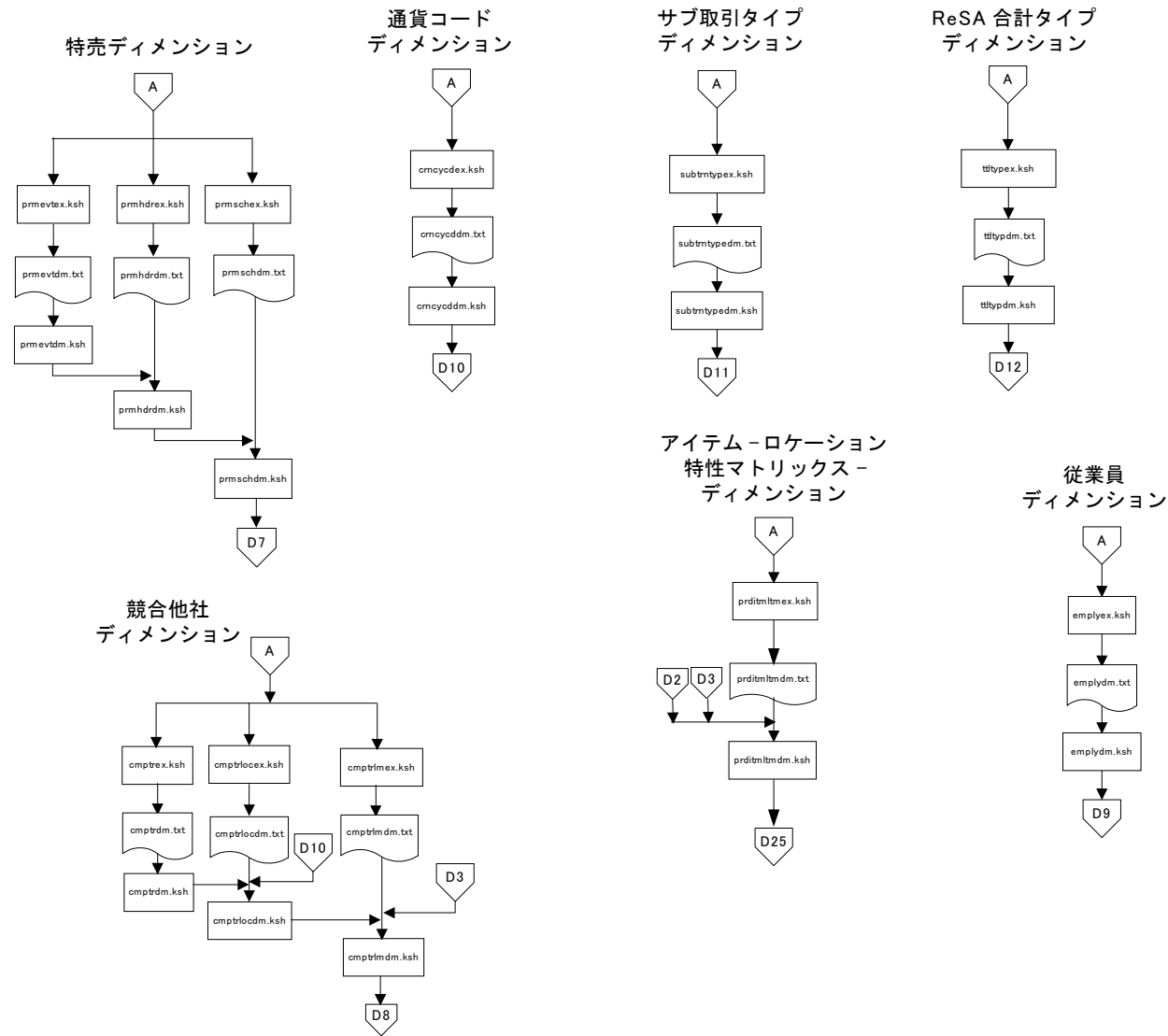


**注:**  
Orapartseed.ksh は、Oracle クライアントだけが使用するオプションプログラムです。このプログラムは、パーティション化された圧縮データマート表に影響を与えます。シーディングの詳細については、「圧縮とパーティション化」を参照してください。



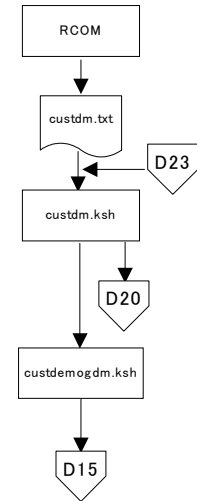




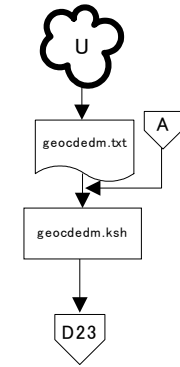


顧客および顧客人口  
統計ディメンション

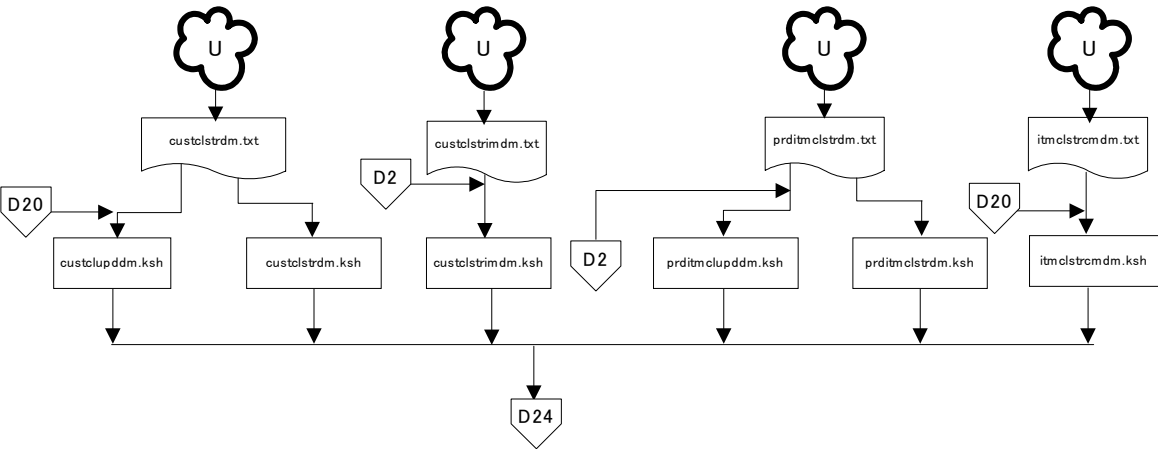
注:  
テキストファイルは、 Retek  
Customer Order Management  
(RCOM) で生成されます。



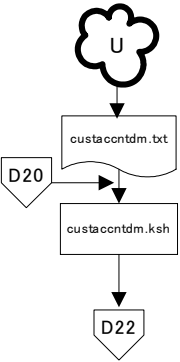
顧客人口統計  
ディメンション



顧客群および製品群  
ディメンション

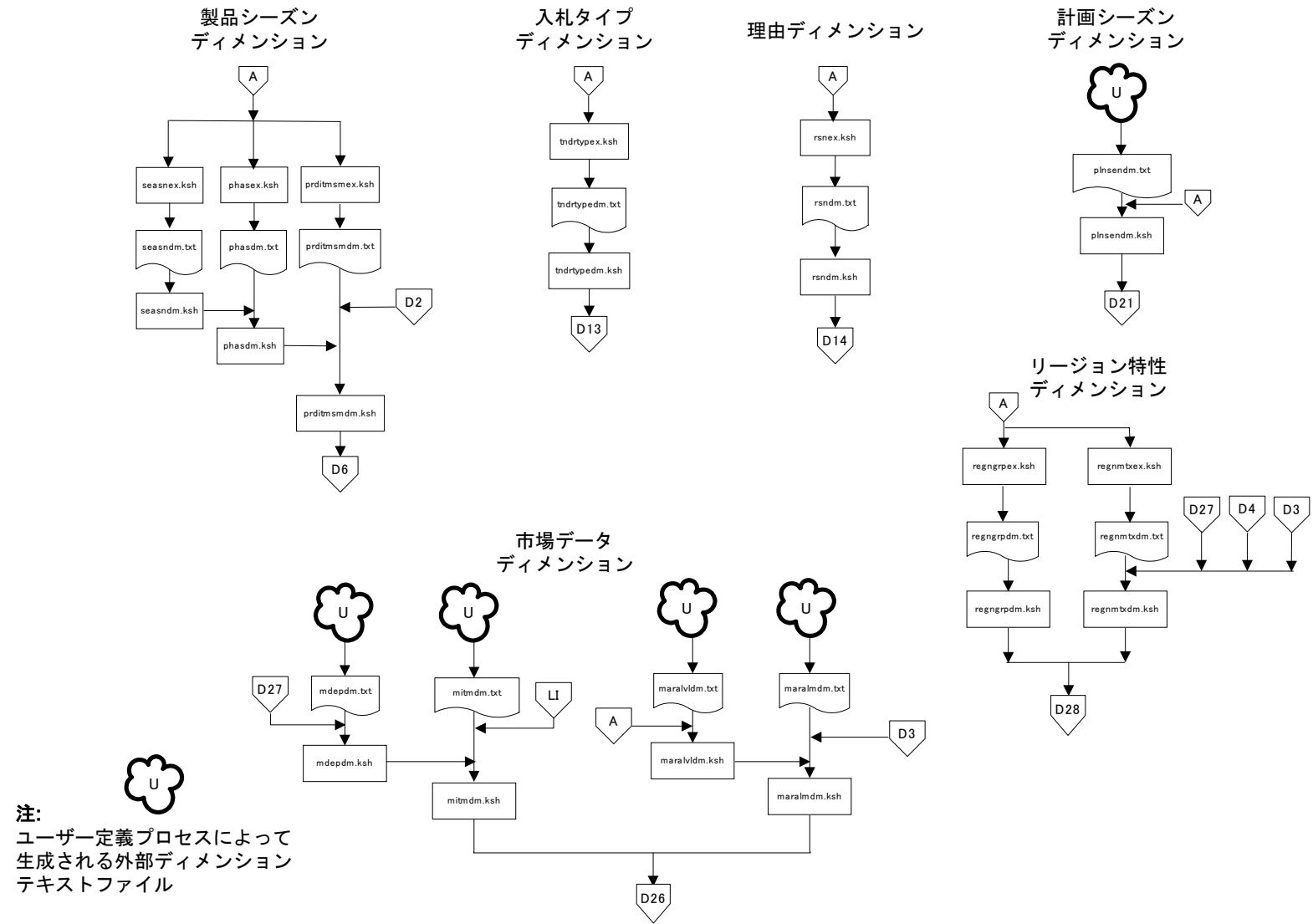


顧客アカウント  
ディメンション

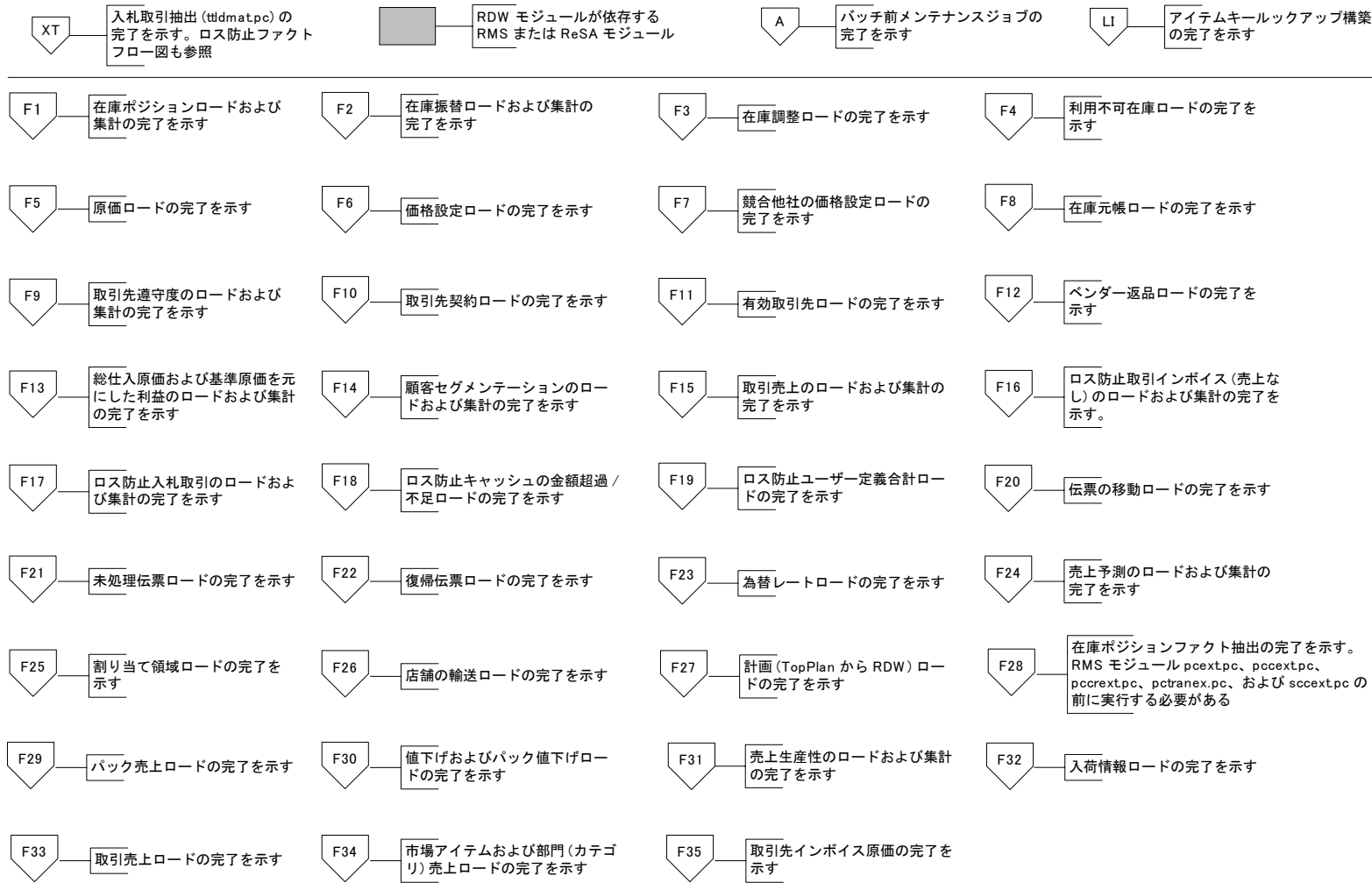


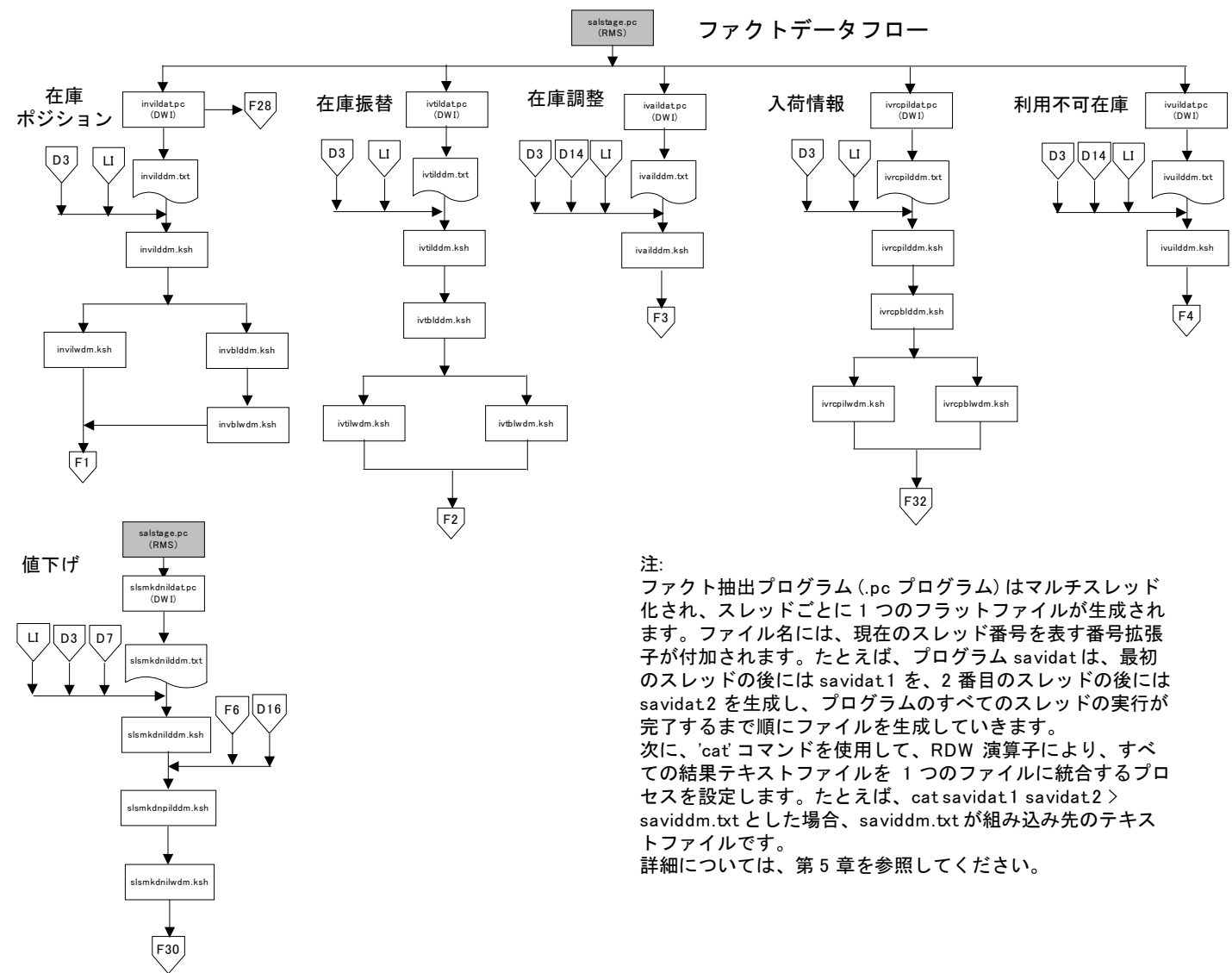
注:  
ユーザー定義プロセスによって  
生成される外部ディメンション  
テキストファイル





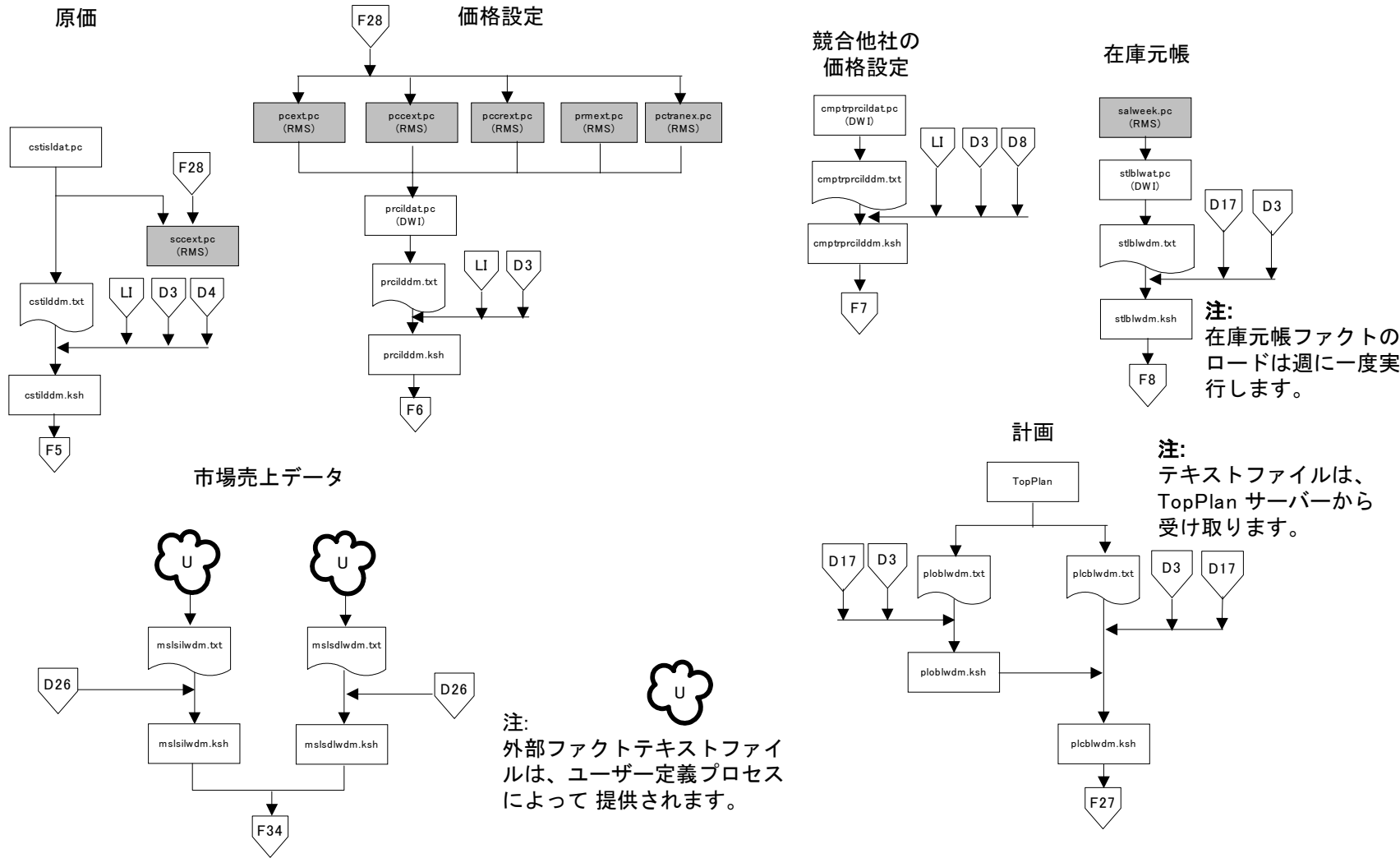
凡例: RDW 10.0 ファクトプログラム



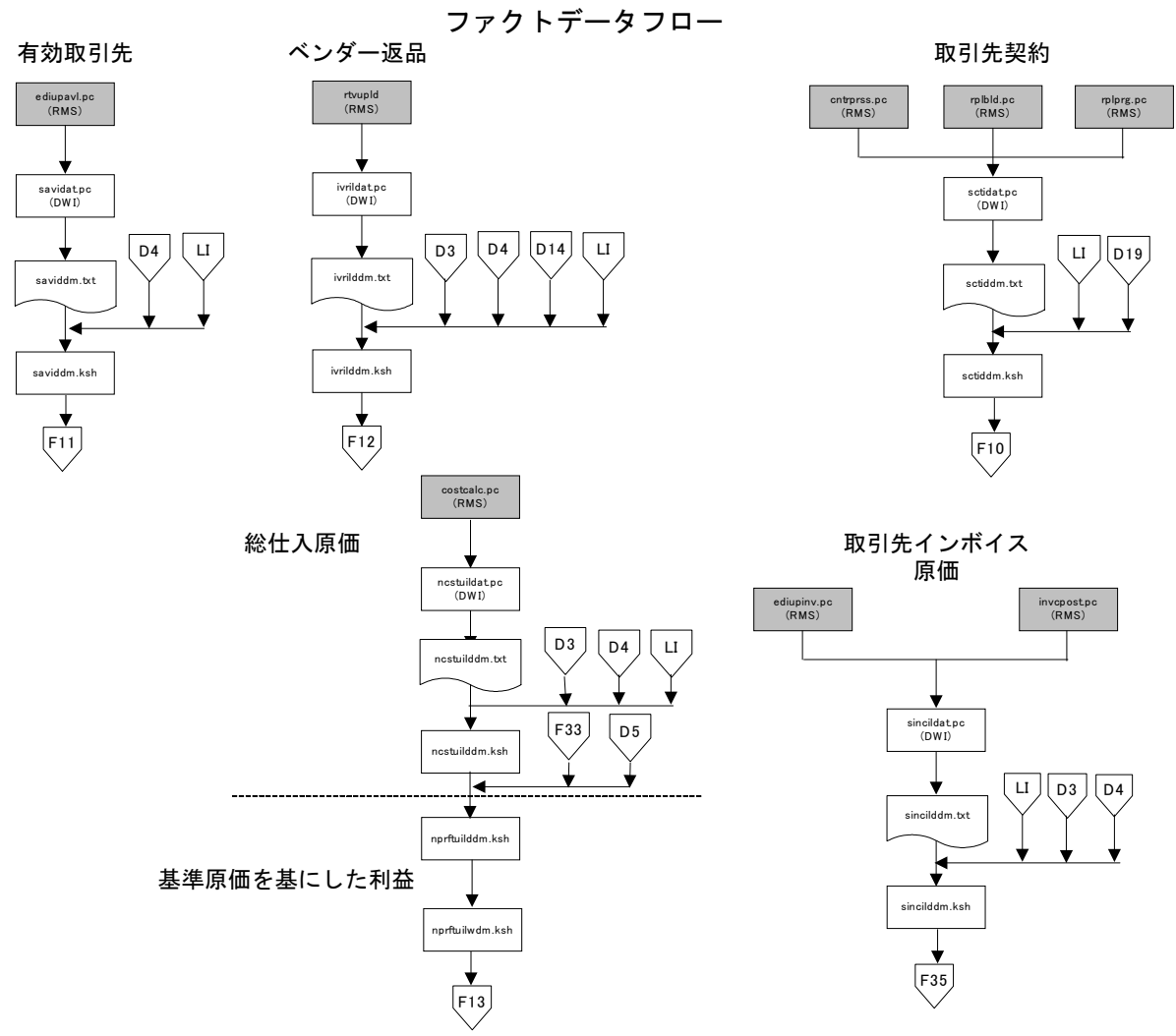


注:  
ファクト抽出プログラム (.pc プログラム) はマルチスレッド化され、スレッドごとに 1 つのフラットファイルが生成されます。ファイル名には、現在のスレッド番号を表す番号拡張子が付加されます。たとえば、プログラム savidat は、最初のスレッドの後には savidat1 を、2 番目のスレッドの後には savidat2 を生成し、プログラムのすべてのスレッドの実行が完了するまで順にファイルを生成していきます。次に、'cat' コマンドを使用して、RDW 演算子により、すべての結果テキストファイルを 1 つのファイルに統合するプロセスを設定します。たとえば、cat savidat1 savidat2 > saviddm.txt とした場合、saviddm.txt が組み込み先のテキストファイルです。詳細については、第 5 章を参照してください。

ファクトデータフロー

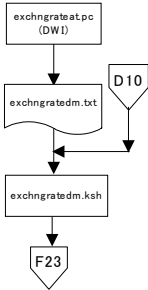




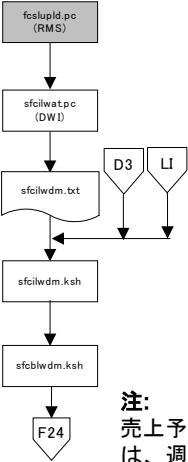


ファクトデータフロー

為替レート

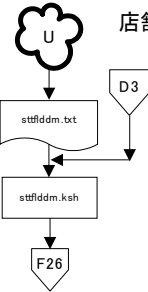


売上予測

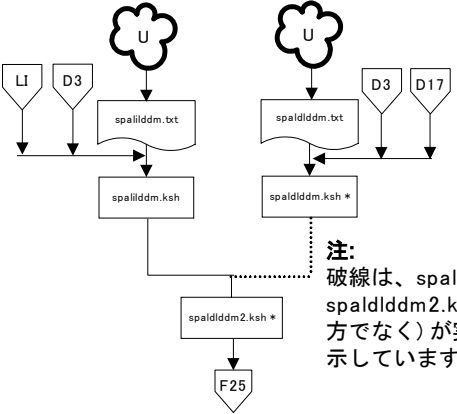


注:  
売上予測ファクトのロード  
は、週に一度実行します。

店舗の輸送



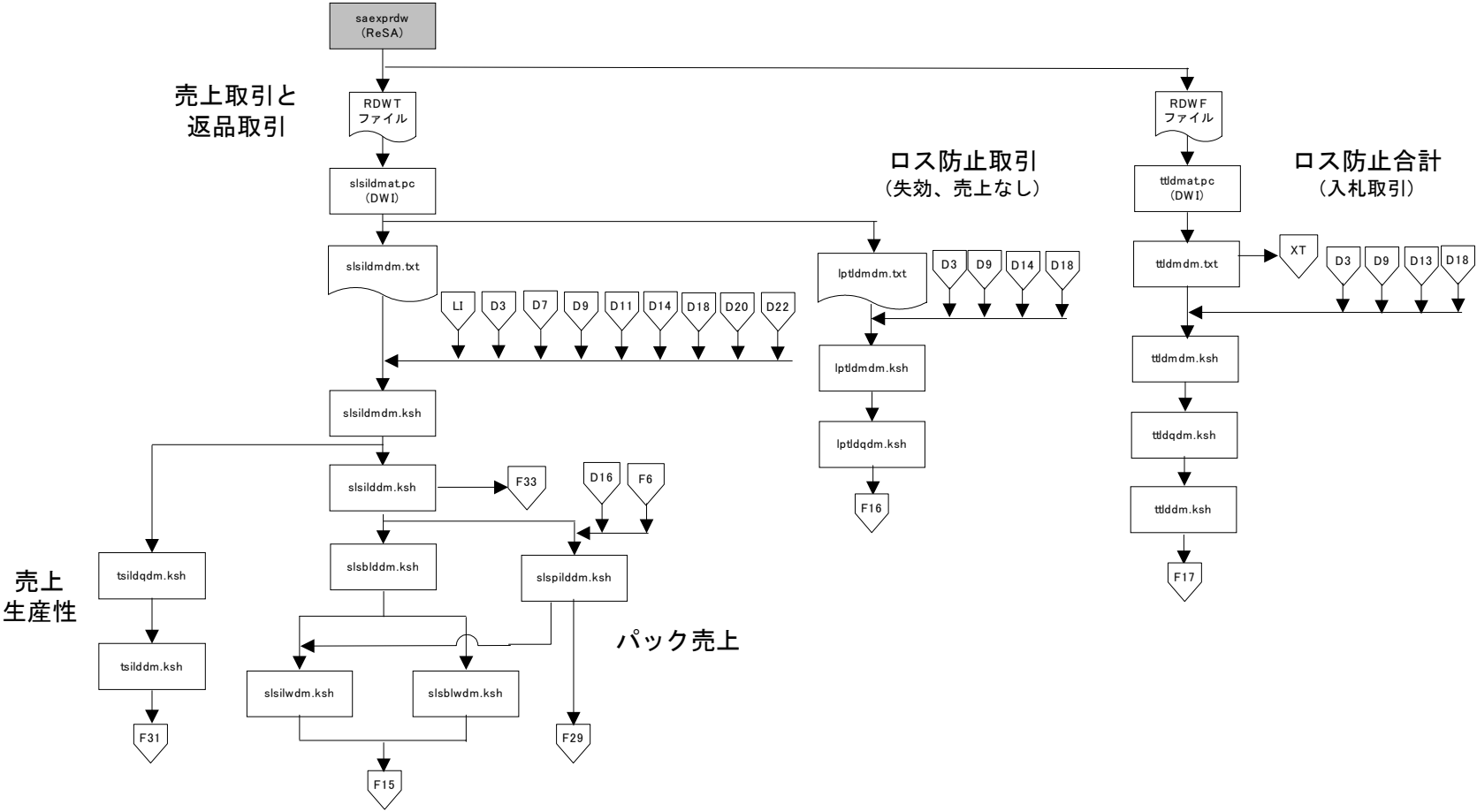
割り当て領域



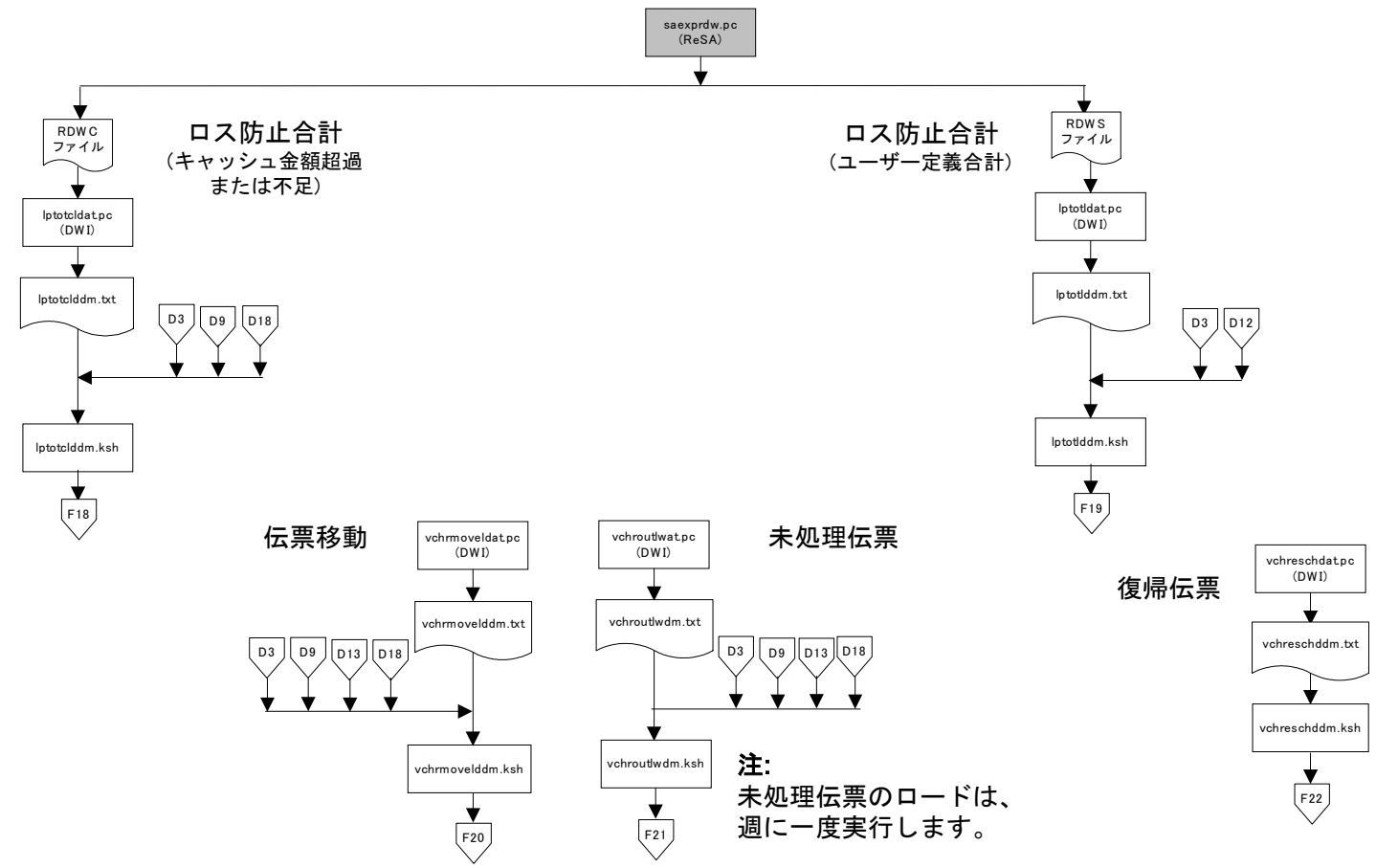
注:  
破線は、spallddm.ksh または  
spallddm2.ksh のいずれか (両  
方でなく) が実行されることを  
示しています。

注:  
外部ファクトテキストファイ  
ルは、ユーザー定義プロセス  
によって提供されます。

ファクトデータフロー

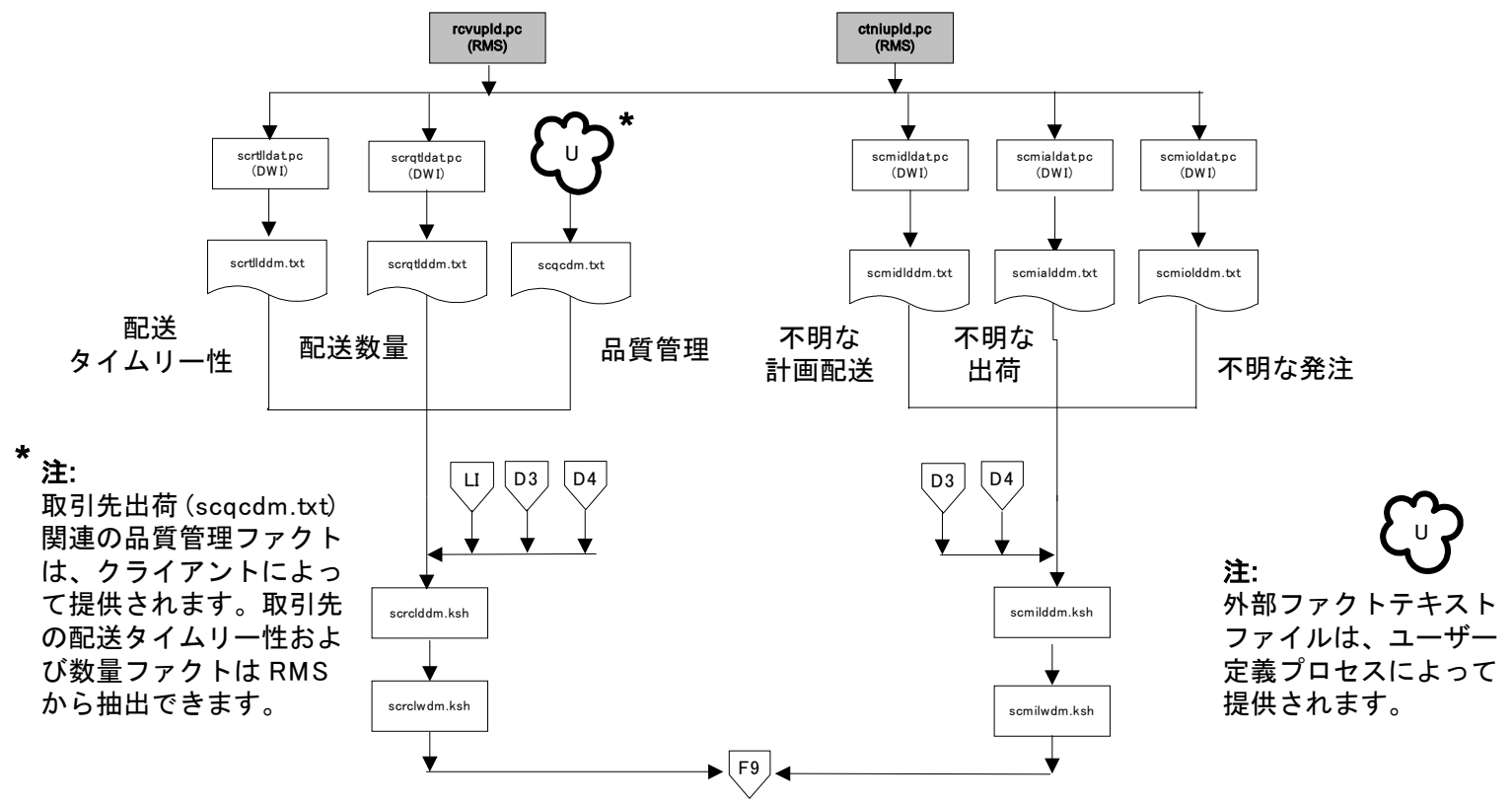


ファクトデータフロー



ファクトデータフロー

取引先遵守度





## 第 8 章 プログラムの参照リスト

この章は RDW の次の内容に関するリファレンスです。

- ファクト抽出プログラム (PRO\*C.pc および RIB-ETL Korn シェル)
- ディメンション Korn RIB-ETL Korn シェルスクリプト
- 表トリガ
- メンテナンス RIB-ETL Korn シェルスクリプト

以下の表に記載されている Program\_Control\_DM の値の説明については、この章の最後にある表を参照してください。

第 7 章「プログラムフロー図」とあわせて、本章および第 9 章「アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のフラットファイルの仕様」を参照することにより、クライアントは、RDW に取り込まれるすべてのファクトおよびディメンションを、表レベルおよびカラムレベルで追跡することが可能になります。

### ファクトプログラム

以下の表を参照するにあたっては、次のことに注意してください。

- すべての集計モジュールは一時表 \*\_TEMP からデータを導出します。この一時表は、ファクトデータマートに対し、ソースシステムから最下位のレベルのファクトをロードするモジュールによって生成されます。たとえば、slsmkdnilddm.ksh は、アイテム-ロケーション-日付レベルです。値下げの場合、日は時間における最下位のレベルに、週は次に高いレベルに位置付けられています。最下位レベル (つまりベース) のファクトロードモジュール slsmkdnilddm.ksh が、次のレベルの集計用に一時表を作成する必要があります。この一時表に本日分の変更内容と新規ファクトが保持され、slsmkdnilwdm.ksh は、これを使用して、目的の週の表に対し本日分の変更内容を集計します。
- "引数" カラムには、モジュール名自体に追加するコマンドラインパラメータが記載されています。
- 下のベースファクト DM Kornshell モジュールの場合は、コマンドラインパラメータに、データファイルのパスおよびファイル名を指定する必要があります。"引数" カラムには、RDW の既定のデータファイルディレクトリのパスとファイル名が記載されています (\$MMHOME/data/cmptrcilddm.txt など)。既定のパスを変更したい場合、クライアントは、それに代わる独自のパスとファイル名をコマンドラインに指定する必要があります。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
cmptrprcildat.pc	競合他社の 価格	ファクト抽出	RMS	COMP_STORE_ LINK、 THREADING_ STORE_V、 COMP_PRICE_ HIST_MD	N/A	cmptrprcilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
cmptrprcilddm.ksh	競合他社の 価格	ベースファクト (圧縮表)		cmptrprcilddm.txt	cmptrprcild dm.schema	COMP_PRICING_ ITEM_LD_ DM、CMPTR_ PRICING_IL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /cmptrprcilddm. txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。このモ ジュールにより、 バックポストさ れたデータを圧縮 されたターゲット 表に処理でき ます。
ctsisldat.pc	原価	ファクト抽出	RMS	PRICE_HIST、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_LOC、 ITEM_LOC、 ITEM_MASTER、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ctsislddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
ctsislddm.ksh	原価	ベースファクト (圧縮表)		ctsislddm.txt	ctsislddm. schema	COST_ITEM_ SUPP_LD_DM、 COST_ISL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /ctsislddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。



プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
exchngrateat.pc	為替レート	ファクト抽出	RMS	CURRENCY_ RATES、EURO_ EXCHANGE_ RATE、SYSTEM_ OPTIONS	N/A	exchngratedm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
exchngratedm.ksh	為替レート	ベースファクト (挿入)		exchngratedm.txt	exchngrated m.schema	EXCHNG_ RATE_CRNCY_ DAY_DM	BASEFACT_INS	NSERT	\$MMHOME/data /exchngratedm. txt	圧縮モジュール (cur 表なし) です。
invblddm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_SBC_LD_ DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_G		
invblwdm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_SBC_LW_ DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_F		
invildat.pc	在庫 ポジション	ファクト抽出	RMS	ORDLOC_REV、 V_PACKSKU_ QTY、IF_TRAN_ DATA、 THREADING_ STORE_WH_V、 ITEM_MASTER、 ITEM_LOC、 ITEM_LOC_SOH、 REPL_ITEM_ LOC、 ORDHEAD、 ORDLOC、 PACKITEM	N/A	invilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ filename	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
invilddm.ksh	在庫 ポジション	ベースファクト (圧縮表)		invilddm.txt	invilddm. schema	INV_ITEM_LD_ DM、 INV_IL_CUR_ DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/invilddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。在庫ポジ ションはバックポ ストできません。
invilwdm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_ITEM_LW_ DM	FACT_AGG_POS	INSERT		
ivaildat.pc	在庫調整	ファクト抽出	RMS	IF_TRAN_DATA、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ivailddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ filename	
ivailddm.ksh	在庫調整	ベースファクト (差分更新)		ivailddm.txt	ivailddm. schema	INV_ADJ_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/ivailddm.txt	
ivrcpblddm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_ SBC_LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
ivrcpblwdm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_ SBC_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
ivrcpildat.pc	入荷情報	ファクト抽出	RMS	IF_TRAN_DATA、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ivrcpilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ filename	
ivrcpilddm.ksh	入荷情報	ベースファクト (差分更新)		ivrcpilddm.txt	ivrcpilddm. schema	INV_RCPTS_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ivrcpilddm. txt	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ivrepilwdm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
ivrildat.pc	ベンダー返品	ファクト抽出	RMS	RTV_HEAD、 RTV_DETAIL、 ITEM_LOC、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ivrilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path	
ivrilddm.ksh	ベンダー返品	ベースファクト (更新)		ivrilddm.txt	ivrilddm. schema	INV_RTV_ SUPP_ITEM_ LD_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/ivrilddm.txt	
ivtblddm.ksh	在庫振替	集計				INV_TSF_SBC_ LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
ivtblwdm.ksh	在庫振替	集計				INV_TSF_SBC_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
ivtildat.pc	在庫振替	ファクト抽出	RMS	IF_TRAN_DATA、 TSFHEAD、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ivtilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
ivtilddm.ksh	在庫振替	ベースファクト (差分更新)		ivtilddm.txt	ivtilddm. schema	INV_TSF_ITEM_ LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ivtilddm.txt	
ivtilwdm.ksh	在庫振替	集計				INV_TSF_ITEM_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ivuildat.pc	利用不可の 在庫	ファクト抽出	RMS	INV_STATUS_ QTY、 ITEM_LOC、 ITEM_LOC_SOH、 IF_TRAN_DATA、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	ivuilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ filename	
ivuilddm.ksh	利用不可の 在庫	ベースファクト (更新 - 圧縮表)		ivuilddm.txt	ivuilddm. schema	INV_UNAVL_ ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_ IL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/ivuilddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。
lptldmdm.ksh	ロス防止取引 (失効、売上 なし)	ベースファクト (差分更新)		lptldmdm.txt	lptldmdm. schema	LP_TRAN_LM_ DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/lptldmdm.txt	ソースファイル は、DWI モ ジュール slsildmat.pc から 取得します。
lptldqdm.ksh	ロス防止取引 (失効、売上 なし)	集計				LP_TRAN_LQ_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
lptotclat.pc	合計ロス防止 (キャッシュ の金額超過 / 不足)	ファクト抽出	ReSA (RDWC ファイル)	RDWC file	N/A	lptotclddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd in_file out_file rej_file with path	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
lptotclddm.ksh	合計ロス防止 (キャッシュ の金額超過 / 不足)	ベースファクト (差分更新)		lptotclddm.txt	lptotclddm. schema	LP_TOT_CSHR_ LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /lptotclddm.txt	
lptotldat.pc	合計ロス防止 (ユーザー定 義合計)	ファクト抽出	ReSA (RDWS ファイル)	RDWS file	N/A	lptotlddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd in_path/filename out_path/ filename rej_path/filename	
lptotlddm.ksh	合計ロス防止 (ユーザー 定義合計)	ベースファクト (差分更新)		lptotlddm.txt	lptotlddm. schema	LP_TOT_LD_ DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /lptotlddm.txt	
mslsdlwdm.ksh	市場売上 データ	ファクトスタン ドアロン	注を参照	mslsdlwdm.txt、 MKT_PROD_ DEPT_DM、TIME_ WK_DM、MKT_ AREA_LEVEL1_ DM、MKT_AREA_ LEVEL2_DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	mslsdlwdm. schema	MKT_SLS_ DEPT_LEVEL1_ W_DM、 MKT_SLS_ DEPT_LEVEL2_ W_DM、 MKT_SLS_ DEPT_LEVEL3_ W_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE	\$MMHOME/data /mslsdlwdm.txt	このモジュールは ファクトマトリッ クスの概念を使用 しています。詳細 については、第 4 章を参照してくだ さい。ソースファ イルはクライアント により提供され ます。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
mslsilwdm.ksh	市場売上 データ	ファクト スタンドアロン	注を参照	mslsilwdm.txt、 MKT_PROD_ ITEM_DM、 TIME_WK_DM、 MKT_AREA_ LEVEL1_DM、 MKT_AREA_ LEVEL2_DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	mslsilwdm.s chema	MKT_SLS_ ITEM_LEVEL1_ W_DM、MKT_ SLS_ITEM_ LEVEL2_W_ DM、MKT_ SLS_ITEM_ LEVEL3_W_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE	\$MMHOME/data /mslsilwdm.txt	このモジュールは ファクトマトリッ クスの概念を使用 しています。詳細 については、第 4 章を参照してくだ さい。ソースファ イルはクライアント により提供され ます。
ncstuildat.pc	総仕入れ原価	ファクト抽出	RMS	FUTURE_COST、 ITEM_SUPP_ COUNTRY、 THREADING_ SUPPLIER_V、 ITEM_LOC	N/A	ncstuilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
ncstuilddm.ksh	総仕入れ原価	ベースファクト (更新 - 圧縮表)		ncstuilddm.txt	ncstuilddm. schema	NET_COST_ SUPP_ITEM_ LD_DM、NET_ COST_SIL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /ncstuilddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。このモ ジュールはバック ポストされたデー タを保持します。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
nprftuilddm.ksh	基準原価を基 にした利益	導出 (注を参照)		SLS_ITEM_LD_ DM、NET_COST_ SUPP_ITEM_LD_ DM、PROD_ ITEM_SUPP_LOC_ DM、TIME_DAY_ DM		NET_PRFT_ SUPP_ITEM_ LD_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE		このプログラム は、商品売上デー タと総仕入れ原価 データを組み合わ せて、代替の利益 計算を提供し ます。このファク トは、売上取引表 上の利益ファクト とは異なります。
nprftuilwdm.ksh	基準原価を基 にした利益	集計				NET_PRFT_ SUPP_ITEM_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
plcblwdm.ksh	計画	ベースファクト (更新)	注を参照	plcblwdm.txt	plcblwdm. schema	PLN_CURR_ SBC_LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /plcblwdm.txt	TopPlan インタ ーフェイスの詳 細については、 第 6 章「RDW のインターフェ イス」を参照し てください。
ploblwdm.ksh	計画	ベースファクト (更新)	注を参照	ploblwdm.txt	ploblwdm. schema	PLN_ORIG_ SBC_LW_DM、 PLN_CURR_ SBC_LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /ploblwdm.txt	TopPlan インタ ーフェイスの詳 細については、第 6 章「RDW のイン ターフェイス」を 参照してくだ さい。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
prcildat.pc	価格設定	ファクト抽出	RMS	PRICE_HIST、 ITEM_MASTER、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	prcilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
prcilddm.ksh	価格設定	ベースファクト (更新 - 圧縮表)		prcilddm.txt	prcilddm. schema	PRICING_ITEM_ LD_DM、 PRICING_IL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data/ prcilddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。
savidat.pc	有効取引先	ファクト抽出	RMS	SUP_AVAIL、 THREADING_ SUPPLIER_V	N/A	saviddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
saviddm.ksh	有効取引先	ベースファクト (更新 - 圧縮表)		saviddm.txt	saviddm. schema	SUPP_AVAIL_ ITEM_DAY_ DM、SUPP_ AVAIL_I_CUR_ DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data/ saviddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。
scmialdat.pc	取引先遵守度	ファクト抽出	RMS	SHIPMENT、 ORDHEAD、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	scmialddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ out_file	



プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
scmidldat.pc	取引先遵守度	ファクト抽出		SHIPMENT、 ORDHEAD、 LOCATION_ CLOSED、 SOURCE_DLVRY_ SCHED、 SOURCE_DLVRY_ SCHED_DAYS、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	scmidlddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ out_file	
scmidldm.ksh	取引先遵守度	ベースファクト (挿入)		scmidlddm.txt、 scmialddm.txt、 scmiolddm.txt	scmidlddm. schema、 scmialddm. schema、 scmiolddm. schema	SCMP_RCPT_ MISS_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_A	\$MMHOME/data /scmidlddm.txt、 \$MMHOME/data /scmialddm.txt、 \$MMHOME/data /scmiolddm.txt	
scmilwdm.ksh	取引先遵守度	集計				SCMP_RCPT_ MISS_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
scmioldat.pc	取引先遵守度	ファクト抽出	RMS	ORDHEAD、 ORDLOC、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	scmiolddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd out_file_path/ out_file	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
scrclddm.ksh	取引先遵守度	導出 (注を参照)		scrtllddm.txt、 scrqtllddm.txt、 scqcdm.txt	scrtllddm. schema、 scrqtllddm. schema、 scqcdm. schema	SCMP_RCPT_ ITEM_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_A	scrtllddm.txt、 scrqtllddm.txt、 scqcdm.txt	このプログラム は、3 つのデー タマート表のファ クトを結合して、1 つのより大きな ファクト表を作成 します。ファイル scqcdm.txt は、外 部から提供され ます。
scrclwdm.ksh	取引先遵守度	集計				SCMP_RCPT_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
scrqtl.dat.pc	取引先遵守度	ファクト抽出	RMS	SCMP_RCPT_ ITEM_LD_MD、 THREADING_ STORE_WH_V、 SHIPMENT、 ORDLOC、 SHIPSKU、 ORDHEAD	N/A	scrqtllddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
sctrlldat.pc	取引先遵守度	ファクト抽出	RMS	SCMP_RCPT_ITEM_ LD_MD、 ORDHEAD、 THREADING_ STORE_WH_V、 SOURCE_DLVRY_ SCHED、 SOURCE_DLVRY_ SCHED_DAYS、 LOCATION_ CLOSED	N/A	sctrllddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
sctidat.pc	取引先契約	ファクト抽出	RMS	CONTRACT_ HEADER、 CONTRACT_ DETAIL、 CONTRACT_ COST、 ORDHEAD、 ORDLOC、 ITEM_MASTER、 THREADING_ SUPPLIER_V	N/A	sctiddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	DWI は、追跡レ ベルを超えるファ クトだけを抽出で きます (RMS は、同じアイテム ファミリーでも、追 跡レベル以上の契 約ファクトを許可 します)。 Item_key は、追 跡レベルかそれ以 上にできます。
sctiddm.ksh	取引先契約	ベースファクト (更新 - 圧縮表)		sctiddm.txt	sctiddm. schema	SUPP_CNTRCT_ ITEM_DAY_ DM、SUPP_ CNTRCT_I_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /sctiddm.txt	圧縮表および cur 表については、第 4 章を参照してく ださい。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
sfcblwdm.ksh	売上予測	集計		集計については、 上の注を参照して ください。		SLS_FCST_ SBC_LW_DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_GF		このモジュールは 毎週実行され ます。
sfcilwat.pc	売上予測	ファクト抽出	RMS	ITEM_LOC_ SOHITEM_ FORECAST、 ITEM_LOC、 SYSTEM_ OPTIONS、 STORE、 DOMAIN_DEPT、 THREADING_ STORE_V、 ITEM_MASTER、 DOMAIN_ CLASS、 DOMAIN_ SUBCLASS、 VAT_ITEM	N/A	sfcilwdm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	このモジュールは 毎週実行され ます。
sfcilwdm.ksh	売上予測	ベースファクト (更新)		sfcilwdm.txt	sfcilwdm. schema	SLS_FCST_ ITEM_LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_A		このモジュールは 毎週実行され ます。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
sincildat.pc	取引先インボ イス原価	ファクト抽出		SUPP_INVC_ COST_ITEM_MD* (注を参照)、 INVC_HEAD、 INVC_DETAIL、 INVC_XREF、 SHIPMENT	N/A	sincilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	*この表は、特定 の日のバッチ実行 後に保持する必要 のある唯一の _MD 表です。こ のプログラムは、 MD 表から、 ____='N' の行を 選択し、処理済み の行を 'Y' に更 新します。クライ アントがページで きるのは、 ____='N' の行だ けです。
sincilddm.ksh	取引先インボ イス原価	ベースファクト (挿入)		sincilddm.txt	sincilddm. schema	SUPP_INVC_ COST_ITEM_ LD_DM	BASEFACT_INS	INSERT	\$MMHOME/data /sincilddm.txt	
slsblddm.ksh	売上および 返品取引	集計				SLS_SBC_LD_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE		
slsblwdm.ksh	売上および 返品取引	集計				SLS_SBC_LW_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
slsilddm.ksh	売上および 返品取引	集計				SLS_ITEM_LD_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slsildmat.pc	売上および 返品取引	ファクト抽出	ReSA (RDWT ファイル)	PROMSKU、 PROMSTORE、 ITEM_MASTER、 PROMDEPT、 PROM_ THRESHOLD_ SKU、PROM_ THRESHOLD_ DEPT、PROM_ MIX_MATCH_ BUY、PROM_ MIX_MATCH_ GET、VAT_ ITEM、STORE、 SYSTEM_ OPTIONS、 ITEM_LOC_SOH	N/A	lptldmdm.txt、 slsildmdm.txt	N/A	N/A	userid/passwd in_file_path/ in_file st_sls_ out_file_path/st_ sls_out_file st_ lp_out_file_path/ st_lp_out_file st_ rej_out_file_path/ st_rej_out_file 注: このモジュ ールは、ReSA (RDWT ファイ ル) から入力フ ァイルを 1 つ 受け取って、3 つのフラットフ ァイル (取引売 上ファイル、取 引売上ロス防止 ファイル、拒否 ファイル) を出 力します。	
slsildmdm.ksh	売上および 返品取引	ベースファクト (差分更新)		slsildmdm.txt	slsildmdm. schema	SLS_ITEM_LM_ DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/data /slsildmdm.txt	
slsilwdm.ksh	売上および 返品取引	集計				SLS_ITEM_LW_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slsmkdnildat.pc	値下げ	ファクト抽出	RMS	IF_TRAN_DATA、 THREADING_ STORE_ WH_V、STORE、 WH、VAT_ ITEM、SYSTEM_ OPTIONS	N/A	slsmkdnilddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename with path	
slsmkdnilddm.ksh	値下げ	ベースファクト (更新)		slsmkdnilddm.txt	slsmkdnildd m.schema	SLS_MKDN_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/data /slsmkdnilddm. txt	
slsmkdnildwm.ksh	値下げ	集計				SLS_MKDN_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
slsmkdnpilddm.ksh	値下げ	導出 (注を参照)		SLS_MKDN_ ITEM_LD_DM、 PRICING_ITEM_ LD_DM、PROD_ PACK_ITEM_ MTX_DM、 TIME_DAY_DM		SLS_MKDN_ PACK_ITEM_ LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_S		このモジュール は、SLS_MKDN_ ITEM_LD_DM 上 の売上値下げファ クトを、対応する パックコンポーネ ントの売上値下げ ファクトに振り分 けます。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slspilddm.ksh	バック売上	導出 (注を参照)		SLS_ITEM_LD_DM、PRICING_ITEM_LD_DM、PROD_PACK_ITEM_MTX_DM、TIME_DAY_DM		SLS_PACK_ITEM_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_S		このモジュールは、バックアイテムの売上ファクトを選択して、そのバックアイテムを、個々のコンポーネントアイテムに分類します。
spaldlddm.ksh	割り当て領域	ベースファクト (更新 - 圧縮表)	注を参照	spaldlddm.txt	spaldlddm. schema	SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM、SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data/ spaldlddm.txt	クライアントは、spaldlddm.kshまたは部門割り当て領域モジュールspaldlddm2.kshのいずれかを実行します。ソースデータはクライアントにより提供されます。このモジュールにより、バックポストされたデータを圧縮されたターゲット表に処理できます。
spaldlddm2.ksh	割り当て領域	集計				SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM、SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM	FACT_STANDALONE	UPDATE		このモジュールは、割り当て領域を集計します。



プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
spalilddm.ksh	割り当て領域	ベースファクト (更新 - 圧縮表)	注を参照	spalilddm.txt	spalilddm.sc hema	SPACE_ALLOC_ ITEM_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ IL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/data /spalilddm.txt	割り当て領域のアイ テムのソース データはクライア ントにより提供さ れます。このモ ジュールにより、 バックポストさ れたデータを圧縮 表に処理でき ます。
stlblwat.pc	在庫元帳	ファクト抽出	RMS	WEEK_DATA、 SYSTEM_ VARIABLES、 THREADING_ STORE_WH_V	N/A	stlblwdm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	このモジュールは 毎週実行され ます。
stlblwdm.ksh	在庫元帳	ベースファクト (更新)		stlblwdm.txt	stlblwdm. schema	INV_VAL_SBC_ LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /stlblwdm.txt	このモジュールは 毎週実行され ます。
sttflddm.ksh	店舗の輸送	ベースファクト	注を参照	sttflddm.txt	sttflddm. schema	STORE_TRAF_ LD_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /sttflddm.txt	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
tsilddm.ksh	売上生産性	集計				SLS_LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
tsildqdm.ksh	売上生産性	集計				SLS_LQ_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE		

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ttldmat.pc	入札取引 (ロス防止)	ファクト抽出	ReSA (RDWF ファイル)	RDWF file	N/A	ttldmdm.txt	N/A	N/A	userid/passwd input_file_path/ file output_file_ path/file reject_ file_path/file	
ttldmdm.ksh	入札取引 (ロス防止)	ベースファクト (差分更新)		ttldmdm.txt	ttldmdm. schema	TNDR_TRAN_ LM_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/data /ttldmdm.txt	
ttldqdm.ksh	入札取引 (ロス防止)	集計				TNDR_TRAN_ LQ_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_MS		
ttlddm.ksh	入札取引 (ロス防止)	集計				TNDR_TRAN_ LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_MS		
vchreschdat.pc	復帰伝票	ファクト抽出	RMS	VCHR_ESCH_ DAY_MD	N/A	vchreschlddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path/ filename	
vchreschddm.ksh	復帰伝票	ベースファクト (更新)		vchreschlddm.txt	vchreschldd m.schema	VCHR_ESCH_ DAY_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/data /vchreschlddm.txt	
vchrmoveldat.pc	伝票の移動	ファクト抽出	RMS	VCHR_MOVE_LD_ MD、 THREADING_ STORE_V	N/A	vchrmovelddm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマ ファイル	ターゲット ファイルまたは表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
vchrmoveiddm.ksh	伝票の移動	ベースファクト (差分更新)		vchrmoveiddm.txt	vchrmoveiddm.schema	VCHR_MOVE_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE	\$MMHOME/data/vchrmoveiddm.txt	
vchroutlwat.pc	未処理伝票	ファクト抽出	RMS	SA_VOUCHER、 THREADING_STORE_V	N/A	vchroutlwdm.txt	N/A	N/A	userid/passwd output_file_path	
vchroutlwdm.ksh	未処理伝票	ベースファクト (差分更新)		vchroutlwdm.txt	vchroutlwdm.schema	VCHR_OUT_LW_DM	FACT_MATRIX	UPDATE	\$MMHOME/data/vchroutlwdm.txt	このモジュールは 毎週実行されます。

ディメンションプログラム

以下の表を参照するにあたっては、次のことに注意してください。

- 以下の表に示すように、ディメンション DM KSH モジュールの場合、"引数" カラムはありません。これらのモジュールにパスとファイル名のパラメータは不要です。ディメンションモジュールは、ソーステキストファイルが \$MMHOME/data に格納されていると見なします。既定のパスを変更したい場合、クライアントは、それに代わる独自のパスとファイル名をコマンドラインに指定する必要があります。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
cmptrdm.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション ロード		cmptrdm.txt	cmptrdm.schema	CMPTR_DM	DIM_TOP	UPDATE	
cmptrex.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMPETITOR	cmptrdm.schema	cmptrdm.txt			
cmptrlmdm.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション ロード		cmptrlmdm.txt	cmptrlmdm.schema	CMPTR_LOC_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
cmptrlmex.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMP_STORE_ LINK、 CODE_DETAIL	cmptrlmdm.schema	cmptrlmdm.txt			
cmptrlocdm.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション ロード		cmptrlocdm.txt	cmptrlocdm.schema	CMPTR_LOC_DM	DIM_LOW	UPDATE	
cmptrlocex.ksh	競合他社 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMP_STORE	cmptrlocdm.schema	cmptrlocdm.txt			
crnycddm.ksh	通貨コードディ メンション	ディメンション ロード		crnycddm.txt	crnycddm.schema	CRNCY_CDE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
crnycdex.ksh	通貨コードディ メンション	ディメンション 抽出	RMS	CURRENCIES	crnycddm.schema	crnycddm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
custacctdm.ksh	顧客アカウント ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	custacctdm.txt	custacctdm.schema	CUST_ACCNT_ TYPE_DM、CUST_ ACCNT_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
custclstrdm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	custclstrdm.txt	custclstrdm.schema	CUST_CLSTR_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
custclstrimdm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	custclstrimdm.txt	custclstrimdm.schema	CUST_CLSTR_ ITEM_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
custclupddm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	custclstrdm.txt	custclstrdm.schema	CUST_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
custdm.ksh	顧客および顧客 人口統計ディメ ンション	ディメンション ロード	RCOM	custdm.txt	custdm.schema	CUST_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
custdemogdm.ksh	顧客および顧客 人口統計ディメ ンション	ディメンション ロード		CUST_DM		CUST_MARITAL_ DM、CUST_ GENDER_DM、 CUST_ETHNIC_ DM、CUST_DT_OF_ BIRTH_DM、CUST_ INCOME_DM、 CUST_CHILD_DM、 CUST_HH_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
emptydm.ksh	従業員 ディメンション	ディメンション ロード		emptydm.txt	emptydm.schema	EMPTY_DM	DIM_TOP	UPDATE	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
emptyex.ksh	従業員 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SA_EMPLOYEE	emptydm.schema	emptydm.txt			
geocdedm.ksh	顧客地域 ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	geocdedm.txt	geocdedm.schema	GEO_CDE_DM	DIM_TOP	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
itmclstrcmdm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	itmclstrcmdm.txt	itmclstrcmdm.schema	ITEM_CLSTR_ CUST_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
maralmdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	maralmdm.txt	maralmdm.schema	MKT_AREA_LOC_ MTX_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
maralvldm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	maralvldm.txt	maralvldm.schema	MKT_AREA_ LEVEL1_DM、 MKT_AREA_ LEVEL2_DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
mdepdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	mdepdm.txt	mdepdm.schema	MKT_PROD_DEPT_ DM、MKT_PROD_ DEPT_MTX_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
mitmdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	mitmdm.txt	mitmdm.schema	MKT_PROD_ITEM_ DM、MKT_PROD_ ITEM_MTX_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
orgaradm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgaradm.txt	orgaradm.schema	ORG_AREA_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgaraex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	AREA	orgaradm.schema	orgaradm.txt			
orgchandm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgchandm.txt	orgchandm.schema	ORG_CHANNEL_ DM	DIM_MTX	INSERT	
orgchanex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CHANNELS	orgchandm.schema	orgchandm.txt			
orgchndm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgchndm.txt	orgchndm.schema	ORG_CHAIN_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgchnex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CHAIN、 COMPHEAD	orgchndm.schema	orgchndm.txt			
orgdisdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgdisdm.txt	orgdisdm.schema	ORG_DISTT_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgdisex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DISTRICT	orgdisdm.schema	orgdisdm.txt			
orgllmdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgllmdm.txt	orgllmdm.schema	ORG_LOCLST_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
orgllmex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_LIST_ DETAIL	orgllmdm.schema	orgllmdm.txt			
orglocdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orglocdm.txt	orglocdm.schema	ORG_LOC_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
orglocex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	STORE、 DISTRICT、 CURRENCIES、 COUNTRY、 STORE_ ATTRIBUTES、 STORE_ FORMAT、 STATE、 TSFZONE、 PROMOZONE、 WH、SYSTEM_ OPTIONS、WH_ ATTRIBUTES、 PROMO_ZONE	orglocdm.schema	orglocdm.txt			
orgloldm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgloldm.txt	orgloldm.schema	ORG_LOCLST_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
orglolex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_LIST_ HEAD	orgloldm.schema	orgloldm.txt			
orgltmdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgltmdm.txt	orgltmdm.schema	ORG_LOC_ TRAIT_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
orgltmex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_TRAITS_ MATRIX	orgltmdm.schema	orgltmdm.txt			
orgltrdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgltrdm.txt	orgltrdm.schema	ORG_LOC_ TRAIT_DM	DIM_TOP_IDNT'	UPDATE	



プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
orgltrex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_TRAITS	orgltrdm.schema	orgltrdm.txt			
orgrgndm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション ロード		orgrgndm.txt	orgrgndm.schema	ORG_REGN_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgrgnex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	REGION	orgrgndm.schema	orgrgndm.txt			
phasdm.ksh	製品シーズン ディメンション	ディメンション ロード		phasdm.txt	phasdm.schema	PHASE_DM	DIM_LOW	UPDATE	
phasex.ksh	製品シーズン ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PHASES	phasdm.schema	phasdm.txt			
plnsendm.ksh	計画シーズン ディメンション	ディメンション ロード	注を参照	plnsendm.txt	plnsendm.schema	PLN_SEASN_DM、 TIME_PLN_STD_ BY_WK_DM、 PLN_SEASN_WK_ MTX_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_DL	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prdcldsm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prdcldsm.txt	prdcldsm.schema	PROD_CLASS_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prdclex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CLASS、 MERCHANT、 BUYER、DEPS	prdcldsm.schema	prdcldsm.txt			
prdcmpdm.ksh	カンパニー ディメンション	ディメンション ロード		prdcmpdm.txt	prdcmpdm.schema	CMPY_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdcmpex.ksh	カンパニー ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMPHEAD	prdcmpdm.schema	prdcmpdm.txt			
prddcmpdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddcmpdm.txt	prddcmpdm.schema	PROD_DIFF_COMP_ DM	DIM_STANDALONE	INSERT	
prddcmpex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_COMP	prddcmpdm.schema	prddcmpdm.txt			
prddcmpmdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddcmpmdm.txt	prddcmpmdm.schema	PROD_DIFF_ COMP_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prddcmpmex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_ID_ COMP、 DIFF_IDS	prddcmpmdm.schema	prddcmpmdm.txt			
prddepdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddepdm.txt	prddepdm.schema	PROD_DEPT_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prddepex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DEPS、CODE_ DETAIL、 MERCHANT、 BUYER	prddepdm.schema	prddepdm.txt			
prddgrpdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddgrpdm.txt	prddgrpdm.schema	PROD_DIFF_ GROUP_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
prddgrpex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_GROUP_ HEAD	prddgrpdm.schema	prddgrpdm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prddgrpmdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddgrpmdm.txt	prddgrpmdm.schema	PROD_DIFF_ GROUP_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prddgrpmex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_GROUP_ DETAIL、 DIFF_IDS	prddgrpmdm.schema	prddgrpmdm.txt			
prddiffdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddiffdm.txt	prddiffdm.schema	PROD_DIFF_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
prddiffex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_IDS	prddiffdm.schema	prddiffdm.txt			
prddivdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddivdm.txt	prddivdm.schema	PROD_DIV_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prddivex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIVISION、 COMPHEAD、 MERCHANT、 BUYER	prddivdm.schema	prddivdm.txt			
prddtypdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prddtypdm.txt	prddtypdm.schema	PROD_DIFF_TYPE_ DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
prddtypex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CODE_DETAIL	prddtypdm.schema	prddtypdm.txt			
prdgrpdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prdgrpdm.txt	prdgrpdm.schema	PROD_GRP_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdgrpex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	GROUPS、 MERCHANT、 BUYER	prdgrpdm.schema	prdgrpdm.txt			
prdhdrdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション ロード		prdhdrdm.txt	prmhdrdm.schema	PRMTN_HEAD_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prdhdrex.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD	prmhdrdm.schema	prdhdrdm.txt			
prdisldm.ksh	アイテム - 取引先 - ロケーション クロスディメン ション	ディメンション ロード		prdisldm.txt	prdisldm.schema	PROD_ITEM_ SUPP_LOC_DM	DIM_MTX	INSERT	
prdislex.ksh	アイテム - 取引先 - ロケーション クロスディメン ション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_SUPP_ COUNTRY_ LOC、ITEM_ MASTER、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_ DIM、ITEM_ SUPP_ COUNTRY、 ITEM_LOC、 ITEM_ SUPPLIER	prdisldm.schema	prdisldm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prditmclstrdm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	prditmclstrdm.txt	prditmclstrdm.schema	PROD_ITEM_ CLSTR_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prditmclupddm.ksh	顧客群および 製品群ディメン ション	ディメンション ロード	注を参照	prditmclstrdm.txt	prditmclstrdm.schema	PROD_ITEM_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prditmdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmdm.txt	prditmdm.schema	PROD_ITEM_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
prditmex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_MASTER、 UOM_CLASS、 CODE_DETAIL	prditmdm.schema	prditmdm.txt			
prditmldm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmldm.txt	prditmldm.schema	PROD_ITEMLIST_ DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
prditmlex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SKULIST_HEAD	prditmldm.schema	prditmldm.txt			
prditmlmdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmlmdm.txt	prditmlmdm.schema	PROD_ITEMLIST_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prditmlmex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SKULIST_ DETAIL、 ITEM_MASTER	prditmlmdm.schema	prditmlmdm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prditmltmdm.ksh	アイテム- ロケーション 特性クロス ディメンション	ディメンション ロード		prditmltmdm.txt	prditmltmdm.schema	PROD_ITEM_LOC_ TRAITS_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prditmltmex.ksh	アイテム- ロケーション 特性クロス ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_LOC_ TRAITS、ITEM_ MASTER、 CODE_DETAIL	prditmltmdm.schema	prditmltmdm.txt			
prditmuddm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmuddm.txt	prditmuddm.schema	PROD_ITEM_ UDA_DTL_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_DL	
prditmuhdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmuhdm.txt	prditmuhdm.schema	PROD_ITEM_ UDA_HEAD_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
prditmumdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prditmumdm.txt	prditmumdm.schema	PROD_ITEM_ UDA_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prdpimdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prdpimdm.txt	prdpimdm.schema	PROD_PACK_ ITEM_MTX_DM	DIM_STANDALONE	UPDATE	
prdpimex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PACKITEM_ BREAKOUT、 ITEM_MASTER	prdpimdm.schema	prdpimdm.txt			
prdsbcdm.ksh	製品 ディメンション	ディメンション ロード		prdsbcdm.txt	prdsbcdm.schema	PROD_SBC_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdsbcex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUBCLASS、 DEPS、CLASS、 BUYER、 MERCHANT	prdsbcdm.schema	prdsbcdm.txt			
prdudaex.ksh	製品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_MASTER、 UDAUDA_ITEM_ DATE、UDA_ ITEM_FF、UDA_ VALUESUDA_ ITEM_LOV	prditmuhdm. schema、 prditmuddm.schema prditmumdm.schema	prditmuhdm.txt prditmuddm.txt prditmumdm.txt			
prmevtdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション ロード		prmevtdm.txt	prmevtdm.schema	PRMTN_EVENT_DM	DIM_TOP	UPDATE	
prmevtex.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD	prmevtdm.schema	prmevtdm.txt			
prmschdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション ロード		prmschdm.txt	prmschdm.schema	PRMTN_SCHM_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prmschex.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD、 PROM_MIX_ MATCH_HEAD、 PROM_ THRESHOLD_ HEAD	prmschdm.schema	prmschdm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
regngrpdm.ksh	リージョン特性 ディメンション	ディメンション ロード		regngrpdm.txt	regngrpdm.schema	REGIONALITY_ GRP_DM	DIM_TOP_IDNT	UPDATE_D	
regngrpex.ksh	リージョン特性 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SEC_GROUP、 CODE_DETAIL	regngrpdm.schema	regngrpdm.txt			
regnmtxdm.ksh	リージョン特性 ディメンション	ディメンション ロード		regngrpdm.txt	regnmtxdm.schema	REGIONALITY_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
regnmtxex.ksh	リージョン特性 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	REGIONALITY_ MATRIX、ITEM_ MASTER、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_LOC	regnmtxdm.schema	regnmtxdm.txt			
rgstrdm.ksh	レジ ディメンション	ディメンション ロード		ttldmdm.txt、 rgstrdm.txt	ttldmdm.schema、 rgstrdm.schema	RGSTR_DM	DIM_TOP	INSERT	
rsndm.ksh	理由 ディメンション	ディメンション ロード		rsndm.txt	rsndm.schema	REASN_DM	DIM_TOP	UPDATE	
rsnex.ksh	理由 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CODE_DETAIL、 INV_ADJ_ REASON、 INV_STATUS_ TYPES、 QC_FAILURE_ CODES、 CODE_HEAD、 NON_MERCH_ CODE_HEAD	rsndm.schema	rsndm.txt			



プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
seasndm.ksh	製品シーズン ディメンション	ディメンション ロード		seasndm.txt	seasndm.schema	SEASN_DM、 TIME_STD_BY_ DAY_DM、 TIME_STD_BY_ WK_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
seasnex.ksh	製品シーズン ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SEASONS	seasndm.schema	seasndm.txt			
subtrantypdm.ksh	サブ取引タイプ ディメンション	ディメンション ロード		subtrantypdm.txt	subtrantypdm.schema	SUB_TRAN_TYPE_ DM	DIM_TOP	UPDATE	
subtrantypex.ksh	サブ取引タイプ ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CODE_DETAIL	subtrantypdm.schema	subtrantypdm.txt			
supctrdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション ロード		supctrdm.txt	supctrdm.schema	SUPP_CNTRCT_DM	DIM_LOW	UPDATE	
supctrex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CONTRACT_ HEADER、 CODE_DETAIL	supctrdm.schema	supctrdm.txt			
supsupdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション ロード		supsupdm.txt	supsupdm.schema	SUPP_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
supsupex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUPS、SUP_ ATTRIBUTES、 CURRENCIES、 SYSTEM_ OPTIONS	supsupdm.schema	supsupdm.txt			

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	外部データ ソース	ソース表または ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル または表	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
suptrmdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション ロード		suptrmdm.txt	suptrmdm.schema	SUPP_TRAIT_MTX_ DM	DIM_MTX	INSERT	
suptrmex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUP_TRAITS_ MATRIX	suptrmdm.schema	suptrmdm.txt			
suptrtdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション ロード		suptrtdm.txt	suptrtdm.schema	SUPP_TRAIT_DM	DIM_TOP_IDNT	UPDATE	
suptrtex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUP_TRAITS	suptrtdm.schema	suptrtdm.txt			
tndrtypedm.ksh	入札タイプ ディメンション	ディメンション ロード		tndrtypedm.txt	tndrtypedm.schema	TNDR_TYPE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
tndrtypex.ksh	入札タイプ ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	POS_TENDER_ TYPE_HEAD、 CODE_DETAIL	tndrtypedm.schema	tndrtypedm.txt			
ttltypdm.ksh	ReSA 合計 タイプ ディメンション	ディメンション ロード		ttltypdm.txt	ttltypdm.schema	TOTAL_ TYPE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
ttltypex.ksh	ReSA 合計 タイプ ディメンション	ディメンション 抽出	ReSA/RMS	SA_TOTAL_ HEAD	ttltypdm.schema	ttltypdm.txt			

表トリガ

以下の表を参照するにあたっては、次のことに注意してください。

- クライアントは、すべての MD 表 (以下の SUPP\_INVC\_COST\_ITEM\_LD\_MD を除く) を、表上のすべてのデータが DWI Pro\*C バッチモジュールによって正常に処理された後、ページできます。通常、これらの表は、クライアントによって数日間、再起動 / 復旧およびアーカイブ用途で保持されます。
- SUPP\_INVC\_COST\_ITEM\_LD\_MD は、クライアントが invc\_extracted\_flag = 'Y' に設定した場合にのみページされます。

プログラム	機能領域	モジュールタイプ	トリガ名	外部データソース	ソース表またはファイル	ターゲットファイルまたは表	注
cmpprchist.trg	競合他社の価格	トリガ	RDW_CMPTR_PRICE_HIST_TRIGGER	RMS	COMP_PRICE_HIST、ITEM_MASTER、PERIOD	COMP_PRICE_HIST_MD	
invc_detail.trg	取引先インボイス	トリガ	RDW_INVC_DETAIL_TRIGGER	RMS	INVC_DETAIL、PERIOD	SUPP_INVC_COST_ITEM_LD_MD	
shipsku.trg	取引先遵守度	トリガ	RDW_SHIPSKU_TRIGGER	RMS	SHIPSKU、SHIPMENT、PERIOD	SCMP_RCPT_ITEM_LD_MD	
vchr.trg	伝票	トリガ	RDW_VCHR_TRIGGER	RMS	SA_VOUCHER、PERIOD	VCHR_MOVE_LD_MD、VCHR_ESCH_DAY_DM	

メンテナンスプログラム

プログラム	機能領域	モジュール タイプ	外部データ ソース	ソース表またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたは表	引数	注
factclosedm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM、 PRICING_IL_CUR_DM、 INVSBC_LW_DM、 PROD_ITEM_DMPROD_ITEM_ RECLASS_DMPROD_DEPT_ RECLASS_DMORG_LOC_ RECLASS_DM		INV_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 COST_ITEM_SUPP_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ITEM_LD_DM、 CMPTR_PRICING_ITEM_LD_DM、 PRICING_ITEM_LD_DM、 NET_COST_SUPP_ITEM_LD_DM、 SUPP_CNTRCT_ITEM_DAY_DM、 SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM、 INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DMSUPP_ AVAIL_ITEM_DAY_DMINV_SBC_ LW_DM		このプログラムは、アイテム、ロケーション、部門のいずれかまたはすべてがクローズあるいは再分類されたファクトレコードを処理します。バッチサイクルの最初 (mt_prime の前、factopendm の後) に実行され、アイテム / ロケーション / 部門が再分類またはクローズされているレコードを展開ビューがピックアップしないよう、圧縮表にストップレコードを挿入します。このプログラムの詳細については、第 4 章を参照してください。

プログラム	機能領域	モジュール タイプ	外部データ ソース	ソース表またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたは表	引数	注
factopendm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM PRICING_IL_CUR_DM PROD_ITEM_RECLASS_DM PROD_DEPT_RECLASS_DM ORG_LOC_RECLASS_DM		INV_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 COST_ITEM_SUPP_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ITEM_LD_DM、 CMPTR_PRICING_ITEM_LD_DM、 PRICING_ITEM_LD_DM、 NET_COST_SUPP_ITEM_LD_DM、 SUPP_CNTRCT_ITEM_DAY_DM、 SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM、 INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_ITEM_DAT_DM		このプログラムは、 factclosedm.ksh の直前に実行さ れます。再分類日を経過する と、圧縮表に、新たに再分類さ れたアイテム / ロケーション / 部門のキーを持つ新規レコード を挿入します。このプログラ ムの詳細については、第 4 章を 参照してください。

プログラム	機能領域	モジュール タイプ	外部データ ソース	ソース表またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたは表	引数	注
mt_prime.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		MAINT_LOAD_DT_DM、 TIME_DAY_DM、TIME_WK_DM		datekey.txt、 nextdatekey.txt、 currdayidnt.txt、 nextdayidnt.txt、 currwkidnt.txt、 wkenddt.txt、 nextwkidnt.txt mthidnt.txt、 MAINT_LOAD_DT_DM、 PROGRAM_STATUS_DM		このプログラムは、処理日 (curr_load_dt) を特定の日付に 設定するか、引数が指定され ていない場合は、1 日分インク リメントします。このプログラ ムは、time_day_dm と time_wk_dm とを結合すること により、\$etc ディレクトリに 存在する、日付関連のすべての テキストファイルに値を入力し ます。

プログラム	機能領域	モジュール タイプ	外部データ ソース	ソース表またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたは表	引数	注
orapartseed.ksh	バッチ後 メンテナンス	メンテナンス		cur 表		パーティション化された、圧縮 データマート表	table_name cur_table_ nametable_ level	パーティション化された、圧縮 データマートの場合、このプロ グラムは、cur_table から得た 最新の日付を使用して、新規 パーティションの最初の日付を シーディングします。このプロ グラムは、Oracle クライアン トにのみ適用します。引数の説 明: table_name は、パーティ ション化されたターゲット表の 名前です。cur_table_name は、 パーティション化されたター ゲット表に関連付けられたカレ ントポジション表の名前です。 table_level は、パーティション 化されたターゲット表のレベル (DAY または WEEK) を指し ます。

プログラム	機能領域	モジュール タイプ	外部データ ソース	ソース表またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたは表	引数	注
seasonopendm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		SEASN_DMPROD_ SEASN_ITEM_MTX_DM INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 INV_IL_CUR_DM		INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 INV_IL_CUR_DM、 INV_ITEM_LD_DM、 INV_ITEM_LW_DM		アイテムが別の製品シーズンに移行するとき、新規の prod_seasn_key が item_key と関連付けられます。この変更は、prod_seasn_key が格納された圧縮ファクト（つまり在庫ポジション）に反映する必要があります。シーズンに変化が生じた場合、Seasnopendm に、在庫ポジションのデータマートファクトが保持されます。



## プログラムタイプおよびオペレーションタイプの説明

一部の例外を除き、すべての RDW RIB-ETL モジュールには、プログラムタイプおよびオペレーションタイプが含まれます。プログラムタイプおよびオペレーションタイプは、特定のディメンションまたはファクト RDW RIB-ETL ライブラリに対して、データの処理方法を伝えます。次の表にプログラムタイプおよびオペレーションタイプのすべての組み合わせを詳述します。

ファクトタイプに関しては、次の状況を想定しています。

- すべてのファクトモジュールには、データを正確に処理するための有効なプログラムタイプとオペレーションタイプが必要です。
- ファクトライブラリは、次の方法で大半のデータを取り扱います。
  - 1 つ以上の一時表を作成する。
  - 一時表を分析する。
  - 一時表上にインデックスを作成する。
  - 一時表に基づき、ターゲット表に対して更新 / 挿入を行う。
  - プログラムステータスを "completed" に更新する。
- 以上の項目に対するすべての例外は、プログラムタイプおよびオペレーションタイプの各説明フィールドに記載されています。
- ほとんどの場合、一時表はファクト処理を支援する目的で作成されます。この一時表は、後続フローのモジュール用に保持されます。一時表を最後に使用するモジュールがこれをドロップします。

ファクトタイプ

BASEFACT\_INS

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_INS	<ul style="list-style-type: none"><li>新規レコードの挿入だけを行うモジュールで使用されます。</li><li>ターゲット表のポジショナルレコードに対して、レコードのポジショナルファクトが変更されている場合は、新規ポジションが今日の日付でターゲット表に挿入されます。</li></ul>	INSERT	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、一時表に直接追加されます。</li><li>一時表は、生成されることも、使用されることもありません。</li></ul>
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、一時表に直接追加されます。</li><li>この一時表は、後続フローのモジュール用に保持されます。</li></ul>

BASEFACT\_UPD

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_UPD	<ul style="list-style-type: none"><li>新規レコードの挿入または現在のレコードの更新を行うモジュールで使用されます。</li><li>挿入と更新に使用する当日分のデータが一時表に保持されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、一時表からターゲット表へ更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_L	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、一時表に挿入されます。</li><li>この一時表は、後続のスケジューリングフローにおいて、このモジュール自体および別のモジュールによる使用に備えて保持されます。</li><li>モジュール自体が、当該のライブラリによって作成された一時表に基づいて、更新 / 挿入を実行します。必要な集計がもう存在しない場合は、プログラムステータスを "completed" に更新し、一時表をドロップする必要があります。</li><li>日レベルの圧縮表ではすべて、このオペレーションタイプを使用する必要があります。</li></ul>
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、一時表からターゲット表に挿入され、更新されます。</li><li>この一時表は、後続スケジューリングフローのモジュール用に保持されます。</li></ul>

BASEFACT_INCR_UPD			
プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_INCR_UPD	<ul style="list-style-type: none"><li>新規レコードの挿入および既存のレコードの差分更新を行うモジュールで使用されます。</li><li>第 1 の一時表に、当日分のデータが保持されます。</li><li>第 2 の一時表には、当日までの差分更新が保持されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>両方の一時表からのレコードがマージされ、ターゲット表に対して、更新 / 挿入が行われます。</li><li>第 1 の一時表はドロップされます。</li><li>第 2 の一時表はドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none"><li>両方の一時表からのレコードがマージされ、ターゲット表に対して、更新 / 挿入が行われます。</li><li>第 1 の一時表は、後続スケジューリングフローのモジュール用に保持されます。</li><li>第 2 の一時表はドロップされます。</li></ul>

FACT_AGG_POS			
プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_AGG_POS	<ul style="list-style-type: none"><li>時間に関するポジショナルデータを保持するモジュールで使用されます。製品階層の下位レベルから上位レベルへ集計します。</li><li>集計フローにおいて、先行モジュールの一時表を使用して、当日分のデータを保持します。</li></ul>	INSERT	<ul style="list-style-type: none"><li>ターゲット表上のレコードは、集計フローにおける先行モジュールで作成された一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_F	<ul style="list-style-type: none"><li>一時表は、モジュールによって指定されたパラメータによって作成されます。</li><li>ターゲット表上のレコードは、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li><li>先行モジュールからの、既存の一時表はすべてドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_G	<ul style="list-style-type: none"><li>一時表は、モジュールによって指定されたパラメータ（製品階層に対する標準集計など）によって作成されます。</li><li>ターゲット表上のレコードは、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表は、フローにおける別のモジュール用に保持されます。</li><li>先行モジュールからの、既存の一時表はすべてドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_GF	<ul style="list-style-type: none"><li>一時表は、モジュールによって指定されたパラメータ（製品階層に対する標準集計など）によって作成されます。</li><li>ターゲット表上のレコードは、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li><li>先行モジュールからの、既存の一時表はすべてドロップされます。</li></ul>

FACT_AGG_STD			
プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_AGG_STD	<ul style="list-style-type: none"><li>時間階層および製品階層の下位レベルから上位レベルへ集計するモジュールで使用されます。</li><li>第 1 の一時表が作成され、当日分のデータが保持されます。</li><li>第 2 の一時表が作成され、ターゲット表上の既存のデータおよび当日のデータからの集計結果が保持されます。</li><li>オペレーションタイプのモジュールは、接尾辞 S が付くかどうかで、一時表に使用する表領域が異なります。バッチスケジュールにおける先行モジュールに接尾辞 S 付きのオペレーションタイプが使用されている場合、その直後のモジュールには接尾辞 S の付かないオペレーションタイプが使用されている必要があります。その逆も同様です。プログラムタイプかオペレーションタイプかの問題ではなく、バッチスケジュールの順序の問題です。</li></ul>	UPDATE (UPDATE または UPDATE_S)	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、新しい一時表に基づいて更新され、ターゲット表に追加されます。</li><li>集計フローにおける先行モジュールからの一時表は、このフローの別のモジュール用に保持されます。</li><li>現行モジュールからの一時表は、スケジューリングフローにおける別のモジュール用に保持されます。</li></ul>
		UPDATE_F (UPDATE_F または UPDATE_FS)	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、新しい一時表に基づいて更新され、ターゲット表に追加されます。</li><li>集計フローにおける先行モジュールからの一時表はドロップされます。</li><li>現行モジュールからの一時表はドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_M (UPDATE_M または UPDATE_MS)	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、新しい一時表に基づいて更新され、ターゲット表に追加されます。</li><li>集計フローにおける先行モジュールからの一時表はドロップされます。</li><li>現行モジュールからの一時表は、後続フローにおける別のモジュール用に保持されます。</li></ul>

FACT\_MATRIX

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_MATRIX	<ul style="list-style-type: none"><li>計算に対する例外コードまたは追加コードが必要なモジュールや、標準以外の追加のディメンション結合が必要なモジュールで使用されます。</li><li>一時表は、モジュールによって指定されたパラメータに基づいて作成されます。</li><li>オペレーションタイプのモジュールは、接尾辞 S が付くかどうかで、一時表に使用する表領域が異なります。バッチスケジュールにおける先行モジュールに接尾辞 S 付きのオペレーションタイプが使用されている場合、その直後のモジュールには接尾辞 S の付かないオペレーションタイプが使用されている必要があります。その逆も同様です。プログラムタイプかオペレーションタイプかの問題ではなく、バッチスケジュールの順序の問題です。</li></ul>	INSERT	<ul style="list-style-type: none"><li>レコードは、ターゲット表に直接追加されます。</li><li>一時表は、生成されることも、使用されることもありません。</li></ul>
		UPDATE (UPDATE または UPDATE_S)	<ul style="list-style-type: none"><li>ターゲット表上のレコードは、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li><li>また、集計フローにおける先行モジュールからの一時表もドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none"><li>ターゲット表のすべてのレコードは、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表は、別のモジュール用に保持されます。</li><li>また、集計フローにおける先行モジュールからの一時表もドロップされます。</li></ul>

FACT\_STANDALONE

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_STANDALONE	<ul style="list-style-type: none"><li>ファクトライブラリを呼び出す必要のないファクトモジュールで使用されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>既定のオペレーションです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。</li></ul>

メンテナンスタイプ

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
MAINTENANCE	メンテナンス作業を実行するモジュールのうち、ジェネリックライブラリだけを呼び出すモジュールで使用されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。</li></ul>

## ディメンションタイプ

ディメンションタイプに関しては、次の状況を想定しています。

- すべてのディメンションモジュールには、データを正確に処理するための有効なプログラムタイプとオペレーションタイプが必要です。
- ディメンションライブラリは、次の方法で大半のデータを取り扱います。
  - 1 つ以上の一時表を作成する。
  - 一時表を分析する。
  - 一時表上にインデックスを作成する。
  - 新規レコードおよびメジャーチェンジされたレコードの代理キーを生成する。
  - `maint_dim_key_dm` 表上の `next_key_val` を更新する。
  - 一時表に基づき、ターゲット表に対して更新 (挿入) を行う。
  - プログラムステータスを "completed" に更新する。
- 以上の項目に対するすべての例外は、プログラムタイプおよびオペレーションタイプの各説明フィールドに記載されています。
- ほとんどの場合、一時表はディメンション処理を支援する目的で作成されます。この一時表は、後続フローのモジュール用に保持されます (`item_key_lkup_temp` など)。



ディメンションタイプ

DIM_TOP			
プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、すべてのメンテナンスカラムを持つ、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュール (通貨などの単独ディメンション) で使用されます。</li><li>挿入は、新規レコードとして扱われ、一時表 "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。</li><li>削除とマイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時表 "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。</li></ul>	INSERT (UPDATE と同様)	
		UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>両方の一時表がドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_L	<ul style="list-style-type: none"><li>モジュールが処理を続けることができるように、両方の一時表が保持されます。</li><li>このモジュールでは、プログラムステータスを手動で "completed" に更新します。</li></ul>

DIM_TOP_F			
プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP_F	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、一部のメンテナンスカラムを持つ、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュールで使用されます。</li><li>挿入は、新規レコードとして扱われ、一時表 "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。</li><li>削除は、削除レコードとして扱われ、一時表 "delete" に挿入されます。</li><li>マイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時表 "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。</li></ul>	UPDATE_D	<ul style="list-style-type: none"><li>これらの 3 つの一時表はすべてドロップされます。</li></ul>
		UPDATE_DL	<ul style="list-style-type: none"><li>モジュールが処理を完了できるように、3 つの一時表はすべて保持されます。</li><li>このモジュールでは、プログラムステータスを手動で "completed" に更新します。</li></ul>

DIM\_TOP\_IDNT

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP_IDNT	<ul style="list-style-type: none"><li>ディメンション識別子に対する代理キーも、メンテナンスカラムもいっさい持たない、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュールで使用されます。</li><li>挿入は、新規レコードとして扱われ、一時表 "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。</li><li>削除は、削除レコードとして扱われ、一時表 "delete" に挿入されます。</li><li>マイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時表 "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>一時表 "delete" は使用しません。</li><li>モジュールが処理を完了できるように、"insert" と "update" の両方の一時表が保持されます。</li></ul>
		UPDATE_D	<ul style="list-style-type: none"><li>モジュールが処理を完了できるように、3 つの一時表はすべて保持されます。</li></ul>

DIM\_LOW

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_LOW	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、すべてのメンテナンスカラムを持つ、下位レベルの階層におけるディメンションモジュールで使用されます。</li><li>レコードは、親表と結合されて、親情報に値が入力されます。</li><li>挿入およびメジャーチェンジを伴う挿入は、新規レコードとして扱われ、一時表 "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。</li><li>削除、メジャーチェンジを伴う削除、およびマイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時表 "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。</li><li>モジュール内の定義によっては、メジャーチェンジが行われたすべてのレコードを保持するための一時表 (reclass) が作成される場合もあります。この一時表は、後にメンテナンスモジュールによって使用されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。</li></ul>

DIM\_MTX

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_MTX	<ul style="list-style-type: none"><li>複数ディメンション間の関係を保持するマトリックスモジュールで使用されます。</li></ul>	INSERT	<ul style="list-style-type: none"><li>ターゲット表上のすべてのレコードが削除されます。</li><li>テキストファイルからのすべての新規レコードは、ターゲット表に挿入される前に、対応する代理キーが割り当てられます。</li><li>一時表は、生成されることも、使用されることもありません。</li></ul>
		UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>テキストファイルからのレコードには、対応する代理キーが割り当てられます。レコードには、新規挿入のほか、メジャーチェンジを伴う挿入があり、これらは一時表に挿入されます。</li><li>ターゲット表は、一時表に基づいて更新されます。</li><li>この一時表はドロップされます。</li></ul>

DIM\_LKUP

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_LKUP	<ul style="list-style-type: none"><li>ディメンション表のサブセットに値を入力するモジュールで使用されます。</li></ul>	INSERT	<ul style="list-style-type: none"><li>既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。</li></ul>

DIM\_STANDALONE

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_STANDALONE	<ul style="list-style-type: none"><li>ライブラリを呼び出す必要のないモジュールで使用されます。</li></ul>	UPDATE	<ul style="list-style-type: none"><li>既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。</li></ul>



## 第 9 章 アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のフラットファイルの仕様

この章には、RDW のディメンションおよびファクト処理に対する入力として機能する、API の全テキストファイルの仕様が説明されています。フィールドの説明およびフォーマット情報に加え、新データに対する基本的なビジネスルールも定義されています。

### API フォーマット

各 API は、ビジネスルールとファイルレイアウトで構成されます。すべての API に共通の一般的なビジネスルールおよび標準も存在します。ビジネスルールは、RDW の内部に保持された情報の整合性を保つために使用されます。さらに、各 API には、特定の API に固有の一連のルールも含まれます。

### ファイルレイアウト

- フィールド名: テキストファイルに含まれるフィールドの名前です。
- 説明: フィールドに保持される情報の簡単な説明です。
- 最大カラム長: 使用できる最大フィールド長を示します。フィールドがこの長さを超えないようにする必要があります。
- データ型 / フォーマット: 有効なデータ型 (Character、Numbers、Date) を指定します。
  - Character: アルファベット (a、b、c...)、数値 (1、2、3...)、特殊文字 (\$、#、&...) を保持できます。
  - Numbers: 数値 (1、2、3...) だけを保持できます。
  - Date: 年、月、日の特定の組み合わせを保持できます。

フィールドに必要なフォーマット情報は、「フォーマット」欄に示します。たとえば、Number(18,4) は数値の精度とスケールを示します。第 1 の値は精度を表し、常に最大カラム長と一致します。第 2 の値はスケールを表し、小数点以下の桁数を指定します。

- 必須フィールド: フィールドに NULL 値を格納できるかどうかを示します。この欄は "Yes" または "No" で示されます。"Yes" は、フィールドが NULL 値を格納できないことを表します。"No" は、フィールドが必要に応じて NULL 値を格納できることを表します。

## すべての API に共通の一般的なビジネスルールおよび標準

- ディメンションデータの完全な "スナップショット":  
ディメンション情報が変更されたかどうかに関係なく、大半の RDW ディメンションコードには、ターゲット表上の正確なデータを取得するために、最新のディメンションデータがすべて必要になります。完全なディメンションデータがテキストファイルとして指定されていない場合、結果として、無効 (不正確) なディメンションデータが取得されてしまう場合があります。たとえば、アクティブなアイテムを `prditmdm.txt` ファイルから除外した場合、データウェアハウスにおいてそのアイテムは、抽出日時点でクローズされてしまいます。アイテムの売上を処理するときに、ファクトプログラムは、対応する "アクティブ" なディメンションレコードを見つけることができません。このような理由により、各 API に固有のビジネスルールで特に注記されていない限り、各テキストファイルにディメンションデータの完全なスナップショットを指定する必要があります。
- 前後に付加された値:  
テキストファイルに入力された値は、そのまま処理されてデータマート表にロードされます。そのため、前後に追加されたゼロ、文字、NULL 値はそのまま処理されます。API のビジネスルールで特に注記されていない限り、RDW 側で、前後に付加された値が取り除かれることはありません。
- 区切り文字:

**注:** 区切り文字はデータには含まれません。

- ディメンションのテキストファイルの各フィールドは、パイプ文字 (|) で区切られている必要があります。たとえば、`prddivdm.txt` のレコードは次のように区切られています。

```
1000|1|Homewares|2006|Henry Stubbs|2302|Craig Swanson
```

- ファクトのテキストファイルの各フィールドは、セミコロン文字 (;) で区切られている必要があります。たとえば、`exchngratedm.txt` のレコードは次のように区切られています。

```
WIS;20010311;1.73527820592648544918
```

詳細については、『RIB-ETL 1.6.1 プログラマーズガイド』を参照してください。



- レコードの終端を示すキャリッジリターン:  
テキストファイルの各レコードは、行末のキャリッジリターンで区切られている必要があります。たとえば、それぞれ 4 つの値を保持する 3 つのレコードは次のように指定します。

```
1|2|3|4
5|6|7|8
9|10|11|12
```

次のように 1 行につなげて指定することはできません。

```
1|2|3|4|5|6|7|8|9|10|11|12
```

- 文字フォーマット:  
すべての API には ASCII テキスト文字だけが含まれます。

## ディメンション

### cmptrdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、競合他社の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `cmptr_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CMPTR_IDNT	競合他社の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_DESC	競合他社の説明または名前です。	40	Character	No
CMPTR_ADDR	競合他社の住所です。	100	Character	No
CMPTR_CITY_NAME	競合他社の市名です。	20	Character	No
CMPTR_ST_OR_PRVNC_CDE	競合他社の都道府県を表すコードです。	3	Character	No
CMPTR_CNTRY_CDE	競合他社の国名です。	3	Character	No

## cmptrlmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションと競合他社ロケーション間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、loc\_idnt と cmptr\_loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_IDNT	競合他社店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes
TARGET_CMPTR_IND	このフィールドは、小売業者の店舗に対する競合他社を識別します。Price Management で推奨売価を計算するときに、ゾーン内の最優先店舗とともに、ここに指定された競合他社の売価が使用されます。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	Yes
CMPTR_RANK	このフィールドには、各競合他社店舗のランクが格納されます。	2	Number(2)	No
DISTANCE	このフィールドには、小売業者の店舗と競合他社の店舗との距離が格納されます。	4	Number(4)	No
DISTANCE_UOM_CDE	このフィールドには、距離に使用する計測単位のコ드가格納されます。 有効な値は、1 = 'Miles' と 2 = 'Kilometers' です。	6	Character	No
DISTANCE_UOM_DESC	このフィールドには、距離に使用する計測単位の説明が格納されます。	40	Character	No

## cmptrlocdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、競合他社とその各ロケーションについて、履歴以外の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、cmptr\_loc\_idnt と cmptr\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CMPTR_LOC_IDNT	競合他社店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_IDNT	競合他社の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_DESC	競合他社店舗の説明です。	30	Character	No
CMPTR_LOC_ADDR	競合他社店舗の住所です。	100	Character	No
CMPTR_LOC_CITY_NAME	競合他社店舗の市名です。	20	Character	No
CMPTR_LOC_ST_OR_PRVNC_CDE	競合他社店舗の都道府県です。	3	Character	No
CMPTR_LOC_CNTRY_CDE	競合他社店舗の国名です。	3	Character	No
ESTIMATED_VOLUME	このフィールドは、競合他社のロケーションに割り当てられ、競合他社の年間見積もり売上ボリュームを示します。	18	Number(18,4)	No
CMPTR_CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意の識別子です。たとえば、USD は、US ドルに対応する現地通貨コードです。	3	Character	Yes

## crnycddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、通貨コード情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ crncy\_cde\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意の識別子です。たとえば、USD は、US ドルに対応する現地通貨コードです。	10	Character	Yes
CRNCY_CDE_DESC	通貨コードの説明です。たとえば、USD の場合は "US ドル" などと説明されます。	30	Character	Yes

## custacctndm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客とアカウント番号との関係が格納されます。これにより、アカウント番号を特定の顧客にリンクすることができます。同じアカウントを持つ顧客が 2 人いる場合、このファイルには、最初にそのアカウントを取得した顧客だけを格納できます。
- このテキストファイルは、cust\_idnt、acct\_nbr、acct\_type\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes
ACCNT_NBR	顧客のアカウント番号です (当座預金、クレジットカード、ロイヤルティカードのアカウントなど)。	30	Character	Yes
ACCNT_TYPE_IDNT	アカウントタイプの一意の識別子です。	3	Character	Yes
ACCNT_TYPE_DESC	アカウントタイプの説明です (当座預金、VISA、Master カードなど)。	30	Character	Yes
ACCNT_GRP_IDNT	アカウントグループの一意の識別子です。	3	Character	Yes
ACCNT_GRP_DESC	アカウントグループの説明です (クレジットカード、ロイヤルティカードなど)。	30	Character	Yes

## custclstrdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、すべての顧客群とその説明が格納されます。このデータは外部ソースから取り込む必要があります。
- このテキストファイルは、同じ `cust_clstr` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_CLSTR_KEY	CUST 群の一意のキー です。	4	Number(4)	Yes
CUST_CLSTR_DESC	この顧客群の説明または名 前です。	30	Character	No
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes

## custclstrimdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルは、アイテムと顧客群間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、`cust_clstr_key` と `item_idnt` の同じ組み合わせに対し  
て重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_CLSTR_KEY	CUST 群の一意のキー です。	4	Number(4)	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes

## custdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `cust_idnt` に対して重複するレコードを格  
納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes
CUST_FIRST_NAME	顧客の名です。	40	Character	Yes
CUST_LAST_NAME	顧客の姓です。	40	Character	Yes
CUST_MIDDLE_NAME	顧客のミドルネームのイニシャルです。	40	Character	No
CUST_TITLE	個人の名前の前に付く呼称です。たとえば、Mr.、Ms.、Mrs.、Dr などがあります。	12	Character	No
CUST_SUFFIX	個人の名名の後に付く称号 (Jr.、Sr. など) です。	12	Character	No
CUST_LAST_NAME_MATERNAL	顧客の母方の姓です。	40	Character	No
CUST_LAST_NAME_PATERNAL	顧客の父方の姓です。	40	Character	No
CUST_HOME_ADDR_1	顧客自宅住所の 1 行目 (番地など) です。	30	Character	No
CUST_HOME_ADDR_2	顧客自宅住所の 2 行目 (アパート名など) です。	30	Character	No
CUST_HOME_CITY	顧客の自宅所在地の市です。	25	Character	No
CUST_HOME_COUNTY	顧客の自宅所在地の郡です。	30	Character	No
CUST_HOME_ST_OR_PRVNC_CDE	顧客の勤務先の国コードです。	3	Character	No
CUST_HOME_ST_OR_PRVNC_DESC	顧客の自宅所在地の都道府県です。	80	Character	No
CUST_HOME_CNTRY_CDE	顧客の自宅所在地の国コードです。	3	Character	No
CUST_HOME_PSTL_CDE	郵便サービスなどで顧客の自宅所在地のエリアを識別するためのコードです。	10	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_HOME_PSTL_ CDE_4	顧客の自宅所在地のエリアをより具体的に特定するための、拡張された郵便番号です。	4	Character	No
CUST_WORK_ADDR_1	顧客の勤務先住所の 1 行目 (番地など) です。	30	Character	No
CUST_WORK_ADDR_2	顧客の勤務先住所の 2 行目 (アパート名など) です。	30	Character	No
CUST_WORK_CITY	顧客の勤務先所在地の市です。	25	Character	No
CUST_WORK_COUNTY	顧客の勤務先所在地の郡です。	30	Character	No
CUST_WORK_ST_OR_ PRVNC_CDE	顧客の勤務先所在地の都道府県コードです。	3	Character	No
CUST_WORK_ST_OR_ PRVNC_DESC	顧客の勤務先所在地の都道府県です。	80	Character	No
CUST_WORK_CNTRY_ CDE	顧客の勤務先所在地の国コードです。	3	Character	No
CUST_WORK_PSTL_ CDE	郵便サービスなどで顧客の勤務先所在地のエリアを識別するためのコードです。	10	Character	No
CUST_WORK_PSTL_ CDE_4	顧客の勤務先所在地のエリアをより具体的に特定するための、拡張された郵便番号です。	4	Character	No
CUST_HOME_PHONE	顧客の自宅電話番号です。	30	Character	No
CUST_WORK_PHONE	顧客の勤務先電話番号です。	30	Character	No
CUST_FAX	顧客の FAX 番号です。	30	Character	No
CUST_EMAIL	顧客の電子メールアドレスです。	80	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_HOME_MAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の自宅に送付することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_HOME_PHONE_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の自宅の電話を介して提供することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_WORK_MAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の勤務先に送付することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_WORK_PHONE_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の勤務先の電話を介して提供することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_FAX_ALLWD_ IND	マーケティング情報をFAX を介して提供することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_EMAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を電子メールで送信することをその顧客自身が許可しているかどうかを示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_DT_OF_BIRTH	顧客の誕生日です。		Date (YYYY MMDD)	No
CUST_OCCPN	顧客の職業です。	64	Character	No
CUST_INCOME	顧客の年収です。	18	Number(18,4)	No
CUST_HH_SIZE	何人家族かを示します。	2	Number(2)	No
CUST_CHILD_QTY	顧客の子供の人数です。	2	Number(2)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CUST_MARITAL_CDE	顧客の婚姻区分を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_MARITAL_DESC	顧客の婚姻区分の説明です。	80	Character	No
CUST_GENDER_CDE	顧客の性別を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_GENDER_DESC	顧客の性別の説明です。	80	Character	No
CUST_ETHNIC_CDE	顧客の民族性を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_ETHNIC_DESC	顧客の民族性です。	80	Character	No
CUST_STTS_CDE	顧客のステータスを識別するコードです。	15	Character	No
CUST_STTS_DESC	顧客のステータス (有効 / 無効など) です。	160	Character	No
CUST_TAX_IDNT	政府機関が課税を目的として顧客に割り当てる一意の識別子です。	30	Character	No
CUST_LEGAL_IDNT	政府機関が顧客に割り当てる一意の識別子であり、社会保障番号など、顧客の法的身分を識別するために使用されます。	20	Character	No
CUST_LEGAL_DESC	社会保障番号など、法的身分のタイプを表します。	160	Character	No
CUST_ST_IDNT	都道府県機関が顧客に割り当てる識別子です。これには、運転免許番号が使用される場合があります。	20	Character	No
CUST_TYPE_IDNT	顧客のタイプに対する一意の識別子です。	15	Character	No
CUST_TYPE_DESC	顧客のタイプの説明です (従業員または流通業者など)。	160	Character	No
CUST_EXT_STRAT_IDNT	対外戦略 (顧客の獲得方法) を示す一意の識別子です。	15	Character	No

## emptydm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、従業員のデータが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ empty\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
EMPTY_IDNT	従業員の一意の識別子です。	10	Character	Yes
EMPTY_NAME	従業員の名前です。	30	Character	Yes
EMPTY_ROLE	従業員の役割を示すインジケータです。 C ('C'ashier: キャッシャ)、 S ('S'alesperson: 販売員)、 O ('O'ther: その他) があります。	1	Character	Yes

## geocdedm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、各種の地域コードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ geo\_cde\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
GEO_CDE_IDNT	地域の一意の識別子です。	10	Character	Yes
GEO_CDE_DESC	地域の説明です。	30	Character	No
GEO_AGE	地域の平均年齢です。	4	Number(4,1)	No
GEO_ANCESTRY_CDE	地域の家系コードです。	4	Character	No
GEO_ANCESTRY_CDE_DESC	家系コードの説明です。	30	Character	No
GEO_AUTO_AVAIL_NBR	自動番号です。	3	Number(3,1)	No
GEO_COMMUTE_TIME	地域の平均通勤時間です。	5	Number(5,2)	No
GEO_EDU_LVL_CDE	地域の教育レベルです。	4	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
GEO_EDU_LVL_CDE_DESC	平均教育レベルの説明です。	30	Character	No
GEO_FAMILY_TYPE_CDE	地域の家族タイプコードです。	4	Character	No
GEO_FAMILY_TYPE_CDE_DESC	家族タイプコードの説明です。	30	Character	No
GEO_HOME_NBR_ROOMS	家屋の平均部屋数です。	4	Number(4,1)	No
GEO_HOUSEHOLD_INCOME	地域における平均世帯主所得です。	15	Number(15)	No
GEO_HOUSING_VALUE	地域の平均住宅価格です。	15	Number(15)	No
GEO_INDUSTRY_CDE	地域における産業タイプのコードです。	4	Character	No
GEO_INDUSTRY_CDE_DESC	産業コードの説明です。	30	Character	No
GEO_MALE_TO_FEMALE_RAT	地域の男女比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_PER_CAPITA_INCOME	地域の地域平均所得です。	15	Number(15)	No
GEO_PERSONS_TOT	地域の総人口です。	12	Number(12)	No
GEO_POVERTY_TOT	地域の合計貧困数です。	9	Number(9)	No
GEO_RENT_TO_OWN_RAT	借家と持家の比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_RETIREMENT_INCOME	地域における平均定年退職所得です。	15	Number(15)	No
GEO_URBAN_TO_RURAL_RAT	地域における都市 / 郊外比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_YR_HOME_BUILT	地域における平均築家屋年度です。	4	Number(4)	No

## itmclstrcmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客とアイテム群の関係が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_clstr\_key と cust\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_CLSTR_KEY	アイテム群の一意のキー です。	4	Number(4)	Yes
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes

## maralmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションと市場データ間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、loc\_idnt、mkt\_area\_level1\_idnt、mkt\_area\_level2\_idnt、mkt\_area\_level3\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL3_ IDNT	市場エリアレベル 3 の一 意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL2_ IDNT	市場エリアレベル 2 の一 意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL1_ IDNT	市場エリアレベル 1 の一 意の識別子です。	16	Character	Yes

## maralvldm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場エリアレベル情報が格納されます。
- このテキストファイルは、mkt\_area\_level1\_idnt、mkt\_area\_level2\_idnt、mkt\_area\_level3\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
MKT_AREA_LEVEL3_IDNT	市場エリアレベル 3 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL2_IDNT	市場エリアレベル 2 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL1_IDNT	市場エリアレベル 1 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL3_DESC	市場レベル 3 の説明です。	30	Character	No
MKT_AREA_LEVEL2_DESC	市場レベル 2 の説明です。	30	Character	No
MKT_AREA_LEVEL1_DESC	市場レベル 1 の説明です。	30	Character	No

## mdepdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場部門が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ mkt\_dept\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意の識別子です。	13	Character	Yes
MKT_DEPT_DESC	市場部門の説明です。	30	Character	No
OWNED_FLAG_IND	所有部門を示します。	1	Character	Yes

## mitmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場アイテムが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `mkt_item_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
MKT_ITEM_IDNT	市場アイテムの一意的識別子です。	25	Character	Yes
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意的識別子です。	13	Character	Yes
MKT_ITEM_DESC	市場アイテムの説明です。	40	Character	No
MKT_DEPT_DESC	市場部門の説明です。	30	Character	No
VENDOR_NAME	市場アイテムのベンダー / メーカーです。	30	Character	No
BRAND_NAME	市場アイテムのブランドラベルです。	30	Character	No
FLAVOR_SCENT	市場アイテムの風味または香りです。	30	Character	No
MKT_ITEM_SIZE	市場アイテムのサイズです。	10	Character	No
PROD_TYPE	製品の分類です。	20	Character	No
PACK_TYPE	市場アイテムのパッケージタイプです。	20	Character	No
GENERATION_CDE	UPC が改訂されたかどうかを示す 3 桁の識別子です。	3	Character	No
OWNED_FLAG_IND	所有アイテムを示します。	1	Character	Yes

## orgaradm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、チェーンに含まれるエリアが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `area_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
AREA_IDNT	エリアの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
AREA_DESC	エリアの説明です。	30	Character	No
AREA_MGR_NAME	エリアのマネージャの名前 です。	32	Character	No
CHAIN_IDNT	チェーンの一意の識別子 です。	4	Character	Yes

## orgchandm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーのチャンネルが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `channel_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CHANNEL_IDNT	チャンネルの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
CHANNEL_TYPE	チャンネルのタイプを指定す るコードです。	6	Character	No
CHANNEL_DESC	チャンネルの説明です。	30	Character	No

## orgchndm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーに含まれるチェーンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `chain_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CHAIN_IDNT	チェーンの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
CMPY_IDNT	カンパニーの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
CHAIN_DESC	チェーンの説明です。	30	Character	No
CHAIN_MGR_NAME	チェーンのマネージャの名 前です。	32	Character	No

## orgdisdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、リージョンに含まれるディストリクトが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `distt_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DISTT_IDNT	ディストリクトの一意の識 別子です。	4	Character	Yes
DISTT_DESC	ディストリクトの説明 です。	30	Character	Yes
DISTT_MGR_NAME	ディストリクトの担当マ ネージャの名前です。	32	Character	No
REGN_IDNT	リージョンの一意の識別子 です。	4	Character	Yes

## orgllmdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションとロケーションリスト間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、`loclst_idnt` と `loc_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOCLST_IDNT	ロケーションリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes

## orglocdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ディストリクトに含まれるロケーションが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `loc_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
LOC_DESC	店舗や倉庫の説明または名前です。	30	Character	No
LOC_DESC_10	店舗名の略語 (10 文字) です。	10	Character	No
LOC_DESC_3	店舗名の略語 (3 文字) です。	3	Character	No
LOC_TYPE_DESC	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示す <code>loc_type_cde</code> の説明です。	30	Character	No
DISTT_IDNT	ディストリクトの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DISTT_DESC	ディストリクトの説明です。	30	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CRNCY_CDE_IDNT	通貨の一意の識別子です。	10	Character	No
CRNCY_CDE_DESC	現地通貨コードの説明です。たとえば、USD の場合は "US ドル" などと説明されます。これは、店舗によって選ばれた通貨の説明になります。	30	Character	No
PHY_WH_IDNT	仮想倉庫に割り当てられた実倉庫の一意の識別子です。	10	Character	No
VIRTUAL_WH_IDNT	仮想倉庫の一意の識別子です。	10	Character	No
STOCKHOLD_IND	このカラムは、ロケーションが在庫を保持できるかどうかを示します。非マルチチャネル環境では、常に Y になります。	1	Character	No
CHANNEL_IDNT	マルチチャネル環境において、ロケーションに関連付けられる、チャネルの一意の識別子です。	4	Character	No
LOC_ADDR	店舗または倉庫の住所 (番地) です。	100	Character	No
LOC_CITY_NAME	店舗または倉庫所在地の市です。	32	Character	No
LOC_ST_OR_PRVNC_CDE	店舗または倉庫所在地の都道府県コードです。	7	Character	No
LOC_CNTRY_CDE	店舗または倉庫所在地の国コードです。	3	Character	No
LOC_CNTRY_DESC	店舗または倉庫所在地の国コードの説明または名前です。	30	Character	No
LOC_PSTL_CDE	店舗または倉庫の郵便番号です。	10	Character	No
LOC_MGR_NAME	当該店舗の担当マネージャの名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	32	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_FMT_CDE	ロケーションのフォーマットタイプを示すコードです。店舗ロケーションでのみ有効です。	5	Character	No
LOC_TOT_LINEAR_DISTANCE	ロケーションの合計線形売り場スペースを保持します。	8	Number(8)	No
LOC_SELLING_AREA	ロケーションの合計販売エリアを保持します。	8	Number(8)	No
LOC_PRMTN_ZNE_CDE	ロケーションが属する特売ゾーンを示すコードです。店舗ロケーションでのみ有効です。	5	Character	No
LOC_TRNSFR_ZNE_CDE	ロケーションが属する振替ゾーンを示すコードです。店舗ロケーションでのみ有効です。	5	Character	No
LOC_VAT_REGN	店舗または倉庫が属する付加価値税リージョンの数を保持します。	4	Number(4)	No
LOC_VAT_INCLUDE_IND	付加価値税が店舗の小売価格に含まれるかどうかを示します。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No
LOC_MALL_NAME	店舗所在地のモールの名前を保持します。	20	Character	No
LOC_DEFAULT_WH	クロスドックマスク作成用の既定値として使用する倉庫の数を保持します。倉庫に関連付ける店舗 (倉庫を調達先とする店舗) を決定します。	10	Character	No
LOC_BREAK_PAC_IND	倉庫が取引先ケース数量以下で物流できるかどうかを示します。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No
LOC_REMODEL_DT	前回の店舗改装日を保持します。		Date (YYYY MMDD)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_START_DT	ロケーションの開始日 です。		Date (YYYY MMDD)	No
LOC_END_DT	ロケーションの終了日 です。		Date (YYYY MMDD)	No
LOC_TOT_AREA	ロケーションの合計エリア を保持します。	8	Number(8)	No
LOC_NO_LOAD_ DOCKS	クライアント固有のフィー ルドです。このフィール ドの定義と用途は、クライ アントごとにカスタマイズ可 能です。	4	Character	No
LOC_NO_UNLOAD_ DOCKS	クライアント固有のフィー ルドです。このフィール ドの定義と用途は、クライ アントごとにカスタマイズ可 能です。	4	Character	No
LOC_UPS_DISTT	ロケーションが属する UPS ディストリクトを 示すコードです。店舗ロ ケーションでのみ有効 です。	2	Number(2)	No
LOC_TIME_ZNE	ロケーションが属するタイ ムゾーンを示すコード です。店舗ロケーションで のみ有効です。	10	Character	No
LOC_FASH_LINE_NO	クライアント固有のフィー ルドです。このフィール ドの定義と用途は、クライ アントごとにカスタマイズ可 能です。	9	Character	No
LOC_COMP_CDE	クライアント固有のフィー ルドです。このフィール ドの定義と用途は、クライ アントごとにカスタマイズ可 能です。	2	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_STORE_VOL_CAT	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	2	Character	No
LOC_PAY_CAT	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	1	Character	No
LOC_ACCT_CLK_ID	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	3	Character	No
LOC_FMT_DESC	このロケーションのロケーションフォーマットコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No
LOC_ST_OR_PRVNC_DESC	店舗または倉庫所在地の国コードの説明または名前です。	30	Character	No
LOC_TRNSFR_ZNE_DESC	このロケーションの振替ゾーンコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No
LOC_PRMTN_ZNE_DESC	このロケーションの特売ゾーンコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No
STORE_CLASS	店舗が属するクラスを示すコードを保持します。有効な値は A ~ E です。	1	Character	No
START_ORDER_DAYS	店舗の開店日 (注文の受付を開始する日) までの日数を保持します。	3	Character	No
FORECAST_WH_IND	予測可能倉庫であるかどうかを示します。	1	Character	No

## orgloldm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションリストごとに 1 つのレコードが格納されます。通常、ロケーションリストは、ロケーションをグループ化してレポートを作成するために使用します。
- このテキストファイルは、同じ loclst\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOCLST_IDNT	ロケーションリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CREATE_ID	ロケーションリストを作成した人物のログイン ID です。	30	Character	Yes
LOCLST_DESC	ロケーションリストの一意の識別子の説明または名前です。	40	Character	No

## orgltmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションとロケーション特性間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、loc\_trait\_idnt と loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_TRAIT_IDNT	ロケーション特性の一意の識別子です。店舗ロケーションでのみ有効なエントリーです。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes

## orgltrdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーション特性ごとに 1 つの行が含まれます。ロケーション特性により、共通の特性に基づいて、組織階層のロケーション (店舗) をグループ化することができます。
- このテキストファイルは、同じ loc\_trait\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_TRAIT_IDNT	ロケーション特性の一意的識別子です。店舗ロケーションでのみ有効なエントリーです。	10	Character	Yes
LOC_TRAIT_DESC	ロケーション特性の一意的識別子の説明または名前です。	30	Character	No

## orgrgndm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、エリアに含まれるリージョンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ regn\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REGN_IDNT	リージョンの一意的識別子です。	4	Character	Yes
REGN_DESC	リージョンの説明または名前です。	30	Character	No
REGN_MGR_NAME	リージョンのマネージャの名前を保持します。	32	Character	No
AREA_IDNT	エリアの一意的識別子です。	4	Character	Yes

## phasdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、フェーズが格納されます。フェーズは、1 つのシーズン内の特定の期間です。すべての日は、いずれか 1 つのフェーズに属します。
- このテキストファイルは、phase\_idnt と seasn\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SEASN_IDNT	シーズンの一意の識別子です。	3	Character	Yes
PHASE_IDNT	フェーズの一意の識別子です。	3	Character	Yes
PHASE_START_DT	フェーズの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PHASE_END_DT	フェーズの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PHASE_DESC	フェーズの説明です。	30	Character	No

## plnsendm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、計画シーズンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ pln\_seasn\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PLN_SEASN_IDNT	計画シーズンの一意の識別子です。	6	Character	Yes
PLN_SEASN_START_DT	計画シーズンの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PLN_SEASN_END_DT	計画シーズンの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PLN_SEASN_DESC	計画シーズンの説明です。	30	Character	Yes



## prdcldsm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、部門に含まれるクラスが格納されます。
- このテキストファイルは、dept\_idnt と class\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CLASS_IDNT	クラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	部門の一意的識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_DESC	クラスの説明です。	30	Character	No
CLASS_BUYR_IDNT	クラスのバイヤーの一意的識別子です。	4	Character	No
CLASS_BUYR_NAME	このクラスの製品に対するバイヤーの名前です。	32	Character	No
CLASS_MRCH_IDNT	クラスのマーチャンダイザの一意的識別子です。	4	Character	No
CLASS_MRCH_NAME	このクラスの製品に対するマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

## prdcmpdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニー情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ cmpy\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CMPLY_IDNT	カンパニーの一意的識別子です。	4	Character	Yes
CMPLY_DESC	カンパニーの説明です。	30	Character	No

## prddgrpmdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特徴グループと特徴識別子間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、diff\_idnt と diff\_group\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

FIELDNAME	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_IDNT	特徴の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_GROUP_IDNT	特徴グループの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_TYPE	特徴タイプの一意の識別子です。	6	Character	No

## prdisldm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションおよび取引先に対してアイテムを関連付けるレコードが格納されます。
- このテキストファイルは、supp\_idnt、item\_idnt、loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_PRT_NBR	対応する取引先の製造元番号です。	30	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PRMY_SUPP_IND	アイテムの最優先取引先を維持したり追跡したりするためのインジケータです。Y の場合、そのロケーションにおけるアイテムの最優先取引先であることを示します。	1	Character	No
PRESENTATION_METHOD	指定された寸法を考慮した包装（ある場合）について説明します。	6	Character	No
F_SUPP_CASE_QTY	最優先取引先に発注可能なケースパックのアイテム数です。	12	Number(12,4)	No

### prddcmpdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特徴要素の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ diff\_comp\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_COMP_IDNT	特徴要素の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_COMP_DESC	特徴要素の説明を保持します。	40	Character	No

### prddcmpdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特徴識別子に関連付けられた特徴要素が格納されます。
- このテキストファイルは、diff\_idnt と diff\_comp\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_IDNT	特徴の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_COMP_IDNT	特徴要素の一意の識別子 です。	10	Character	Yes
DIFF_TYPE	特徴タイプを一意に識別 します。	6	Character	Yes

## prddepdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、グループに含まれる部門が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ dept\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DEPT_IDNT	部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes
GRP_IDNT	グループの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
DEPT_DESC	部門の説明です。	30	Character	No
DEPT_BUYR_IDNT	部門のバイヤーの一意の識 別子です。	4	Character	No
DEPT_BUYR_NAME	この部門の製品に対するバ イヤーの名前です。	32	Character	No
DEPT_MRCH_IDNT	部門のマーチャンダイザの 一意の識別子です。	4	Character	No
DEPT_MRCH_NAME	この部門の製品に対する マーチャンダイザの名前 です。	32	Character	No
PRFT_CALC_TYPE_ CDE	部門の収益を原価ベースで 計算するか、売価ベースで 計算するかを決定する一意 のコードです。	1	Character	No
PRFT_CALC_TYPE_ DESC	部門の収益計算方法の説明 です。一般に、原価または 売価のいずれかになります。	30	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PURCH_TYPE_CDE	部門におけるアイテムの在庫タイプ (標準在庫または委託品在庫) を示すコードです。	1	Character	No
PURCH_TYPE_DESC	部門における商品タイプ (標準在庫または委託品在庫) の説明です。	30	Character	No
BUD_INT	予算上の売上率を保持します。これは、売価に対する値入率と同義です。	12	Number(12,4)	No
BUD_MKUP	予算上の値入率を保持します。これは、原価に対する値入率と同義です。	12	Number(12,4)	No
TOTL_MKT_AMT	部門に対して見込まれる市場金額合計です。	18	Number(18,4)	No
MKUP_CALC_TYPE_CDE	部門に対して値入をどのように計算するかを決定するコードです。	1	Character	No
MKUP_CALC_TYPE_DESC	部門の値入計算方法の説明です。	30	Character	No
OTB_CALC_TYPE_CDE	部門の仕入予算が原価をベースとするか、売価をベースとするかを決定するコードです。	1	Character	No
OTB_CALC_TYPE_DESC	仕入予算を原価ベースで計算するか、売価ベースで計算するかについての説明です。	30	Character	No

## prddgrpdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特徴グループの情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `diff_group_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_GROUP_IDNT	特徴グループの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_TYPE	特徴タイプを一意に識別します。	6	Character	No
DIFF_GROUP_DESC	特徴グループの説明です。	40	Character	No

## prddiffdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムのすべて特徴識別子のほか、これらに関連付けられた NRF 産業コードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ diff\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_IDNT	特徴の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_TYPE	特徴タイプを一意に識別します。	6	Character	No
DIFF_DESC	特徴の説明です。	30	Character	No
INDUSTRY_CDE	サイズに対して考えられるすべての組み合わせを表す一意の番号です。	10	Character	No
INDUSTRY_SUBGROUP	色の範囲のグループをすべて表す一意の番号です。	10	Character	No

## prddivdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーに含まれるディヴィジョンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ div\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIV_IDNT	ディヴィジョンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CMPY_IDNT	カンパニーの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DIV_DESC	ディヴィジョンの説明です。	30	Character	No
DIV_BUYR_IDNT	ディヴィジョンのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
DIV_BUYR_NAME	ディヴィジョンのバイヤーの名前です。	32	Character	No
DIV_MRCH_IDNT	ディヴィジョンのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
DIV_MRCH_NAME	ディヴィジョンのマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

## prddtypdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特徴タイプの情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `diff_type_key` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DIFF_TYPE_KEY	特徴タイプに対する一意の番号を保持する代理キーです。	2	Number(2)	Yes
DIFF_TYPE	特徴タイプを一意に識別します。	6	Character	Yes
DIFF_TYPE_DESC	特徴タイプの説明です。	40	Character	Yes

## prdgrpdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ディヴィジョンに含まれるグループが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `grp_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
GRP_IDNT	グループの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DIV_IDNT	ディヴィジョンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
GRP_DESC	グループの説明です。	30	Character	No
GRP_BUYR_IDNT	グループのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
GRP_BUYR_NAME	グループのバイヤーの名前です。	32	Character	No
GRP_MRCH_IDNT	グループのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
GRP_MRCH_NAME	グループのマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

## prditmclstrdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテム群が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `item_clstr_key` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_CLSTR_KEY	アイテム群の一意のキーです。	4	Number(4)	Yes
ITEM_CLSTR_DESC	アイテム群の説明です。	30	Character	No
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes



## prditmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、サブクラス、クラス、部門に含まれるアイテムが格納されます。サブクラス、クラス、部門の組み合わせにより、アイテムが一意に識別されます。たとえば、サブクラス 10 が異なるクラスに属していて、2 つの異なるサブクラスを表す場合、アイテム 100 をサブクラス 10 によって識別することはできません。アイテム 100 は、サブクラス、クラス、部門の組み合わせに属しています。
- このテキストファイルは、同じ item\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意的識別子です。	25	Character	Yes
LEVEL1_IDNT	アイテムファミリの第 1 レベルの一意的識別子です。	25	Character	No
LEVEL2_IDNT	アイテムファミリの第 2 レベルの一意的識別子です。	25	Character	No
LEVEL3_IDNT	アイテムファミリの第 3 レベルの一意的識別子です。	25	Character	No
ITEM_LEVEL	アイテムが 3 つのレベルのうちのどのレベルに属するかを示す番号です。有効な値は 1、2、3 です。	1	Number(1)	Yes
TRAN_LEVEL	アイテムのファミリに対し、3 つのレベルの取引のうちのどの取引が発生するかを示す番号です。有効な値は 1、2、3 です。	1	Number(1)	Yes
DIFF_1	特徴または特徴グループの一意的識別子です。	10	Character	No
DIFF_2	特徴または特徴グループの一意的識別子です。	10	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PACK_IND	アイテムがパックであるかどうかを示すインジケータです。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No
PACK_SELLABLE_CDE	パックが販売可能であるかどうかを示すコードです。販売可能パックとは、1 パックとして販売できるアイテムのグループのことです。これには、発注可能パックとして届けられる場合と、小売業者自身がアイテムを包装して、パックとして販売する場合とがあります。たとえば、シャンプーとコンディショナーを組み合わせて、パックとして販売する場合があります。	6	Character	No
PACK_SELLABLE_DESC	販売可能パックの説明です。	40	Character	No
PACK_SIMPLE_CDE	シンプルパックであるかどうかを示すコードです。シンプルパックとは、単一のアイテムを複数集めて、それを 1 パックとして販売するパックのことです。たとえば、コーラ 12 本パックなどがあります。	6	Character	No
PACK_SIMPLE_DESC	シンプルパックの説明です。	40	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PACK_ORDERABLE_ CDE	パック発注タイプ (ベン ダーまたはバイヤー) を 示すコードです。内容がバ イヤーによって指定される パックのことを発注可能な バイヤーパックといい ます。ベンダーによって パッケージ化され、その単 位で発注されるパックのこ とを、発注可能なベンダー パックといいます。たとえ ば、ベンダーまたはバイ ヤーによる、コーラの 12 本パックなどがあります。	6	Character	No
PACK_ORDERABLE_ DESC	パック発注タイプの説明 です。	40	Character	No
PACKAGE_UOM	パッケージサイズに関連付 けられた計測単位です。	4	Character	No
PACKAGE_SIZE	パッケージに印刷される製 品のサイズです (24 オン スなど)。	12	Number(12,4)	No
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意的識別子 です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	製品階層において、アイテ ムが属するクラスの一意的 識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	製品階層において、アイテ ムが属する部門の一意的識 別子です。	4	Character	Yes
ITEM_DESC	アイテムの詳細な説明 です。この説明は、システ ム全体で使用され、オンラ インユーザーがアイテムを 識別するのに役立ちます。	160	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_SHRT_DESC	アイテムの簡単な説明 です。これが、POS にダ ウンロードされる既定の説 明になります。	30	Character	No
ITEM_NBR_TYPE_CDE	アイテムのタイプを指 定するコードです。この フィールドに有効な値とし ては、ITEM、UPC-A、 EAN13、ISBN などがあ ります。	6	Character	No
ITEM_NBR_TYPE_ DESC	ITEM_NBR_TYPE_CDE の 説明です。有効な値には、 Retek アイテム番号、UPC- A、EAN13、ISBN などが あります。	40	Character	No
STND_UOM_CDE	計測単位の一意的識別子 です (ポンドの場合は LBS など)。	6	Character	No
STND_UOM_DESC	UOM_CDE の具体的な説 明です。たとえば、LBS の場合は "ポンド" のよう に表されます。	40	Character	No
FORECAST_IND	外部の予測システムと連 動するアイテムかどうかを 示すインジケータです。有 効な値は Y と N です。	1	Character	Yes

## prditmldm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムリストごとに 1 つの行が含まれます。通常、アイテムリストは、アイテムをグループ化してレポートを作成するために使用します。
- このテキストファイルは、同じ itemlst\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEMLST_IDNT	アイテムリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CREATE_ID	アイテムリストを作成した人物のログイン ID です。	30	Character	Yes
ITEMLST_DESC	アイテムリストの一意の識別子の説明です。	40	Character	No

### prditmlmdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムリストとアイテム識別子間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、itemlst\_idnt と item\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEMLST_IDNT	アイテムリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

### prditmltmdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、製品ディメンションの製品ロケーション特性ルックアップマトリックスのレコードが格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt と loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LAUNCH_DT	ロケーションで、アイテムが最初に販売される日付を保持します。		Date (YYYY MMDD)	No
DEPOSIT_CDE	預金がロケーションのこのアイテムに関連付けられているかどうかを示します。	6	Character	No
FOOD_STAMP_IND	ロケーションで食料品クーポンが承認されているアイテムかどうか示します。	1	Character	No
REWARD_ELIGIBLE_IND	アイテムがロケーションのさまざまなタイプのボーナスポイントつまり賞与プログラムに適用されるかどうかを示します。	1	Character	No
NATL_BRAND_COMP_ITEM	現在のアイテムの比較対象である全国ブランドアイテムを示します。	25	Character	No
STOP_SALE_IND	そのロケーションでのアイテムの販売を直ちに停止することを示します。	1	Character	No
ELECT_MKT_CLUBS	ロケーションでアイテムが属するエレクトリックマーケティングクラブを示すコードを保持します。	6	Character	No
STORE_REORDERABLE_IND	店舗がアイテムを再発注できるかどうかを示します。	1	Character	No
FULL_PALLET_ITEM_IND	店舗がフルパレットのみでアイテムを再発注する必要があるかどうか示します。	1	Character	No
DEPOSIT_CDE_DESC	預金がロケーションのこのアイテムに関連付けられているかどうかを示します。	40	Character	No

## prditmuddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、詳細レベルのユーザー定義属性 (UDA) と追跡レベルのアイテムの識別子との間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、item\_uda\_dtl\_idnt と item\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_IDNT	UDA のすべての値 (テキスト、日付、LOV) に対する一意の識別子です。	256	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_DESC	UDA 値、テキスト、日付の説明です。	250	Character	No

## prditmuhdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザー定義属性 (UDA) の各種の値が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ item\_uda\_head\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_TYPE_CDE	UDA タイプを指定するコードです。有効な値には、DT=日付、LV=値リスト、FF=自由形式テキスト、などがあります。	3	Character	Yes
ITEM_UDA_HEAD_DESC	UDA の説明です。	40	Character	Yes

## prditmumdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、詳細レベルのユーザー定義属性 (UDA) と追跡レベルのアイテムの識別子との間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、item\_uda\_dtl\_idnt と item\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_IDNT	UDA のすべての値 (テキスト、日付、LOV) に対する一意の識別子です。	256	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

## prdpimdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、パックとアイテム識別子間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、pack\_idnt と item\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
PACK_IDNT	パックの一意の識別子です。	25	Character	Yes
PACK_ITEM_QTY	パックに含まれる一意のアイテムの合計数量です。	12	Number(12,4)	No
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes



## prdsbcdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、クラスおよび部門に含まれるサブクラスが格納されます。
- このテキストファイルは、dept\_idnt、class\_idnt、subclass\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	クラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	部門の一意的識別子です。	4	Character	Yes
SBCLASS_DESC	サブクラスの説明です。	30	Character	No
SBCLASS_BUYR_IDNT	このサブクラスの製品のバイヤーの一意的識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_BUYR_NAME	このサブクラスの製品に対するバイヤーの名前です。	32	Character	No
SBCLASS_MRCH_IDNT	このサブクラスの製品のマーチャンダイザの一意的識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_MRCH_NAME	このサブクラスの製品に対するマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

## prmevtdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特売イベントと関連属性が格納されます。イベントは、特売をグループ化して分析するための期間です。
- このテキストファイルは、同じ event\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
EVENT_IDNT	イベントの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
EVENT_DESC	特売イベントの説明です。	250	Character	No
THEME_DESC	特定のイベントに対する特 売テーマの説明です。	30	Character	No

## prmhdrdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特売責任者とその属性が保存されます。責任者は、特売とその開始日 / 終了日を決定します。
- このテキストファイルは、同じ head\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
EVENT_IDNT	イベントの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
HEAD_NAME	特売の名前です。	40	Character	No
HEAD_DESC	特売の説明です。	160	Character	No
BEG_DT	特売の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
END_DT	特売の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	No
THEME_DESC	特定のイベントに対する特 売テーマの説明です。	30	Character	No

## prmschdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、複合特売の割引計画とその属性が格納されます。この計画では、特売での割引方法 ("3 点購入すると 1 点無料" など) を指定します。
- このテキストファイルは、同じ schm\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SCHM_IDNT	特売計画の一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SCHM_TYPE_CDE	ミックスマッチ、スレッ シュホールド、マルチユ ニット、標準のいずれの特 売であるかを示します。	4	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SCHM_DESC	特売計画の説明です ("1 点購入すると 1 点無料" など)。	30	Character	No
SCHM_TYPE_DESC	特売計画のタイプ (ミッ クスマッチ、スレッシュホ ールド、マルチユニット、標 準) の完全な識別子です。	30	Character	No
THEME_DESC	特売テーマの説明です。	30	Character	No
BEG_DT	特売の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
END_DT	特売の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	No

## regngrpdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、リージョン特性グループの情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `regionality_grp_idnt` に対して重複するレコー  
ドを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REGIONALITY_GRP_ IDNT	リージョン特性の一意の識 別子です。	4	Character	Yes
REGIONALITY_GRP_ DESC	リージョン特性グループの 説明です。	40	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REGIONALITY_GRP_ROLE_CDE	このリージョン特性グループに割り当てられた役割です。	6	Character	No
REGIONALITY_GRP_ROLE_DESC	このリージョン特性グループに割り当てられた役割の説明です。	40	Character	No

## regnmtxdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、リージョン特性グループ、部門、ロケーション、取引先間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、regionality\_grp\_idnt、loc\_idnt、supp\_idnt、dept\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REGIONALITY_GRP_IDNT	特定の要素にアクセスしたユーザーグループ ID の一意の識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DEPT_IDNT	部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes

## rgstrdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、レジ情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ rgstr\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes

## rsndm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、理由ディメンションの理由クラス、タイプ、コードが格納されます。在庫調整、返品、失効、売上など、さまざまな種類の取引の理由とコードを保持できます。理由クラスに、各種の理由を定義することにより、対応するタイプとコードをそのクラスの下に定義することができます。
- このテキストファイルは、`reasn_code_idnt`、`reasn_type_idnt`、`reasn_class_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CLASS_IDNT	理由クラスの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_DESC	理由コードの説明です。	40	Character	No
REASN_TYPE_DESC	理由タイプ説明です。	40	Character	No
REASN_CLASS_DESC	理由クラス説明です。	40	Character	No

## seasndm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、シーズンが格納されます。シーズンとは、小売業者が売買のパターンを規定した任意の期間です。すべての日は、いずれか 1 つのシーズンに属します。
- このテキストファイルは、同じ `seasn_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SEASN_IDNT	シーズンの一意の識別子 です。	3	Character	Yes
SEASN_START_DT	シーズンの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
SEASN_END_DT	シーズンの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
SEASN_DESC	シーズンの説明です。	30	Character	No

### subtrantypedm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、サブ取引タイプのレコードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ sub\_tran\_type\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUB_TRAN_TYPE_IDNT	サブ取引タイプの一意の識別子 です。	6	Character	Yes
SUB_TRAN_TYPE_DESC	サブ取引タイプの説明 です。	40	Character	No

### supctrdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先契約情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ cntret\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CNTRCT_IDNT	契約の一意の識別子です。	6	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
STATUS_CDE	この契約のステータスを 表すコードです。	1	Character	Yes
CNTRCT_BEG_DT	契約の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CNTRCT_END_DT	契約の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	No
CNTRCT_DIST	商品を取引先から集荷し、 小売業者に配送する流通業 者の名前です。	40	Character	No
CNTRCT_SHIP_MTHD_ CDE	契約に関連付けられた出荷 方法を表すコードです。	4	Character	No
CNTRCT_SHIP_MTHD_ DESC	契約に関連付けられた出荷 方法の説明です。	30	Character	No
STATUS_DESC	契約ステータスの説明 です。	30	Character	No

## supsupdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先ごとのレコードが格納され、取引先に関連する属性の詳細が保持されます。
- このテキストファイルは、同じ `supp_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SUPP_DESC	ベンダーの説明または名前 です。	40	Character	Yes
SUPP_QC_RQRD_IND	この取引先からの入荷の品 質を管理する必要があるか どうかを示します。	1	Character	No
SUPP_PRE_MARK_IND	この取引先によって供給さ れたアイテムが、事前に マークされるかどうかを示 します。	1	Character	No
SUPP_PRE_TICKET_ IND	取引先によって商品が事前 にマークされる、または価 格設定されるかどうかを示 します。	1	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_STTS_CDE	取引先の経営状態が良好かどうかを示すコードです。	2	Character	No
SUPP_STTS_DESC	ステータスコードの説明です。	30	Character	No
SUPP_EDI_IND	取引先に EDI 機能があるかどうかを示します。	1	Character	No
SUPP_DOMESTIC_CDE	取引先の国内コードです。	1	Character	No
SUPP_DOMESTIC_DESC	取引先の国内コードの説明です。	30	Character	No
SUPP_CRNCY_CDE	取引先が使用する通貨を表すコードです。	3	Character	No
SUPP_CRNCY_DESC	取引先の通貨コードの説明です。	30	Character	No
SUPP_VMI_IND	取引先がベンダー主導型在庫管理かどうかを示します。	1	Character	No

## suptrmdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルは、取引先と取引先特性間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、supp\_trait\_idnt と supp\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_TRAIT_IDNT	取引先特性の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes



## suptrtdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先特性情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `supp_trait_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_TRAIT_IDNT	取引先特性の一意的識別子です。	10	Character	Yes
MAST_SUPP_FLAG	この特性がマスター取引先特性であるかどうかを示すフラグです。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	Yes
SUPP_TRAIT_DESC	取引先特性の説明です。	30	Character	No
MAST_SUPP_CDE	この取引先特性がマスター取引先の特性である場合、このフィールドには、マスター取引先の番号が保持されます。	10	Character	No

## time\_13.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、会計暦年の月ごとに 1 つの行が含まれます。
- このテキストファイルは、同じ年、四半期、月に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
年	13 期間による会計暦年です。	4	Number (YYYY)	Yes
四半期	13 期間の会計四半期です。有効な値は 1 ~ 4 です。	1	Number (Format: Q)	Yes
月 (期間)	13 期間による会計期間です。有効な値は 1 ~ 13 です。	2	Number (Format: MM)	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
月の最初の日付	グレゴリオ暦の日付です (2002 年 1 月 1 日の場合 は 20020101 など)。		Date (YYYY MMDD)	Yes
週数	4 週間の月か 5 週間の月 かによって、4 または 5 のいずれかが保持され ます。	1	Number(1)	Yes

## time\_454.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、会計暦年の月ごとに 1 つの行が含まれます。
- このテキストファイルは、同じ年と月に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
年	454 会計暦年における年 です。	4	Number (YYYY)	Yes
月	会計暦年における月 です。たとえば、1 月の場 合は 1 に、12 月の場合は 12 のようになります。	2	Number (MM)	Yes
月の最初の日付	グレゴリオ暦の日付です (2002 年 1 月 1 日の場合 は 20020101 など)。		Date (YYYY MMDD)	Yes
週数	4 週間の月か 5 週間の月 かによって、4 または 5 のいずれかが保持され ます。	1	Number(1)	Yes
月の説明	カレンダー月の説明です (1 月、2 月など)。	30	Character	Yes

## tndrtypedm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入札タイプとその親の入札タイプグループが格納されます。
- このテキストファイルは、tndr\_type\_id\_idnt と tndr\_type\_grp\_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
TNDR_TYPE_GRP_IDNT	入札タイプグループの一意的識別子です。入札タイプグループの例としては、キャッシュ、小切手、クレジットカードが挙げられます。	6	Character	Yes
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプ ID の一意的識別子です。入札タイプ ID の例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes
TNDR_TYPE_GRP_DESC	入札タイプグループの説明です (クレジットカード、キャッシュ、小切手など)。	40	Character	No
TNDR_TYPE_ID_DESC	入札タイプ ID の説明です (Master Card、Visa Gold、American Express Corporate など)。	40	Character	No
CASH_EQUIV_FLAG	現金同価値インジケータです。	1	Character	No

## ttltypdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザー定義の合計が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ total\_type\_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
TOTAL_TYPE_IDNT	調整される合計の一意の識別子です。	10	Character	Yes
TOTAL_TYPE_DESC	合計タイプの説明です。	255	Character	Yes

## wkday.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、単一のレコードが格納されます。このレコードは、週初日の曜日の説明を表示します。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
週日の説明	会計週の初日を表します (月曜日または日曜日など)。週の最初の曜日は、国によって異なる場合があります。ことに注意してください。	30	Character	Yes

## ファクト

## cmptrprcilddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、クライアントロケーション、競合他社ロケーション、およびアイテムの組み合わせに対する競合他社の価格設定ファクトが格納されます。このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、cmptr\_loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_IDNT	競合他社店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_CMPTR_UNIT_RTL_ AMT	特定のアイテムに対する競 合他社の単位売価額です。 最優先通貨で格納され ます。	18	Number(18,4)	No
F_CMPTR_UNIT_RTL_ AMT_LCL	特定のアイテムに対する競 合他社の単位売価額です。 現地通貨で格納されます。	18	Number(18,4)	No
F_CMPTR_MULTI_ UNIT_RTL_AMT	特定のアイテムに対する競 合他社の複数単位売価額 です。最優先通貨で格納さ れます。	18	Number(18,4)	No
F_CMPTR_MULTI_ UNIT_RTL_AMT_LCL	特定のアイテムに対する競 合他社のマルチユニット売 価額です。現地通貨で格納 されます。	18	Number(18,4)	No
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、 クリアランスのいずれで あるかを示すコードです。	2	Character	Yes
OFFER_TYPE_CDE	この非集合型フィールド は、競合他社の特売売価の オファータイプコードを識 別します。有効な値には、 1 = 'Coupon'、2 = 'Mailer' な どがあります。	6	Character	No
MULTI_UNITS_QTY	この非集合型フィールド は、特定のアイテムの F_CMPTR_UNIT_RTL_AM T に関連付けられたマルチ ユニットを識別します。	12	Number(12,4)	No

## cstislddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、取引先、ロケーションの組み合わせの原価情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、supp\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_BASE_COST_AMT	最優先通貨による原価高 です。	18	Number(18,4)	No
F_BASE_COST_AMT_ LCL	現地通貨による原価高 です。	18	Number(18,4)	No

## exchngratedm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、為替通貨レート情報が格納されます。
- このテキストファイルは、crncy\_cde\_idnt と day\_dt の同じ組み合わせに対し  
て重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意の識別子 です。たとえば、USD は、US ドルに対応する現 地通貨コードです。	10	Character	Yes
DAY_DT	為替レートが有効になった 日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_EXCHNG_RATE	現在の為替通貨レート です。	18	Number(18,4)	Yes

## invilddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムとロケーションの組み合わせについて、特定の日付の終了時における在庫レベルと在庫状況が格納されます。
- DM 表にロードされる新しいファクトが格納されたフラットファイルでは、Dm\_recd\_status\_cde には常に NULL が入力されます。このファクトのアイテム、ロケーション、部門のいずれかまたはすべてがクローズされるか再分類された場合、Factclosedm.ksh は、このカラムを 'X' (クローズ済み) として更新します。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリアランスのいずれであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
F_I_SOH_QTY	手持ち在庫数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_SOH_COST_AMT	加重平均原価 (最優先通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_SOH_COST_AMT_LCL	加重平均原価 (現地通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_SOH_RTL_AMT	売単価 (最優先通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_SOH_RTL_AMT_LCL	売単価 (現地通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_QTY	発注中の在庫数量です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_I_ON_ORD_COST_ AMT	最優先通貨で表した発注中 在庫の平均原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_COST_ AMT_LCL	現地通貨で表した発注中在 庫の平均原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_RTL_ AMT	最優先通貨で表した発注中 在庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_RTL_ AMT_LCL	現地通貨で表した発注中在 庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_QTY	移動中の在庫数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_IN_TRNST_COST_ AMT	最優先通貨で表した移動中 の在庫の原価総額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_COST_ AMT_LCL	現地通貨で表した移動中の 在庫のローカル原価総額 です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_RTL_ AMT	最優先通貨で表した移動中 在庫の売価額の合計です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_RTL_ AMT_LCL	現地通貨で表した移動中在 庫の売価額の合計です。	18	Number(18,4)	No
F_I_REPL_ACTV_FLAG	このレコードの期間終了日 が補充のアクティブな日に あるか、非アクティブな日 にあるかを示すフラグ です。	1	Character	No
F_I_REPL_CALC_ MTHD_CDE	このカラムには、補充方法 のコードの値が保持され ています。	2	Character	No
F_I_MIN_SOH_QTY	手持ち在庫の最小数量 です。	12	Number(12,4)	No
F_I_MIN_SOH_COST_ AMT	最優先通貨で表した手持ち 在庫の平均原価額の最小値 です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MIN_SOH_COST_ AMT_LCL	現地通貨で表した手持ち在 庫の平均原価額の最小値 です。	18	Number(18,4)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_I_MIN_SOH_RTL_AMT	最優先通貨で表した手持ち在庫の売価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MIN_SOH_RTL_AMT_LCL	現地通貨で表した手持ち在庫の売価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_QTY	手持ち在庫の最大数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_MAX_SOH_COST_AMT	最優先通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_COST_AMT_LCL	現地通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_RTL_AMT	最優先通貨で表した手持ち在庫の売価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_RTL_AMT_LCL	現地通貨で表した手持ち在庫の売価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_INCR_PCT	このカラムには、補充増加率または複数の値が保持されています。このカラムは補充計算に使用します。	12	Number(12,4)	No
F_I_COST_AMT	最優先通貨で表した在庫の加重平均原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_COST_AMT_LCL	現地通貨で表した在庫の加重平均原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_STD_COST_AMT	仕入れた最新アイテムの原価 (最優先通貨) です。原価法決算を使用している場合、この値を使用して単位原価の差を反映します。	18	Number(18,4)	No
F_I_STD_COST_AMT_LCL	仕入れた最新アイテムの原価 (現地通貨) です。原価法決算を使用している場合、この値を使用して単位原価の差を反映します。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_I_RTL_AMT	最優先通貨で表した企業単位の仕入れ価格です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTL_AMT_LCL	現地通貨で表した企業単位の仕入れ価格です。	18	Number(18,4)	No
F_I_AGED_30_60_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 30 ～ 60 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_AGED_61_90_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 61 ～ 90 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_AGED_91_120_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 91 ～ 120 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_AGED_121_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 121 日以上経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_SLS_ADMN_COST_AMT	このファクトを使用して、アイテム、ロケーション、日の関係に関する、売上原価および管理原価の追加情報を格納できます。	18	Number(18,4)	No
F_I_DIST_COST_AMT	このファクトを使用して、アイテム、ロケーション、日の関係に関する、サプライチェーン原価の追加情報を格納できます。	18	Number(18,4)	No
DM_RECD_STATUS_CDE	この展開ファクトレコードのステータス (オープンまたはクローズ) を示すフラグです。ソースシステムから新たに追加されたすべてのファクトは NULL になります。	1	Character	No

## ivailddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、取引先、ロケーション、理由の組み合わせに対応する在庫調整データが格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、reasn\_type\_idnt、reasn\_cde\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_ADJ_QTY	手持ち在庫の合計調整数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_ADJ_COST_AMT	最優先通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ADJ_COST_AMT_LCL	現地通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ADJ_RTL_AMT	最優先通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ADJ_RTL_AMT_LCL	現地通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の売価額です。	18	Number(18,4)	No
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes

## ivrcpilddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの入荷情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_RCPTS_QTY	入荷数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_RCPTS_COST_AMT	最優先通貨で表した受取原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_COST_AMT_LCL	現地通貨で表した受取原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_RTL_AMT	最優先通貨で表した受取売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_RTL_AMT_LCL	現地通貨で表した受取売価額です。	18	Number(18,4)	No

## ivrilddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先、アイテム、ロケーションの組み合わせごとに、特定の日付にベンダー / 取引先に返品された在庫のデータが格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗である か倉庫であるかを示すコード です。	2	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_RTV_QTY	返品在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_RTV_COST_AMT	最優先通貨で表した返品在 庫の原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_COST_AMT_ LCL	現地通貨で表した返品在庫 の原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_RTL_AMT	最優先通貨で表した返品在 庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_RTL_AMT_ LCL	現地通貨で表した返品在庫 の売価額です。	18	Number(18,4)	No
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子 です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子 です。	6	Character	Yes

## ivtilddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、出荷元ロケーション、出荷先ロケーションの組み合わせごとの在庫振替情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、from\_loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	振替のターゲットロケー ションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
FROM_LOC_IDNT	振替のソースロケーション の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_TSF_QTY	振替済み数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_TSF_COST_AMT	振替原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_TSF_RTL_AMT	振替売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No

## ivuilddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日レベルにおける、アイテムとロケーションの組み合わせごとの、利用不可在庫の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_UNAVL_QTY	利用不可在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_UNAVL_COST_ AMT	利用不可在庫の平均原価 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_UNAVL_COST_ AMT_LCL	利用不可在庫の平均原価 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_I_UNAVL_RTL_AMT	利用不可在庫の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_UNAVL_RTL_ AMT_LCL	利用不可在庫の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子 です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子 です。	6	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗である か倉庫であるかを示すコード です。	2	Character	Yes

### lptldmdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、全ロス防止取引が取引 / ロケーション / 日 / 分  
レベルで格納されます。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
TRAN_IDNT	取引の一意の識別子です。	30	Character	Yes
REV_NBR	送信する取引のバージョン を識別するための番号 です。	3	Number(3)	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MIN_IDNT	hour_idnt の後に 1 ～ 60 の数字を続けて構成される 一意の識別子で、その時間 の分を示します。	4	Number(4) (HH24MI)	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子 です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子 です。	6	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CSHR_IDNT	キャッシュの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_LP_AMT	ロス防止取引額 (最優先通 貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_LP_AMT_LCL	ロス防止取引額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_DISC_COUPON_ COUNT	1 回の取引で使用された割 引クーポンの総数です。割 引クーポンは、メーカーで はなく店舗が発行します。	16	Number(16,4)	No
F_DISC_COUPON_AMT	1 回の取引で使用された割 引クーポンの総額です (最 優先通貨)。割引クーポン は、メーカーではなく店舗 が発行します。	18	Number(18,4)	No
F_DISC_COUPON_ AMT_LCL	1 回の取引で使用された割 引クーポンの総額です (現 地通貨)。割引クーポン は、メーカーではなく店舗 が発行します。	18	Number(18,4)	No

## lptotclddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロス防止の超過 / 不足合計が格納されます。
- 各レコードの rgstr\_idnt または cshr\_idnt のいずれか一方が値を保持し、もう一方は -1 になっている必要があります。
- ターゲット表で、各種修正番号の金額が、cschr\_idnt、rgstr\_idnt、loc\_idnt、day\_dt 別に合計されます。
- このテキストファイルは、同じ cshr\_idnt に対して、または rgstr\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、rev\_nbr の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
CSHR_IDNT	キャッシュの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
REV_NBR	送信する取引のバージョン を識別するための番号 です。	3	Number(3)	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_DRAWER_OS_AMT	超過 / 不足金額 (最優先通 貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_DRAWER_OS_AMT_ LCL	超過 / 不足金額 (現地通 貨) です。	18	Number(18,4)	No

## lptotlddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザー定義のロス防止の合計が格納されます。
- ターゲット表で、各種改訂番号の金額が、合計タイプ、ロケーション、日付別  
に合計されます。
- このテキストファイルは、total\_type\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、rev\_nbr の同じ組  
み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
REV_NBR	送信する取引のバージョン を識別するための番号 です。	3	Number(3)	Yes
TOTAL_TYPE_IDNT	合計のタイプの一意の識別 子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_TOTAL_AMT	合計金額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TOTAL_AMT_LCL	合計金額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

## mslsdlwdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における、市場カテゴリおよび市場エリアレベルの市場売上データが格納されます。
- このテキストファイルは、mkt\_dept\_idnt、mkt\_area\_level\_idnt、wk\_end\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意の識別子 です。	13	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL_IDNT	市場エリアレベルの一意の 識別子です。	16	Character	Yes
WK_END_DT	週の最後の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MKT_GEO_LEVEL	市場地域レベルです。有効 な値は 1、2、3 のいずれ かです。	1	Character	Yes
MKT_RECD_CURR_DT	市場データの作成日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKT_SLS_AMT_LCL	その週の市場アイテムの合 計売上 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_AMT	その週の市場アイテムの合 計売上 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_QTY	その週に販売された市場ア イテムの合計数です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MKT_AVG_ACV_ WGT_DIST_PCT	全商品金額を加重した週間平均流通量です。製品をストックしている店舗の割合に全商品金額を加重した値を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_ MMACV_SLS_RATE	全商品金額 (\$MM / 百万ドル) あたりの週間平均売上高 (売上率) です。\$MM あたりの全商品金額に基づいて、製品の流通と販売効率の関係を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_WGT_ PRICE_REDT_PCT	加重平均値下げ率です。そのアイテムを販売している全店舗での平均値下げ額に各小売での販売数を加重した値です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_STORE_ SELL_ITEM_QTY	週間平均アイテム販売数 (店舗別) です。各店舗で選択された製品の平均 UPC 数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_NORMAL_ AMT_LCL	その週の陳列、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_ AMT	その週の陳列、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_QTY	その週の陳列、特売、値下げとは関係のない売上の予想数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_AMT_LCL	宣伝 / 値下げによる合計売上 (現地通貨) です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_AMT	宣伝 / 値下げによる合計売上 (最優先通貨) です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_QTY	宣伝 / 値下げによる合計単位売上です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計単位売上額です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ AMT_LCL	宣伝されているアイテムの合計売上 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ AMT	宣伝されているアイテムの合計売上 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ QTY	宣伝されているアイテムの合計単位売上です。	12	Number(12,4)	No

## mslsilwdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における、市場アイテム、市場エリアレベル、および週レベルの市場売上データが格納されます。
- このテキストファイルは、mkt\_item\_idnt、mkt\_area\_level\_idnt、wk\_end\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
MKT_ITEM_IDNT	市場アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL_ IDNT	市場エリアレベルの一意の識別子です。	16	Character	Yes
WK_END_DT	週の最後の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MKT_GEO_LEVEL	市場地域レベルです。	1	Character	Yes
MKT_RECD_CURR_DT	ソースシステムにおけるこのレコードの最新の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKT_SLS_AMT_LCL	その週の市場アイテムの合計売上 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MKT_SLS_AMT	その週の市場アイテムの合計売上 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_QTY	販売済み市場アイテムの総数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_ACV_WGT_DIST_PCT	全商品金額を加重した週間平均流通量です。製品をストックしている店舗の割合に全商品金額を加重した値を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_MMACHV_SLS_RATE	全商品金額 (\$MM / 百万ドル) あたりの週間平均売上高 (売上率) です。\$MM あたりの全商品金額に基づいて、製品の流通と販売効率の関係を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_WGT_PRICE_REDT_PCT	加重平均値下げ率です。そのアイテムを販売している全店舗での平均値下げ額に各小売での販売数を加重した値です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_STORE_SELL_ITEM_QTY	週間平均アイテム販売数 (店舗別) です。製品を保持する各店舗で有効な選択した製品の異なる UPC の平均数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT_LCL	その週の陳列、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT	その週の陳列、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_QTY	陳列、特売、または値下げなどの影響がなかった場合に記録されたとと思われる見積み売上数量を計算します。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_AMT_LCL	宣伝 / 値下げによる合計売上 (現地通貨) です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_AMT	宣伝 / 値下げによる合計売上 (最優先通貨) です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_ CUT_QTY	宣伝 / 値下げによる合計単位売上です。宣伝、陳列、または値下げされているアイテムの合計単位売上額です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ AMT_LCL	宣伝されているアイテムの合計売上 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ AMT	宣伝されているアイテムの合計売上 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_ QTY	宣伝されているアイテムの合計単位売上です。	12	Number(12,4)	No

## ncstulddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、総仕入れ原価情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	原価が有効になった日付の カレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SUPP_BASE_COST_ AMT	アイテムの取引先基準原価 額 (最優先通貨) です。 ディールや割引を行う前の 初期原価です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_BASE_COST_ AMT_LCL	アイテムの取引先基準原価 額 (現地通貨) です。 ディールや割引を行う前の 初期原価です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_COST_ AMT	アイテムの取引先総仕入れ 原価 (最優先通貨) です。 基準原価から、小売業者に よる全ディールを差し 引いた金額です。このレベ ルでディールまたは割引 がいつさい適用されてい ない場合、取引先総仕入れ 原価は、取引先基準原価に 等しくなります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_COST_ AMT_LCL	アイテムの取引先総仕入れ 原価 (現地通貨) です。基 準原価から、小売業者に よる全ディールを差し 引いた金額です。このレベ ルでディールまたは割引 がいつさい適用されてい ない場合、取引先総仕入れ 原価は、取引先基準原価に 等しくなります。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SUPP_NET_NET_ COST_AMT	アイテムの純総仕入れ原価 (最優先通貨) です。総仕入 原価から、小売業者による 全ディールを差し引いた金 額 (純総仕入れ原価) です。このレベルでディール または割引がいつさい適用 されていない場合、取引 先純総仕入れ原価は、取引 先総仕入れ原価に等しくな ります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_NET_ COST_AMT_LCL	アイテムの純総仕入れ原価 (現地通貨) です。総仕入 原価から、小売業者による全 ディールを差し引いた金額 (純総仕入れ原価) です。こ のレベルでディールまたは 割引がいつさい適用され ていない場合、取引先純総 仕入れ原価は、取引先総仕 入れ原価に等しくなり ます。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_DEAD_NET_ COST_AMT	アイテムの取引先デッド ネットコスト (最優先通貨) です。ディールおよび割引 をすべて適用した後の最終 原価です。純総仕入れ原価 から、小売業者による全 ディールを差し引いた金額 (デッドネットコスト) です。このレベルでディール または割引がいつさい適用 されていない場合、取引 先デッドネットコストは、 取引先純総仕入れ原価に等 しくなります。	18	Number(18,4)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SUPP_DEAD_NET_ COST_AMT_LCL	アイテムの取引先デッド ネットコスト (現地通貨) です。ディールおよび割引 をすべて適用した後の最終 原価です。純総仕入れ原価 から、小売業者による全 ディールを差し引いた金額 (デッドネットコスト) です。このレベルでディール または割引がいったい適用 されていない場合、取引 先デッドネットコストは、 取引先純総仕入れ原価に等 しくなります。	18	Number(18,4)	No

### plcblwdm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における部門、クラス、サブクラスについて、現行の計画データが格納されます。
- このテキストファイルは、day\_dt、dept\_idnt、class\_idnt、subclass\_idnt、loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DAY_DT	取引発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
DEPT_IDNT	部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	製品階層において、アイテムが属するクラスの一意の識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_IDNT	製品階層において、アイテムが属するサブクラスの一意の識別子です。	4	Character	No
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_CURR_SLS_QTY	通常売上、クリアランス売上、特売売上から顧客による返品分を差し引いた合計売上数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_SLS_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から顧客による返品分を差し引いた合計売上額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_GRS_PRFT_AMT	粗利益額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RGLR_MKDN_AMT	通常値下げ額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CLRC_MKDN_AMT	現行計画のクリアランス値下げ額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_PRMTN_MKDN_AMT	特売値下げ額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_SHRK_QTY	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計数 (ロス数) (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_SHRK_RTL_AMT	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計売価額 (ロス売価額) (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_QTY	現行計画開始時の在庫数です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_COST_AMT	現行計画開始時の在庫原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_RTL_AMT	現行計画開始時の在庫売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_OTB_QTY	予定在庫レベル以内に収まる仕入れ商品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_OTB_COST_AMT	予定在庫レベル以内に収まる仕入れ商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_CURR_OTB_ RTL_AMT	予定在庫レベル以内に収 まる仕入れ商品の売価 (現 行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ RCPTS_QTY	商品の仕入れ数量 (現行計 画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_ RCPTS_COST_AMT	商品の仕入れ予定数量の原 価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ RCPTS_RTL_AMT	商品の予定仕入れ数量の売 価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ CMTS_RTL_AMT	現行計画での取引先への支 払い (売価額) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ CNCLLD_RTL_AMT	発注キャンセル売価額 (現 行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ RTL_AMT	発注後、まだ納品されてい ない商品の売価額 (現行計 画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_ IN_RTL_AMT	再分類の結果として、他か ら振り替えられた在庫品の 売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_ OUT_RTL_AMT	再分類の結果として、他へ 振り替えられた在庫品の売 価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_ RTL_AMT	仕入れた商品の売価 (現行 計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RTV_ RTL_AMT	ベンダーに返品された商品 の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CMTS_ QTY	未承認の発注数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ CNCLLD_QTY	キャンセルされた注文の単 位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ QTY	発注後、まだ納品されてい ない商品の数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_CURR_RECL_IN_QTY	再分類の結果として、他から振り替えられた在庫品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_OUT_QTY	再分類の結果として、他へ振り替えられた在庫品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_QTY	仕入れ商品 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RTV_QTY	ベンダーに返品された商品の単位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_EOP_RTL_AMT	終了時在庫の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_WOS_AMT	現行計画での供給可能週数 (開始時の在庫高と週あたりの売上高との比率) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_EOP_COST_AMT	終了時在庫の原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_CNCLLD_COST_AMT	発注キャンセル原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_COST_AMT	発注後、まだ納品されていない商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_COST_AMT	仕入れた商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CMTS_COST_AMT	現行計画での取引先への支払い (原価額) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CUM_MKUP_AMT	累積在庫を含め、配送された商品の合計原価と、特定の期間内に売買された合計オリジナル売価額との差の比率 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_EOP_QTY	終了時在庫の単位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_CURR_WOS_QTY	現行計画での供給可能週数 (開始時の在庫数と週あたりの販売数との比率) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_COGS_AMT	販売した商品の原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_SLS_VAT_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計付加価値税額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_EMPTY_DISC_AMT	従業員の売価割引額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_FRGHT_COST_AMT	輸送費 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_WRKRM_COST_AMT	ワークルーム原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RTRNS_SLS_AMT	顧客売上の返品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No

## ploblwdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における部門、クラス、サブクラスについて、オリジナルの計画データが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ A-B-C に対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DAY_DT	取引発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
DEPT_IDNT	部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	製品階層において、アイテムが属するクラスの一意の識別子です。	4	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SBCLASS_IDNT	製品階層において、アイテムが属するサブクラスの一意的識別子です。	4	Character	No
LOC_IDNT	ロケーションの一意的識別子です。	10	Character	Yes
F_PLN_ORIG_SLS_QTY	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計販売数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_SLS_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計売上 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_GRS_PRFT_AMT	粗利益 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RGLR_MKDN_AMT	通常値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CLRC_MKDN_AMT	クリアランス値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_PRMTN_MKDN_AMT	特売値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_SHRK_QTY	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計数 (ロス数) (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_SHRK_RTL_AMT	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計売価額 (ロス売価額) (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_QTY	オリジナル計画開始時の在庫数です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_COST_AMT	オリジナル計画開始時の在庫原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_RTL_AMT	オリジナル計画開始時の在庫売価額です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_ORIG_RCPTS_QTY	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RCPTS_COST_AMT	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCPTS_RTL_AMT	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_RTL_AMT	取引先に支払うべき売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_CNCLLD_COST_AMT	発注キャンセルの原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_RTL_AMT	発注後、未入荷の商品の売価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_IN_RTL_AMT	再分類の結果として、他から振り替えられた在庫品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_OUT_RTL_AMT	再分類の結果として、他へ振り替えられた在庫品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_RTL_AMT	入荷商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RTV_RTL_AMT	ベンダーに返品された商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_QTY	発注後、未承認の単位数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_CNCLLD_QTY	キャンセルされた発注数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_QTY	発注後、未入荷の商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_ORIG_RECL_ IN_QTY	再分類の結果として、他から振り替えられた在庫品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_ OUT_QTY	再分類の結果として、他へ振り替えられた在庫品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_ QTY	入荷商品数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RTV_ QTY	ベンダーに返品された商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_ RTL_AMT	終了時在庫の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_ QTY	終了時在庫の単位数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ COST_AMT	発注後、未入荷の商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ CNCLLD_RTL_AMT	発注キャンセルの売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_ COST_AMT	取引先に支払うべき原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_ COST_AMT	入荷商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CUM_ MKUP_AMT	累積在庫を含め、配送品の合計原価と、特定の期間内に売買された商品の合計オリジナル売価額との差の比率 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_COGS_ AMT	販売された商品の原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_PLN_ORIG_SLS_VAT_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計付加価値税額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EMPTY_DISC_AMT	小売の従業員割引 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_FRGHT_COST_AMT	輸送費 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_WRKRM_COST_AMT	ワークルームの原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RTRNS_SLS_AMT	顧客売上の返品の商品額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_COST_AMT	終了時の原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No

## prcilddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの価格情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
CHNG_CDE	価格変更の理由を示すコードです。	2	Character	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MULTI_UNIT_QTY	マルチユニット取引を構成する単位数です。	12	Number(12,4)	No
F_UNIT_RTL_AMT	新しい小売価格の単位額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_UNIT_RTL_AMT_LCL	新しい小売価格の単位額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MULTI_UNIT_RTL_AMT	新しい複数単位小売り価格の単位高 (ドル) です。	18	Number(18,4)	No
F_MULTI_UNIT_RTL_AMT_LCL	新しいマルチユニット小売り価格の単位高 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
SELLING_UOM_CDE	アイテム売単価の販売用計測単位を保持します。この値は集計できません。	4	Character	No
MULTI_SELLING_UOM_CDE	アイテムのマルチユニット売価の販売用計測単位を保持します。この値は集計できません。	4	Character	No

## saviddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先とアイテムの組み合わせごとにまとめられた、特定の日付におけるアイテムの利用可能数量が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、supp\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_AVAIL_QTY	取引先から発注可能な在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No

## scmialddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な出荷、配送、PO に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_ASN_COUNT	予定されていながら納品されなかった ASN (事前出荷通知) 数です。	16	Number(16,4)	No

## scmidlddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な出荷、配送、PO に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_SCHED_COUNT	納品されていない予定出荷の合計数です。	16	Number(16,4)	No

## scmiolddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な出荷、配送、PO に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_ORDER_COUNT	予定されていながら納品されなかった発注出荷数です。	16	Number(16,4)	No

## scqcdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには出荷情報、すなわち、入荷アイテムの数量、入荷のタイムリー性、品質管理が必要なアイテムの QC テスト合格情報が含まれます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、ship\_idnt、supp\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_QC_FLAG	入荷時に品質管理チェック が必要かどうかを示し ます。	1	Character	No
F_QC_FAILED_QTY	品質管理チェックで落とさ れたアイテムの合計数 です。	12	Number(12,4)	No
F_QC_PASSED_QTY	品質管理チェックに合格 したアイテムの合計数 です。	12	Number(12,4)	No

### scrqtlldm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには出荷情報、すなわち、入荷アイテムの数量、入荷の  
タイムリー性、品質管理が必要なアイテムの QC テスト合格情報が含まれ  
ます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、supp\_idnt、ship\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、  
po\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PO_IDNT	PO の一意の識別子です。	8	Character	Yes
F_EXPECTED_QTY	予測される数量の合計です。	12	Number(12,4)	No
F_RECEIVED_QTY	合計入荷数です。	12	Number(12,4)	No
F_ORDERED_QTY	合計発注数です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_ON_TARGET_COUNT	納品された数量が予測数量と同じであった配送数です。	16	Number(16,4)	No
F_UNDER_TARGET_COUNT	納品数が予測数より少なかった配送回数です。	16	Number(16,4)	No
F_OVER_TARGET_COUNT	納品された数量が予測数より多かった配送数です。	16	Number(16,4)	No
F_MISMATCHED_COUNT	予定外のアイテム数が納品された配送の数です。	16	Number(16,4)	No
F_FULL_PO_COUNT	予測数量がすべて納品された発注数です。	16	Number(16,4)	No
F_PART_PO_COUNT	納品された数量が予測数より少なかった発注数です。	16	Number(16,4)	No
F_OVER_PO_COUNT	納品された数量が予測数より多かった発注数です。	16	Number(16,4)	No
PICKUP_LOC	クライアントによる集荷場所として、ユーザーが入力した出荷ロケーションです。	45	Character	No
PICKUP_NBR	ユーザーによって入力された、出荷の識別子です。	25	Character	No
PICKUP_DT	ユーザーによって入力された集荷日付です。		Date (YYYY MMDD)	No

## scrtllddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには出荷情報、すなわち、入荷アイテムの数量、入荷のタイムリー性、品質管理が必要なアイテムの QC テスト合格情報が含まれます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、supp\_idnt、ship\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、po\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PO_IDNT	PO の一意の識別子です。	8	Character	Yes
F_ON_TIME_COUNT	納品された数量が予測数と 同じであった配送数です。	16	Number(16,4)	No
F_EARLY_COUNT	予定時刻よりも前に届いた 配送の数です。	16	Number(16,4)	No
F_LATE_COUNT	到着が予定時刻を過ぎた配 送の回数です。	16	Number(16,4)	No
F_UNSCHD_COUNT	予定日以外に配送された回 数です。	16	Number(16,4)	No
F_DAYS_EARLY_ COUNT	予定日の何日前に届いたか を示します。	16	Number(16,4)	No
F_DAYS_LATE_ COUNT	予定日の何日後に届いたか を示します。	16	Number(16,4)	No

## sctiddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先契約情報が格納されます。
- このデータマートは、圧縮されているため、契約ファクトに対する変更内容だけがテキストファイルに格納されます。
- 契約がキャンセルされた場合は、テキストファイルの Dm\_recd\_status\_cde を 'X' (クローズ済み) に設定する必要があります。このファクトのアイテムがクローズされるか再分類された場合、Factclosedm.ksh は、このカラムを 'X' (クローズ済み) として更新します。
- このテキストファイルは、item\_idnt、cntrct\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
CNTRCT_IDNT	契約の一意の識別子です。	6	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日 です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_CNTRCT_QTY	取引先から発注する契約済 みの数量です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_COST_ AMT	この契約について交渉した 単位仕入れ原価です。	18	Number(18,4)	No
F_CNTRCT_ORD_QTY	すべてのロケーションに ついて契約日から指定日ま でに発注した数量の合計 です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_ORD_ COST_AMT	すべてのロケーションに ついて契約日から指定日ま でに発注した数量の原価の 総額です。	18	Number(18,4)	No
F_CNTRCT_ORD_ CNCLLD_QTY	すべてのロケーションおよ び発注について契約日から 指定日までにキャンセルさ れた数量の合計です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_ORD_ CNCLLD_COST_AMT	すべてのロケーションおよ び発注について契約日から 指定日までにキャンセルさ れた数量の原価の総額 です。	18	Number(18,4)	No
DM_RECD_STATUS_ CDE	このファクトレコードのス テータス (オープンまたは クローズ) を示すフラグ です。契約がキャンセルさ れた場合は 'X' に、それ以 外の場合は NULL になり ます。	1	Character	No



## sfcilwdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの売上予測情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、dat\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_FCST_SLS_AMT	売上予測値 (最優先通貨)です。	18	Number(18,4)	No
F_FCST_SLS_AMT_LCL	売上予測値 (現地通貨)です。	18	Number(18,4)	No
F_FCST_SLS_QTY	予測売上数量です。	12	Number(12,4)	No
F_FCST_PRFT_AMT	最優先通貨で表した予測利益額です。	18	Number(18,4)	No
F_FCST_PRFT_AMT_LCL	現地通貨で表した予測利益額です。	18	Number(18,4)	No
F_FCST_SLS_VAT_AMT	最優先通貨で表した予測 VAT 税です。	18	Number(18,4)	No
F_FCST_SLS_VAT_AMT_LCL	現地通貨で表した予測 VAT 税です。	18	Number(18,4)	No

## sincilddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、出荷アイテムごとにインボイス原価情報が含まれます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、po\_idnt、invc\_idnt、supp\_idnt、ship\_idnt、day\_dt、loc\_idnt、invc\_line\_nbr の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子 です。	25	Character	Yes
PO_IDNT	PO の一意の識別子です。	8	Character	Yes
INVC_IDNT	インボイスの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	インボイスが更新された日 付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別 子です。	10	Character	Yes
INVC_LINE_NBR	アイテム-PO-取引先-日-出 荷-ロケーションがまったく 同じインボイスのライン を区別します。	12	Number(12)	Yes
F_SUPP_INVC_COST_ AMT	最優先通貨によるインボイ ス原価です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_INVC_COST_ AMT_LCL	現地通貨によるインボイス 原価です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_INVC_QTY	インボイス上に表記される アイテムの数量です。	12	Number(12,4)	No
SUPP_INVC_STATUS_ CDE	インボイスラインアイテム のステータスです。有効な 値としては、U (一致し ない)、R (部分一致)、M (一致) があります。	2	Character	No

## slsildmdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテム、ロケーション、日、分、伝票、取引に対する売上と返品情報が格納されます。
- RDW では、ソースシステムから受け取った tran\_idnt が、ロケーション-レジ-従業員-分-日の組み合わせにおいて一意であることを想定します。2 つの異なるキャッシュレジスタで、2 人の別々の顧客に対し、2 つの異なる取引として、同じ従業員、同じ時間 (分)、同じ場所において販売された 2 つのアイテムは、独立した 2 つの tran\_idnt's になります。同様に、アイテム / ロケーション / 日 / 分 / レジが同一であっても、異なる従業員によってレジに打ち込まれた場合は、2 つの異なる tran\_idnt になります。
- このテキストファイルは、item\_idnt、tran\_idnt、vchr\_idnt、min\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
TRAN_IDNT	取引の一意の識別子です。	30	Character	Yes
REV_NO	送信する取引のバージョンを識別するための番号です。	3	Character	No
VCHR_IDNT	伝票の一意の識別子です。アイテムが商品券である場合は、対応するアイテム番号が VCHR_IDNT になります。これはディメンション属性としてではなく、レコードを一意に識別するために使用されます。	16	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。	8	Date (YYYY MMDD)	Yes
MIN_IDNT	hour_idnt の後に 1 ~ 60 の数字を続けて構成される一意の識別子で、その時間の分を示します。	4	Number(4) (HHMM)	Yes
OVERRIDE_REASON_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
OVERRIDE_REASON_ TYPE_IDNT	理由タイプの一意的識別子 です。	6	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意的識別 子です。	10	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意的識別子です。	10	Character	Yes
SCHM_IDNT	特売計画の一意的識別子 です。特売のタイプに該 当する番号 (ミックスマッ チ、スレッシュホールド、 マルチユニット、標準な ど) を識別します。	6	Character	Yes
CUST_REF	取引に関連付けられた顧客 の識別子です。	20	Character	Yes
CUST_REF_TYPE	顧客が使用する識別子番号 のタイプです。	6	Character	Yes
EMPLY_IDNT	従業員の一意的識別子 です。	10	Character	Yes
SLSPRSN_IDNT	販売員の一意的識別子 です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシャの一意的識別子 です。	10	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意的識別子です。	10	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意的識別子 です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意的識別子 です。	6	Character	Yes
SUB_TRAN_TYPE_ IDNT	サブ取引タイプの一意的識 別子です。	6	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、 クリアランスのいずれで あるかを示すコードです。	2	Character	Yes
ITEM_SEQ_NO	取引時にアイテムが入力さ れた順番です。	4	Number(4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SLS_AMT	売上高 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_AMT_LCL	売上高 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_QTY	売り上げに含まれるアイテム数です。	12	Number(12,4)	No
F_SLS_PRFT_AMT	売上の利益額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_PRFT_AMT_LCL	売上の利益額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_AMT	返品 of 金額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_AMT_LCL	返品 of 金額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_QTY	返品 of アイテム数です。	12	Number(12,4)	No
F_RTRN_PRFT_AMT	返品 of 利益額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_PRFT_AMT_LCL	返品 of 利益額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_ENTER_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムの売上を手動で入力した回数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_SCAN_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムを売上としてスキャンした回数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_ENTER_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムの返品を手動で入力した回数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_SCAN_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムを返品としてスキャンした回数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_COUNT	店舗内で値入された売上取引の数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKDN_COUNT	店舗内で値下げされた売上取引の数です。	16	Number(16,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_RTRN_IS_MKUP_COUNT	店舗内で値入された返品取引の数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_COUNT	店舗内で値下げされた返品取引の数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_AMT	売上取引の合計店舗内値入額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_AMT_LCL	売上取引の合計店舗内値入額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKUP_AMT	返品取引の合計店舗内値入額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKUP_AMT_LCL	返品取引の合計店舗内値入額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_IS_MKDN_AMT	売上取引の合計店舗内値下げ額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_IS_MKDN_AMT_LCL	売上取引の合計店舗内値下げ額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_AMT	返品取引の合計店舗内値下げ額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_AMT_LCL	返品取引の合計店舗内値下げ額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_EMPTY_DISC_AMT	売上取引での合計従業員割引額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_EMPTY_DISC_AMT_LCL	売上取引での合計従業員割引額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_EMPTY_DISC_AMT	返品取引での合計従業員割引額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_EMPTY_DISC_AMT_LCL	返品取引での合計従業員割引額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_VAT_AMT	売上の付加価値税額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_VAT_AMT_LCL	売上の付加価値税額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_RTRN_VAT_AMT	返品の付加価値税額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_VAT_AMT_LCL	返品の付加価値税額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

## slsmkdnliddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、ロケーション、小売タイプの組み合わせごとの売上値下げ情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、rtl\_type\_cde、head\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリアランスのいずれであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKDN_AMT	値下げ高 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_AMT_LCL	値下げ高 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_VAT_AMT	値下げの VAT 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_VAT_AMT_LCL	値下げの VAT 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_QTY	値下げの数量です。	12	Number(12,4)	No
F_MKUP_AMT	値入高 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_MKUP_AMT_LCL	値入高 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKUP_VAT_AMT	値入の VAT 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKUP_VAT_AMT_LCL	値入の VAT 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKUP_QTY	値入の数量です。	12	Number(12,4)	No

## spaldddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日の、特定のロケーションにおける、各部門の割り当て領域の量に関する情報が格納されます。この領域は、1 次元、2 次元、3 次元のいずれかの単位 (線形、方形、立方) で示されます。
- このテキストファイルは、dept\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DEPT_IDNT	部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SA_LINEAR_AMT	線形スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_AMT	方形スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_AMT	立方スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MAX_AMT	線形スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MAX_AMT	方形スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MAX_AMT	立方スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MIN_AMT	線形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SA_SQUARE_MIN_AMT	方形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MIN_AMT	立方スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_FACINGS	陳列フェイスの数です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_ON_DISP_IND	アイテムが陳列されているかどうかを示します。	1	Character	No
F_SA_ON_FEAT_IND	アイテムが宣伝中かどうかを示します。	1	Character	No

### spallddm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日の、特定のロケーションにおける、各アイテムの割り当て領域の量に関する情報が格納されます。この領域は、1 次元、2 次元、3 次元のいずれかの単位 (線形、方形、立方) で示されます。
- このテキストファイルは、item\_idnt、loc\_idnt、day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SA_LINEAR_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた線形領域の量です。顧客指定の計測単位によって表されます。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SA_SQUARE_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 2 次元領域の量です。顧客指定の計測単位によって表されます (平方フィートや平方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 3 次元領域の量です。顧客指定の計測単位によって表されます (立方フィートや立方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた線形領域の最大量です。顧客指定の計測単位によって表されます。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 2 次元領域の最大量です。顧客指定の計測単位によって表されます (平方フィートや平方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 3 次元領域の最大量です。顧客指定の計測単位によって表されます (立方フィートや立方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MIN_AMT	線形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MIN_AMT	方形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MIN_AMT	立方スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_FACINGS	陳列フェイスの数です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_SA_ON_DISP_IND	アイテムが陳列されているかどうかを示します。	1	Character	No
F_SA_ON_FEAT_IND	アイテムが宣伝中かどうかを示します。	1	Character	No

## stlblwdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における部門、クラス、サブクラスについて、在庫元帳高が格納されます。
- このテキストファイルは、dept\_idnt、class\_idnt、subclass\_idnt、loc\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	クラスの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	製品階層において、クラスが属する部門の一意の識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか倉庫であるかを示すコードです。	2	Character	Yes
DAY_DT	取引発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYYMMDD)	Yes
F_IVL_BEG_SOH_COST_AMT	週初めの手持ち在庫の合計原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_BEG_SOH_COST_AMT_LCL	週初めの手持ち在庫の合計原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_BEG_SOH_RTL_AMT	週初めの手持ち在庫の合計売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_BEG_SOH_RTL_AMT_LCL	週初めの手持ち在庫の合計 売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_COST_AMT	サブクラス / ロケーション の 1 週間における手持ち 在庫調整の原価額 (最優先 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_COST_AMT_LCL	サブクラス / ロケーション の 1 週間における手持ち 在庫調整の原価額 (現地通 貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_RTL_AMT	サブクラス / ロケーション の 1 週間における手持ち 在庫調整の売価額 (最優先 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_RTL_AMT_LCL	サブクラス / ロケーション の 1 週間における手持ち 在庫調整の売価額 (現地通 貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_COST_AMT	入荷在庫品の原価額 (最優 先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_COST_AMT_LCL	入荷在庫品の原価額 (現地 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_RTL_AMT	入荷在庫品の売価額 (最優 先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_RTL_AMT_LCL	入荷在庫品の売価額 (現地 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_COST_AMT	ベンダーに返品された在庫 品の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_COST_AMT_LCL	メーカーに返品された在庫 品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_RTL_AMT	ベンダーに返品された在庫 品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_RTV_RTL_ AMT_LCL	ベンダーに返品された在庫 品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ COST_AMT	他から振り替えられた在庫 の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ COST_AMT_LCL	他から振り替えられた在庫 の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ RTL_AMT	他から振り替えられた在庫 の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ RTL_AMT_LCL	他から振り替えられた在庫 の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ COST_AMT	他へ振り替えられた在庫の 原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ COST_AMT_LCL	他へ振り替えられた在庫の 原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ RTL_AMT	他へ振り替えられた在庫の 売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ RTL_AMT_LCL	他へ振り替えられた在庫の 売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_COST_ AMT	実績と終了時在庫の差の原 価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_COST_ AMT_LCL	実績と終了時在庫の差の原 価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_RTL_ AMT	実績と終了時在庫の差の売 価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_RTL_ AMT_LCL	実績と終了時在庫の差の売 価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_COST_ AMT	販売から返品された在庫品 の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_RTRNS_COST_AMT_LCL	販売から返品された在庫品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_RTL_AMT	販売から返品された在庫品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_RTL_AMT_LCL	販売から返品された在庫品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_COST_AMT	このロケーションへ再分類された在庫品の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_COST_AMT_LCL	このロケーションへ細分された在庫品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_RTL_AMT	このロケーションへ再分類された在庫品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_RTL_AMT_LCL	このロケーションへ再分類された在庫品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_COST_AMT	このロケーションから再分類された在庫品の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_COST_AMT_LCL	このロケーションから再分類された在庫品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_RTL_AMT	このロケーションから再分類された在庫品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_RTL_AMT_LCL	このロケーションから再分類された在庫品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_COST_AMT	販売した在庫品の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_COST_AMT_LCL	販売した在庫品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_SLS_RTL_AMT	販売した在庫品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_RTL_AMT_ LCL	販売した在庫品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_ COST_AMT	週末手持ち在庫の合計原価 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_ COST_AMT_LCL	週末手持ち在庫の合計原価 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_RTL_ AMT	週末手持ち在庫の合計売価 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_RTL_ AMT_LCL	週末手持ち在庫の合計売価 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GRS_PRFT_ AMT	合計粗利益額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GRS_PRFT_ AMT_LCL	合計粗利益額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CUM_MKON_ PCT	累積値付け率です。	12	Number(12,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_ COST_AMT	棚卸後の実際の在庫の原価 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_ COST_AMT_LCL	棚卸後の実際の在庫の原価 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_ RTL_AMT	棚卸後の実際の在庫の売価 額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_ RTL_AMT_LCL	棚卸後の実際の在庫の売価 額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_AMT	価格の上方修正額 (最優先 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_AMT_ LCL	価格の上方修正額 (現地通 貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_ CNCLLD_AMT	価格の上方修正に対する調 整額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_ CNCLLD_AMT_LCL	価格の上方修正に対する調 整額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_MKDN_ CNCLLD_AMT	以前の相殺で使用された価格の上方修正額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKDN_ CNCLLD_AMT_LCL	以前の相殺で使用された価格の上方修正額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PERM_MKDN_ AMT	永久値下げ額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PERM_MKDN_ AMT_LCL	永久値下げ額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PRMTN_MKDN_ AMT	特売値下げ額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PRMTN_MKDN_ AMT_LCL	特売値下げ額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CLRC_MKDN_ AMT	クリアランス値引き額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CLRC_MKDN_ AMT_LCL	クリアランス値引き額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_EMPTY_DISC_ AMT	従業員割引額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_EMPTY_DISC_ AMT_LCL	従業員割引額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CASH_DISC_ AMT	現金割引額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CASH_DISC_ AMT_LCL	現金割引額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_FRGHT_COST_ AMT	輸送費 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_FRGHT_COST_ AMT_LCL	輸送費 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_WRKRM_COST_ AMT	ワークルーム費 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_WRKRM_COST_ AMT_LCL	ワークルーム費 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No



フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_IVL_GAFS_COST_AMT	販売可能な商品の原価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_COST_AMT_LCL	販売可能な商品の原価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_RTL_AMT	販売可能な商品の売価額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_RTL_AMT_LCL	販売可能な商品の売価額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

### sttflddm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、店舗の来客数情報が格納されます。
- このテキストファイルは、loc\_idnt と day\_dt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	店舗への訪問があった日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_STORE_TRAFFIC	特定の日にその店舗を訪れた客の数です。	16	Number(16,4)	No

### timelastyrbydaylflldm.txt ファイルの仕様

#### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、今年の特定の曜日と、前年の対応する曜日との間のユーザー定義の関係が格納されますたとえば、実際の日付に関係なく、今年の特定の月の第 3 月曜日と、昨年と同じ月の第 3 月曜日とを対応付けることがあります。また、別の例としては、今年の大晦日と、昨年の大晦日とを対応付けることもあります。
- このテキストファイルは、インストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、DAY\_IDNT と LAST\_YR\_LFL\_DAY\_IDNT の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DAY_IDNT	日付を表す一意の数値です。	7	Number(7)	Yes
LAST_YR_LFL_DAY_IDNT	今年の曜日に対応する昨年の曜日を表す一意の数値です。	7	Number(7)	Yes

## timelastyrbwklfldm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、今年の特定の週と、前年の対応する週との間のユーザー定義の関係が格納されます。たとえば、今年のイースターの前の週と、昨年におけるイースターの前の週とを対応づけることがあります。
- このテキストファイルは、インストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、WK\_IDNT と LAST\_YR\_LFL\_WK\_IDNT の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
WK_IDNT	週を表す一意の数値です。	6	Number(6)	Yes
LAST_YR_LFL_WK_IDNT	今年の週に対応する昨年の週を表す一意の数値です。	6	Number(6)	Yes

## ttldmdm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入札タイプの取引情報が格納されます。
- ターゲット表で、各種改訂番号の金額が、tndr\_type\_idnt、tran\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、min\_idnt、rgstr\_idnt、cshr\_idnt 別に合計されます。
- このテキストファイルは、tndr\_type\_idnt、tran\_idnt、loc\_idnt、day\_dt、min\_idnt、rgstr\_idnt、cshr\_idnt、rev\_nbr の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
TRAN_IDNT	取引の一意の識別子です。	30	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
REV_NBR	送信する取引のバージョンを識別するための番号です。	3	Number(3)	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MIN_IDNT	取引発生時刻 (分) の一意の識別子です。hour_idnt の後に 1 ~ 60 の数字を続けて構成される識別子で、その時間の分を示します。	4	Number(4)	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシュの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_CC_SCAN_FLAG	クレジットカードがスキャンされたか、手動入力されたかを示します。有効な値は "Y" (スキャン済み) と "N" (手動入力済み) です。	1	Character	No
F_TNDR_COUPON_COUNT	各取引で使用されたメーカークーポンの合計数です。メーカークーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	16	Number(16,4)	No
F_TNDR_COUPON_AMT	各取引で使用されたメーカークーポンの合計額 (最優先通貨) です。メーカークーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
F_TNDR_COUPON_AMT_LCL	各取引で使用されたメーカークーポンの合計額 (現地通貨) です。メーカークーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_SLS_AMT	特定の入札タイプで支払われた売上高 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_SLS_AMT_LCL	特定の入札タイプで支払われた売上高 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_RTRNS_SLS_AMT	特定の入札タイプに対して払い戻された返金額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_RTRNS_SLS_AMT_LCL	特定の入札タイプに対して払い戻された返金額 (現地通貨) です。	18	Number(18,4)	No

## vchragebandm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、伝票日付帯ごとに 1 つの行が含まれます。伝票日付ディメンションは、引換時に、有効期間に基づいて商品券 / 伝票を分類するための静的日付帯ディメンションを提供します。各日付帯は、カレンダー日で表された、クライアント定義の有効日数範囲です。伝票有効期間は当該日付帯決定に使用されます。
- 複数の伝票日付帯が重なってはいけません。たとえば、伝票日付帯 1 の最小値と最大値がそれぞれ 12 と 20 の場合、次の日付帯の最小値は 21 とし、最大値は 21 と等しいか、それ以上でなければなりません。
- このテキストファイルは、RDW のインストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、同じ VCHR\_AGE\_BAND\_KEY に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
VCHR_AGE_BAND_KEY	伝票が該当する日付帯の一意の識別子です。	6	Number(6)	Yes
VCHR_AGE_BAND_MIN	伝票日付帯の最小期間をカレンダー日の日数で表します。日付帯には、上限と下限の値も含まれます。たとえば、日付帯の最小と最大がそれぞれ 12 と 20 の場合、12 から 20 までのすべての伝票がこの日付帯に属することになります。	6	Number	Yes
VCHR_AGE_BAND_MAX	伝票日付帯の最大期間をカレンダー日の日数で表します。日付帯には、上限と下限の値も含まれます。	6	Number	Yes
VCHR_AGE_BAND_DESC	伝票日付帯の説明です。	30	Character	No

## vchreschddm.txt ファイルの仕様

### ビジネスルール:

- このテキストファイルには、復帰伝票の日付と数が格納されます。復帰伝票になると、小売業者は伝票に関してすべての法的な責任から免除されます。復帰伝票の数および復帰日付は、このテキストファイルから取得されます。
- このテキストファイルは、同じ day\_dt に対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
DAY_DT	取引発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_ESCH_COUNT	特定の日の復帰伝票の総数です。	16	Number(16,4)	No
F_ESCH_AMT	復帰伝票の金額です。伝票が発行されていない場合は、復帰額は 0 です。発行されている場合は、復帰額は発行額です。	18	Number(18,4)	No

## vchrmoveiddm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、発行された伝票と買い戻した伝票の情報が格納されます。
- このテキストファイルには、loc\_idnt、day\_dt、vchr\_age (日付帯は、この vchr\_age が日付帯の範囲内に属する VCHR\_AGE\_BAND\_DM ディメンション表から導出される)、tndr\_type\_id\_idnt、rgstr\_idnt、cshr\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	伝票のステータスが取得された日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
VCHR_AGE	伝票の有効期間の日数です。	6	Number(6)	Yes
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。入札タイプの例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_ISS_COUNT	発行済み伝票の数です。	16	Number(16,4)	No
F_ISS_AMT	発行済み伝票の金額 (最優先通貨) です	18	Number(18,4)	No
F_ISS_AMT_LCL	発行済み伝票の金額 (現地通貨) です	18	Number(18,4)	No
F_RED_COUNT	買い戻し済み伝票の数です。	16	Number(16,4)	No
F_RED_AMT	買い戻し済み伝票の金額 (最優先通貨) です	18	Number(18,4)	No
F_RED_AMT_LCL	買い戻し済み伝票の金額 (現地通貨) です	18	Number(18,4)	No

## vchroutlwdm.txt ファイルの仕様

## ビジネスルール:

- このテキストファイルには、未処理伝票の情報が格納されます。伝票は発行されてまだ引き換えられていない場合未処理となります。
- 未処理伝票のファクト表には、週レベルでデータが保持されますが、このテキストファイルは、日レベルの伝票情報しか提供しません。ファクト表上の既存のデータは、このテキストファイルのデータで上書きされてしまうため、このテキストファイルには、週のすべての合計値が格納されている必要があります。
- このテキストファイルには、loc\_idnt、week、vchr\_age (日付帯は、この vchr\_age が日付帯の範囲内に属する VCHR\_AGE\_BAND\_DM ディメンション表から導出される)、tndr\_type\_id\_idnt、rgstr\_idnt、cshr\_idnt の同じ組み合わせに対して重複する取引を格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 カラム長	データ型 / フォーマット	必須フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	伝票が発行された日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
VCHR_AGE	伝票の有効期間の日数です。	6	Number(6)	Yes
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。入札タイプの例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_OUT_COUNT	未処理伝票の数です。	16	Number(16,4)	No
F_OUT_AMT	未処理伝票の金額 (最優先通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_OUT_AMT_LCL	未処理伝票の金額 (現地通貨) です	18	Number(18,4)	No